

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

埼玉県ふじみ野市

# 市内遺跡群 20

2018年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

埼玉県ふじみ野市

# 市内遺跡群 20

2018年3月

ふじみ野市教育委員会



## はじめに

ふじみ野市は平成 17 年 10 月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成 27 年に 10 周年を迎え、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から 30km 圏内という立地条件にあるため、昭和 30 年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2 万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会  
教 育 長 朝 倉 孝



## 例 言







1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2014（平成26）年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2014（平成26）年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費11,003,024円に対し国庫補助金（5,500,000円）、県費（2,000,000円）の補助金の交付を受け、2014（平成26）年4月1日から2015（平成27）年3月31日まで実施したものである。

3. 調査組織	社会教育課副課長兼文化財保護係長（2016.4.1から兼務）
調査主体者	ふじみ野市教育委員会 高崎 直成（2013.4.1～）
担 当 課	社会教育課文化財保護係 文化財保護係調査担当者
	（平成25・26年度は生涯学習課上福 高崎 直成（2005.4.1～）
	岡歴史民俗資料館文化財保護係） 鍋島 直久（2005.4.1～2017.3.31）
教 育 長	朝倉 孝（2014.4.1～） 岡崎 裕子（2015.4.1～）
部 長	西郷 雅美（2014.4.1～2015.3.31） 庶務担当 岡 健二（2013.4.1～2015.3.31）
	中野 則之（2015.4.1～2017.3.31） 柳澤 健司（2011.4.1～2015.3.31）
	土屋 浩（2017.4.1～） 橋本祐可子（2015.4.1～）
課 長	小林 清（2015.4.1～2016.3.31） 発掘調査員補 越村 篤（2005.4.1～2015.9.30）
	佐藤 龍司（2016.4.1～） 鎌田 翔（2015.11.2～）
生涯学習課主幹兼上福岡歴史民俗資料館長	臨時的任用職員 高橋 京子（2005.4.1～）
	坪田 幹男（2013.4.1～2015.3.31）
副 課 長	佐藤 龍司（2015.4.1～2016.3.31）

4. 本書作成にあたっての作業分担は事実報告及び遺構・遺物の執筆を鍋島・岡崎・鎌田、遺物の観察表作成を岡崎・鎌田が担当し、整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田翔。土器実測・拓本：明石千とせ、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、大久保明子、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、松平静。遺構写真：鍋島直久、越村篤。レイアウト・遺物写真：大久保明子。遺構図版作成の一部を株式会社中野技術に、石器実測の一部を株式会社東京航業研究所に委託した。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）  
天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、大屋道則、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、國見徹、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文雄、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、水村孝行、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。（敬称略）  
青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、壺岐久子、石垣ゆき子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小池恵美子、小林登喜江、坂本民子、佐竹里佳、重田恵子、鈴木勝弘、鈴木千恵子、瀧訪文香、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、當山りえ、中川圭子、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、藤沢謙、増澤勝美、松平静、松野愛理、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代

## 凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2、3、銭 1:1 である。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
- (3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、  
 攪乱  地山(ローム)  焼土  地紋縄文  羽口の還元面  赤彩   
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石 ▲ チャート □ 礫 ○ 炭 ■
- (4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
- (5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

4. 第6表 縄文時代中期時期細対比表の参考文献は、以下のとおりである。

- |              |  |
|--------------|--|
| ②安孫子 昭二      | 1988 「勝坂式土器様式」『縄文土器大観』第2巻 中期Ⅰ                  |
| ②鈴木 保彦・山本 暉久 | 1988 「加曾利 E 式土器様式」『縄文土器大観』第2巻 中期Ⅰ              |
| ③植木 弘        | 1994 「行司免遺跡出土の中期土器群の変遷」『埼玉県北西部地域(比企郡市)考古資料集成①』 |
| ④黒尾 和久       | 1995 「縄文中期集落遺跡の基礎的検討(Ⅰ)」『論集 宇津木台』宇津木台地区考古学研究会  |
| ⑤谷井 彪他       | 1982 「縄文中期土器群の再編」『研究紀要』埼玉県埋蔵文化財調査事業団           |
| ⑥小林達雄他       | 1981 「シンポジウム 北園東を中心とする縄文中期の諸問題」考古学協会           |

埼玉県ふじみ野市  
市内遺跡群 20 目次

はじめに	i		
例 言	ii		
凡 例	iii		
目 次	iv		
神岡目次	v		
表 目 次	vi		
写真図版目次	vii		
第 1 章 遺跡と調査の概要	1	第 13 章 神明後遺跡の調査	60
Ⅰ 調査に至る経緯	1	Ⅰ 遺跡の立地と環境	60
Ⅱ 立地と環境	3	Ⅱ 神明後遺跡第 52 地点	60
Ⅲ 市内の遺跡	4	Ⅲ 神明後遺跡第 53 地点	60
第 2 章 北野遺跡の調査	8	第 14 章 小田久保遺跡の調査	63
Ⅰ 遺跡の立地と環境	8	Ⅰ 遺跡の立地と環境	63
Ⅱ 北野遺跡第 27 地点	8	Ⅱ 小田久保遺跡第 10 地点	63
Ⅲ 北野遺跡第 28 地点	9	第 15 章 大井氏館跡遺跡の調査	65
Ⅳ 北野遺跡第 29 地点	11	Ⅰ 遺跡の立地と環境	65
Ⅴ 北野遺跡第 30 地点	11	Ⅱ 大井氏館跡遺跡第 24 地点	65
第 3 章 川崎遺跡の調査	12	Ⅲ 大井氏館跡遺跡第 25 地点	68
Ⅰ 遺跡の立地と環境	12	第 16 章 本村遺跡の調査	70
Ⅱ 川崎遺跡第 41 地点	14	Ⅰ 遺跡の立地と環境	70
第 4 章 ハケ遺跡の調査	15	Ⅱ 本村遺跡第 128 地点	72
Ⅰ 遺跡の立地と環境	15	第 17 章 西台遺跡の調査	75
Ⅱ ハケ遺跡第 15 地点	15	Ⅰ 遺跡の立地と環境	75
Ⅲ ハケ遺跡第 17 地点	16	Ⅱ 西台遺跡第 9 地点	75
Ⅳ ハケ遺跡第 16・18・19 地点	17	第 18 章 東台遺跡の調査	76
第 5 章 滝遺跡の調査	22	Ⅰ 遺跡の立地と環境	76
Ⅰ 遺跡の立地と環境	22	Ⅱ 東台遺跡第 58 地点	80
Ⅱ 滝遺跡第 24 地点	22	Ⅲ 東台遺跡第 59 地点	80
第 6 章 長谷遺跡の調査	27	第 19 章 まとめ	87
Ⅰ 遺跡の立地と環境	27	写真図版	89
Ⅱ 長谷遺跡第 48 地点	27	抄 録	112
Ⅲ 長谷遺跡第 49 地点	28		
Ⅳ 長谷遺跡第 50 地点	30		
第 7 章 亀居遺跡の調査	33		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	33		
Ⅱ 亀居遺跡第 73 地点	33		
Ⅲ 亀居遺跡第 74 地点	33		
第 8 章 鶴ヶ舞遺跡の調査	37		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	37		
Ⅱ 鶴ヶ舞遺跡第 22 地点	37		
第 9 章 松山遺跡の調査	39		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	39		
Ⅱ 松山遺跡第 78 地点	39		
Ⅲ 松山遺跡第 79 地点	40		
Ⅳ 松山遺跡第 80 地点	42		
Ⅴ 松山遺跡第 81 地点	42		
第 10 章 江川東遺跡の調査	44		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	44		
Ⅱ 江川東遺跡第 22 地点	45		
Ⅲ 江川東遺跡第 23 地点	45		
第 11 章 東中学校西遺跡の調査	46		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	46		
Ⅱ 東中学校西遺跡第 35 地点	46		
第 12 章 西ノ原遺跡の調査	48		
Ⅰ 遺跡の立地と環境	48		
Ⅱ 西ノ原遺跡第 160 地点	48		
Ⅲ 西ノ原遺跡第 161 地点	53		
Ⅳ 西ノ原遺跡第 162 地点	57		
Ⅴ 西ノ原遺跡第 163 地点	59		

## 挿 図 目 次

第 1 図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4	第 42 図	神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000)	60
第 2 図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	6	第 43 図	神明後遺跡第 52 地点遺構配置図・第 53 地点調査区区域(1/300)、第 52 地点土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)	62
第 3 図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)	8	第 44 図	小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)	63
第 4 図	北野遺跡第 27・28 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・1/60)、第 28 地点集石土坑・遺物出土状況(1/30)、出土遺物(1/4)	10	第 45 図	小田久保遺跡第 10 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	64
第 5 図	北野遺跡第 29・30 地点遺構配置図(1/300)、第 29 地点土坑(1/60)、第 30 地点溝(1/60)	11	第 46 図	大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	65
第 6 図	川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)	12	第 47 図	大井氏館跡遺跡第 24・25 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)	66
第 7 図	川崎遺跡第 41 地点調査区区域(1/300)	14	第 48 図	大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物①(1/4)	67
第 8 図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)	15	第 49 図	大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物②(1/4・1/1)	68
第 9 図	ハケ遺跡遺構分布図(1/2,000)	17	第 50 図	本村遺跡の地形と調査区(1/5,000)	70
第 10 図	ハケ遺跡第 15・17 地点遺構配置図(1/300)、第 15 地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)、第 17 地点溝・ゴミ穴(1/60)	18	第 51 図	本村遺跡遺構分布図(1/3,000)	73
第 11 図	ハケ遺跡第 17 地点出土遺物①(1/4)	20	第 52 図	本村遺跡第 128 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸・ピット・溝(1/60)	74
第 12 図	ハケ遺跡第 17 地点出土遺物②(1/4)	21	第 53 図	西台遺跡の地形と調査区(1/4,000)	75
第 13 図	滝道跡の地形と調査区(1/4,000)	22	第 54 図	西台遺跡第 9 地点調査区区域(1/300)	75
第 14 図	滝道跡遺構分布図(1/2,000)	24	第 55 図	東台遺跡の地形と調査区(1/5,000)	76
第 15 図	滝道跡第 24 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)	25	第 56 図	東台遺跡遺構分布図(1/2,000)	78
第 16 図	滝道跡第 24 地点出土遺物(1/4)	26	第 57 図	東台遺跡第 59 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	80
第 17 図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)	27	第 58 図	東台遺跡第 58 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、194 号住居跡遺物出土状況・土坑(1/60)	81
第 18 図	長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)	29	第 59 図	東台遺跡第 58 地点出土遺物①(1/4)	82
第 19 図	長宮遺跡第 48 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸(1/60)・30	30	第 60 図	東台遺跡第 58 地点出土遺物②(1/4)	83
第 20 図	長宮遺跡第 48 地点溝(1/60)、第 49 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、炉穴①(1/30)	31	第 61 図	東台遺跡第 58 地点出土遺物③(1/4)	84
第 21 図	長宮遺跡第 49 地点炉穴②(1/30)、第 50 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	32			
第 22 図	亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)	33			
第 23 図	亀居遺跡遺構分布図(1/1,500)	35			
第 24 図	亀居遺跡第 73・74 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 74 地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	36			
第 25 図	鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区(1/4,000)	37			
第 26 図	鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	37			
第 27 図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	39			
第 28 図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)	41			
第 29 図	松山遺跡第 78・79 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	42			
第 30 図	松山遺跡第 80 地点調査区区域・第 81 地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第 80 地点出土遺物(1/4・1/1)、第 81 地点溝(1/60)	43			
第 31 図	江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44			
第 32 図	江川東遺跡第 22・23 地点調査区区域(1/300)、第 23 地点土層(1/150)、出土遺物(1/4)	45			
第 33 図	東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	46			
第 34 図	東中学校西遺跡第 35 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	47			
第 35 図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	48			
第 36 図	西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)	52			
第 37 図	西ノ原遺跡第 160・161 地点遺構配置図(1/300)、第 160 地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	54			
第 38 図	西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡(1/60)、炉(1/30)	55			
第 39 図	西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡(1/60)、炉・竈方(1/30)	56			
第 40 図	西ノ原遺跡第 161 地点出土遺物(1/4)	57			
第 41 図	西ノ原遺跡第 162 地点遺構配置図(1/400)、第 163 地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、溝(1/60)、出土遺物(1/4)	58			

## 目 次

第1表	過去3年間の調査件数と面積一覧表	1	第20表	東中学校西遺跡調査一覧表	47
第2表	2014(平成26)年度埋蔵文化財調査一覧表	2	第21表	西ノ原遺跡調査一覧表	49
第3表	2014(平成26)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)	3	第22表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	50
第4表	2014(平成26)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)	3	第23表	西ノ原遺跡第161地点・211号住居跡ピット一覧表	55
第5表	ふじみ野市遺跡一覧表	7	第24表	神明後遺跡調査一覧表	61
第6表	縄文時代中期以降層分別対比表	7	第25表	小田久保遺跡調査一覧表	64
第7表	北野遺跡調査一覧表	9	第26表	大井氏館跡遺跡調査一覧表	65
第8表	北野遺跡第28地点集石土坑出土燧石観察表	10	第27表	大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物観察表	69
第9表	川崎遺跡調査一覧表	13	第28表	本村遺跡調査一覧表	71
第10表	ハケ遺跡調査一覧表	16	第29表	本村遺跡第128地点ピット一覧表	72
第11表	ハケ遺跡第17地点出土遺物観察表	19	第30表	西台遺跡調査一覧表	75
第12表	滝遺跡調査一覧表	23	第31表	東台遺跡調査一覧表	77
第13表	滝遺跡第24地点出土遺物観察表	26	第32表	東台遺跡住居跡一覧表	79
第14表	長宮遺跡調査一覧表	28	第33表	東台遺跡第58地点出土遺物観察表	85
第15表	長宮遺跡第50地点出土遺物観察表	30			
第16表	亀居遺跡調査一覧表	34			
第17表	鶴ヶ舞遺跡調査一覧表	38			
第18表	松山遺跡調査一覧表	40			
第19表	江川東遺跡調査一覧表	44			

## 写真図版目次

写真図版1	北野遺跡第27・28地点	89	写真図版13	西ノ原遺跡第160地点・161地点(1)	101
写真図版2	北野遺跡第29・30地点	90	写真図版14	西ノ原遺跡第161地点(2)	102
写真図版3	川崎遺跡第41地点、ハケ遺跡第15地点・17地点(1)	91	写真図版15	西ノ原遺跡第162地点・163地点(1)	103
写真図版4	ハケ遺跡第17地点(2)	92	写真図版16	西ノ原遺跡第163地点(2)、神明後遺跡第52・53地点	104
写真図版5	滝遺跡第24地点(1)	93	写真図版17	小田久保遺跡第10地点、大井氏館跡遺跡第24地点(1)	105
写真図版6	滝遺跡第24地点(2)、長宮遺跡第48地点(1)	94	写真図版18	大井氏館跡遺跡第24地点(2)・25地点	106
写真図版7	長宮遺跡第48地点(2)・49地点	95	写真図版19	本村遺跡第128地点	107
写真図版8	長宮遺跡第50地点、亀居遺跡第73地点(1)	96	写真図版20	西台遺跡第9地点、東台遺跡第58地点(1)	108
写真図版9	亀居遺跡第73地点(2)・74地点	97	写真図版21	東台遺跡第58地点(2)	109
写真図版10	鶴ヶ舞遺跡第22地点、松山遺跡第78・79地点	98	写真図版22	東台遺跡第58地点(3)	110
写真図版11	松山遺跡第80・81地点	99	写真図版23	東台遺跡第58地点(4)・59地点	111
写真図版12	江川東遺跡第22・23地点、東中学校西遺跡第35地点	100			

## 第1章 遺跡と調査の概要

### I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏30km圏内の県南西部に位置する。2005(平成17)年10月1日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積14.64km<sup>2</sup>、人口は2017(平成29)年3月現在113,420人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和30年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和60年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成17年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和53年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすともなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第99条第5項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。またその個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2014年度の試掘及び発掘調査は第2表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査1件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査6件、公共事業に伴う本調査0件、民間開発に伴う本調査7件を行った。開発面積は27,152.08㎡で、そのうち実質調査面積は試掘6,765.75(本調査面積1,418.86)㎡である。過去3年間の調査件数と調査面積を第1表にあげてみる。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第1表 過去3年間の調査件数と面積一覧表

件数・内訳 年度	試掘件数	個人住宅 本調査件数	原因者負担 本調査件数	調査原因の内訳
	開発面積㎡	開発面積㎡	開発面積㎡	
2012(平成24)年度	58件	11件	7件	個人住宅37、共同住宅4、分譲住宅8、宅地造成1、道路2、店舗1、清掃センター1、自治会館1、駐車場1、コンテナ設置1、物置1
	58,375	3,222	5,471	
2013(平成25)年度	54件	3件	6件	個人住宅20、共同住宅5、分譲住宅13、宅地造成等4、道路4、店舗4、高齢者デイサービスセンター等2、神社事務所1、苗圃茶師堂1
	86,664	769	63,501	
2014(平成26)年度	46件	6件	7件	個人住宅20、分譲住宅12、共同住宅5、事務所1、葬祭場1、宅地造成3、病院増築1、駐車場1、店舗1、道路1
	27,152	129	1,419	

第2表 2014(平成26)年度埋蔵文化財調査一覧表

No	遺跡・地点	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積	原因	試掘期間		調査措置
						本調査期間	調査期間	
1	北野遺跡第27地点	北野1-3119-1	481.00	50.25	共同住宅	5/7		試掘調査
2	北野遺跡第28地点	北野2-2110-8	101.35	14	個人住宅	5/27~28		試掘調査・本調査
3	北野遺跡第28地点	北野2-2110-9	100.55	17.25	分譲住宅	5/27・28		試掘調査
4	北野遺跡第29地点	北野2-1830-8	83.69	16.5	分譲住宅	10/14・15		試掘調査
5	北野遺跡第30地点	北野2-2067-8	75.90	12.8	分譲住宅	10/30、11/5		試掘調査
6	川崎遺跡第41地点	川崎宮山向10-4の一部	120.30	20	個人住宅	9/8		試掘調査
7	ハケ遺跡第15地点	福岡3-1228-19	184.09	64.7	分譲住宅	4/8~9		試掘調査
8	ハケ遺跡第16地点	福岡3-1254-17・7・14	68.00	26.25	分譲住宅	8/11~9/2		試掘調査・本調査
9	ハケ遺跡第17地点	福岡3-1219-1・2	98.58	50.4	分譲住宅	9/3~9		試掘調査
10	ハケ遺跡第18地点	福岡3-1182、2066-5	510.67	107.85	分譲住宅	9/26~30		試掘調査
11	ハケ遺跡第19地点	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	2296.00	572.60	分譲住宅	12/4~10		試掘調査・本調査
12	権助山遺跡第23地点	福岡2-1-1	3588.00	996.75	宅地造成	3/17~3/30		H27年度埋蔵文化財調査中 試掘調査
13	滝道跡第24地点	滝1-1-8の一部	222.80	85	事務所	6/2~7/18		試掘調査・本調査
14	滝道跡第25地点	滝1-2-4・32	2804.00	1115.8	分譲住宅	7/22~9/2		試掘調査
15	長宮遺跡第48地点	上ノ原3-6-1	555.00	188.4	宅地造成	7/18~8/26		試掘調査・本調査
16	長宮遺跡第49地点	中丸2-2-4	293.09	61.8	分譲住宅	9/8~10/31		試掘調査
17	長宮遺跡第50地点	中丸1-2-17	228.00	26	分譲住宅	4/2~8		試掘調査
18	亀居遺跡第73地点	亀久保2-17-14	326.14	92.75	共同住宅	10/23~30		試掘調査
19	亀居遺跡第74地点	亀久保2-975-1・34	557.00	155.3	分譲住宅	3/16		試掘調査
20	鶴ヶ舞遺跡第22地点	鶴ヶ舞1-69-35・56	171.00	38.2	分譲住宅	11/27~12/4		試掘調査、12/12立会
21	松山遺跡第75地点	仲2-2-2	120.00	75地点全体 の214㎡	個人住宅	12/4		試掘調査
22	松山遺跡第76地点	仲2-2-48	120.00	131(76地点 全体のうち)	調査済(H26/1/14~20)	8/5~11		試掘調査・本調査
23	松山遺跡第76地点	仲2-2-37	120.00	131の一部	調査済(H26/1/22~28)	9/26~10/2		試掘調査・本調査
24	松山遺跡第78地点	松山2-5-5	242.00	35.25	調査済(H26/1/22~28)	11/12~17		試掘調査・本調査
25	松山遺跡第79地点	松山2-5-5	242.00	35.25	個人住宅	5/22		試掘調査
26	松山遺跡第80地点	本新田395-10の一部	153.00	36	個人住宅	8/5		試掘調査
27	松山遺跡第81地点	進上372	1183.40	90	個人住宅	3/12		試掘調査
28	江川東遺跡第22地点	築地1-1-12	247.49	74.25	分譲住宅	3/23		試掘調査
29	江川東遺跡第23地点	東久保1-160-30	72.44	11	個人住宅	9/30・10/1		試掘調査
30	東中学校西遺跡第35地点	東久保1-180-11	180.00	29.4	個人住宅	10/10		試掘調査
31	西ノ原遺跡第159地点	ふじみ野3-9-1の一部	661.42	211.5	病院増築	3/10		試掘調査
32	西ノ原遺跡第160地点	旭1-15-8	869.00	335	共同住宅	調査済(H25/1/30~2/10)		試掘調査・本調査
33	西ノ原遺跡第161地点	旭1-14-2	309.00	106.9	共同住宅	3/4~25、4/2~5/9		試掘調査
34	西ノ原遺跡第162地点	前岡1-15-18	442.00	114.75	駐車場	4/15・16		試掘調査
35	西ノ原遺跡第162地点	前岡1-13-2・3・4・5・11	2526.76	382.5	個人住宅	6/17		試掘調査・本調査
36	西ノ原遺跡第163地点	旭1-7-10	148.98	42.75	個人住宅	6/18~23		試掘調査
37	神明後遺跡第51地点	前岡字神明後295-1、298-1、297-1・2の各一部、299-1	487.33	116	葬祭場	8/29~9/4		試掘調査
38	神明後遺跡第52地点	前岡字神明後231-1	379.00	44.4	個人住宅	2/2~3		試掘調査
39	神明後遺跡第53地点	前岡字神明後298-1	495.00	14.5	個人住宅	11/5~13		試掘調査・本調査
40	前岡東久保遺跡第32地点	前岡字神明後334-1、335-1、336-1、337-1	2989.00	966	共同住宅	11/20~25		試掘調査
41	小田久保遺跡第10地点	大井字西原1023-3	317.00	94.4	個人住宅	1/28		試掘調査
42	大井氏遺跡第24地点	大井字西原959・960	115.72	15.75	共同住宅	3/19		試掘調査
43	大井氏遺跡第25地点	大井2-14-130の一部	414.00	18.4	調査済(H25)3/6~27	4/25~5/19		試掘調査・本調査
44	本村遺跡第128地点	大井2-18-1	327.00	103.5	個人住宅	10/7		試掘調査
45	西台遺跡第9地点	西台856-4	46.00	7	個人住宅	6/23		試掘調査・本調査
46	東台遺跡第58地点	大井字東台625-1	1175.47	399	個人住宅	6/24・25		試掘調査
47	東台遺跡第59地点	大井字東台633-6	145.91	32.5	個人住宅	12/15		試掘調査(隣接地)
48	東台遺跡第59地点	大井字東台625-1	1175.47	399	個人住宅	11/17~27		試掘調査
49	東台遺跡第59地点	大井字東台625-1	1175.47	399	道路	10/10		試掘調査
50	東台遺跡第59地点	大井字東台625-1	1175.47	399	店舗	7/1~8/4		試掘調査
51	東台遺跡第59地点	大井字東台625-1	1175.47	399	個人住宅	7/15		試掘調査

第3表 2014(平成26)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

№	遺跡・地点	申請面積(㎡)	埋蔵面積(㎡)	種別	立会い	備考
1	敷島1724-1102	250	250	雑居住宅	2/27	埋蔵物調査あり、工事なし
2	古野	7,902-3093-3	750	雑居住宅	3/20	埋蔵物なし
3	古野	7,902-3093-11	980	雑居住宅	5/22	埋蔵物なし
4	古野	7,902-3093-2-22	410	雑居住宅	10/31	埋蔵物調査あり、工事なし
5	上野	7,902-3093-2-22	410	雑居住宅	12/14	埋蔵物調査あり、工事なし
6	上野	7,902-3093-2-22	248.96	雑居住宅	12/28	埋蔵物調査あり、工事なし
7	上野	7,902-3093-2-22	100.00	雑居住宅	3/29	埋蔵物調査あり、工事なし
8	上野	7,902-3093-2	284.12	埋蔵物調査あり	12/14	埋蔵物調査あり、工事なし
9	上野	7,902-3093-2	33.00	雑居住宅	3/20	埋蔵物調査あり、工事なし
10	上野	7,902-3093-2	114.52	雑居住宅	4/18	埋蔵物調査あり、工事なし
11	上野	7,902-3093-2	143.10	雑居住宅	8/13	埋蔵物調査あり、工事なし
12	上野	7,902-3093-2	195.54	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
13	上野	7,902-3093-2	70.10	雑居住宅	8/13	埋蔵物調査あり、工事なし
14	上野	7,902-3093-2	21.60	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
15	上野	7,902-3093-2	136.70	雑居住宅	4/12	埋蔵物調査あり、工事なし
16	上野	7,902-3093-2	73.00	雑居住宅	6/23	埋蔵物調査あり、工事なし
17	上野	7,902-3093-2	156.98	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
18	上野	7,902-3093-2	600.33	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
19	上野	7,902-3093-2	2.00	埋蔵物調査あり	4/30	埋蔵物調査あり、工事なし
20	上野	7,902-3093-2	120.00	雑居住宅	2014.1.28	埋蔵物調査あり、工事なし
21	上野	7,902-3093-2	507.00	雑居住宅	6/20	埋蔵物調査あり、工事なし
22	上野	7,902-3093-2	121.70	雑居住宅	10/3	埋蔵物調査あり、工事なし
23	上野	7,902-3093-2	2.00	埋蔵物調査あり	6/13	埋蔵物調査あり、工事なし
24	上野	7,902-3093-2	499.00	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
25	上野	7,902-3093-2	205.12	雑居住宅	11/27	埋蔵物調査あり、工事なし
26	上野	7,902-3093-2	1.00	埋蔵物調査あり	10/3	埋蔵物調査あり、工事なし
27	上野	7,902-3093-2	801.00	雑居住宅	7/15	埋蔵物調査あり、工事なし
28	上野	7,902-3093-2	145.14	雑居住宅	5/20	埋蔵物調査あり、工事なし
29	上野	7,902-3093-2	121.50	雑居住宅	7/7	埋蔵物調査あり、工事なし
30	上野	7,902-3093-2	98.00	雑居住宅	7/10	埋蔵物調査あり、工事なし
31	上野	7,902-3093-2	138.00	雑居住宅	9/8	埋蔵物調査あり、工事なし
32	上野	7,902-3093-2	115.50	雑居住宅	7/25	埋蔵物調査あり、工事なし
33	上野	7,902-3093-2	113.00	雑居住宅	7/28	埋蔵物調査あり、工事なし
34	上野	7,902-3093-2	113.00	雑居住宅	7/28	埋蔵物調査あり、工事なし
35	上野	7,902-3093-2	113.00	雑居住宅	10/30	埋蔵物調査あり、工事なし
36	上野	7,902-3093-2	133.00	雑居住宅	5/29	埋蔵物調査あり、工事なし
37	上野	7,902-3093-2	100.00	雑居住宅	1/8	埋蔵物調査あり、工事なし
38	上野	7,902-3093-2	115.99	雑居住宅	2/17	埋蔵物調査あり、工事なし
39	上野	7,902-3093-2	801.00	雑居住宅	1/30-3/10	埋蔵物調査あり、工事なし
40	上野	7,902-3093-2	208.00	雑居住宅	3/8-7	埋蔵物調査あり、工事なし
41	上野	7,902-3093-2	89.94	雑居住宅	6/30	埋蔵物調査あり、工事なし
42	上野	7,902-3093-2	127.60	雑居住宅	10/8	埋蔵物調査あり、工事なし
43	上野	7,902-3093-2	123.34	雑居住宅	10/8	埋蔵物調査あり、工事なし
44	上野	7,902-3093-2	1.00	埋蔵物調査あり	10/8	埋蔵物調査あり、工事なし
45	上野	7,902-3093-2	274.13	雑居住宅	12/15	埋蔵物調査あり、工事なし
46	上野	7,902-3093-2	68.14	雑居住宅	7/29	埋蔵物調査あり、工事なし
47	上野	7,902-3093-2	55.00	雑居住宅	7/26	埋蔵物調査あり、工事なし
48	上野	7,902-3093-2	140.00	雑居住宅	7/28	埋蔵物調査あり、工事なし
49	上野	7,902-3093-2	153.23	雑居住宅	7/16	埋蔵物調査あり、工事なし
50	上野	7,902-3093-2	35.00	雑居住宅	4/11	埋蔵物調査あり、工事なし

第4表 2014(平成26)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

№	遺跡・地点	申請面積(㎡)	埋蔵面積(㎡)	種別	立会い	備考
1	中国府野田123, 124, 135, 134, 135, 136, 137	4,150.97	4,150.97	宇野野田古墳群	4/8	埋蔵物調査あり
2	1-102	123.79	123.79	宇野野田古墳群	11/25	埋蔵物調査あり
3	1-103	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
4	1-104	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
5	1-105	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
6	1-106	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
7	1-107	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
8	1-108	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
9	1-109	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
10	1-110	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
11	1-111	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
12	1-112	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
13	1-113	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
14	1-114	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
15	1-115	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
16	1-116	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
17	1-117	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
18	1-118	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
19	1-119	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
20	1-120	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
21	1-121	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
22	1-122	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
23	1-123	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
24	1-124	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
25	1-125	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
26	1-126	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
27	1-127	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
28	1-128	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
29	1-129	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
30	1-130	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
31	1-131	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
32	1-132	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
33	1-133	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
34	1-134	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
35	1-135	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
36	1-136	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
37	1-137	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
38	1-138	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
39	1-139	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
40	1-140	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
41	1-141	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
42	1-142	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
43	1-143	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
44	1-144	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
45	1-145	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
46	1-146	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
47	1-147	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
48	1-148	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
49	1-149	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり
50	1-150	123.79	123.79	宇野野田古墳群	5/17	埋蔵物調査あり

## II 立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑や田圃風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁部に位置し、旧上福岡市域は台地縁部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地に接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が

流れ、台地縁道を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していることがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭小丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄淨寺川などの小河川は市内に湧水をもつ。湧水は浅い窪地から湧出しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、雨水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京



都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

### Ⅲ 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

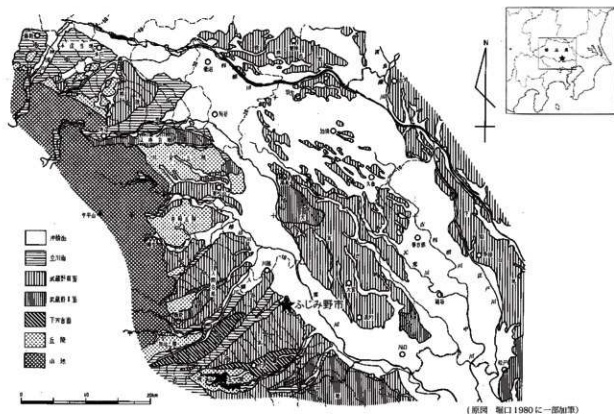
【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として有名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期

のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代立川ローム第四層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査（2014）で、古墳の周溝から、6世紀後半頃とみられる複数の人物埴輪と、円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査（2015）では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世

紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

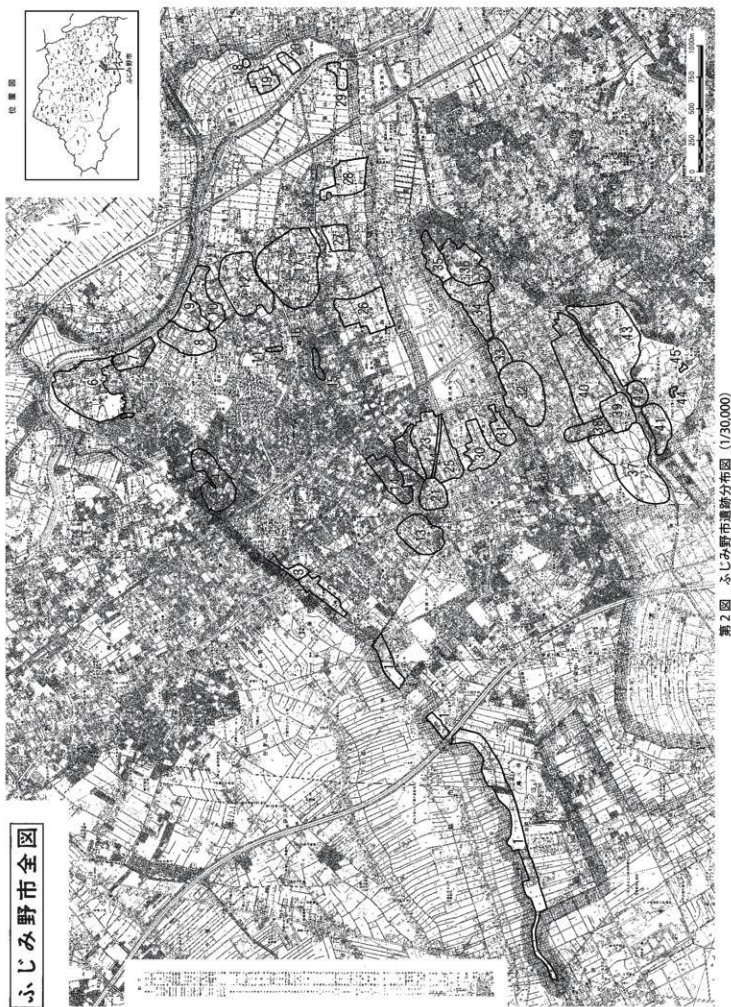
【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造された板碑の下に、蔵骨器が埋納された墓石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禪寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宮の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宮遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禪寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所（通称造兵廠「火工廠」）の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水橋などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



第5表 ふじ野市遺跡一覧表

No	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047
3	西野遺跡	縄文中期の集落跡	25-001
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落跡	25-007
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009
13	龜居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046
15	富士見台墓穴	古墳後期の横穴墓	25-011
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009
24	亀久保廻跡遺跡	中世の館跡	30-006

No	遺跡名	主な時代	遺跡番号
25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
26	駒林遺跡	近世の館跡・中世の墳墓	25-013
27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
36	浄禪寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
38	大井宿遺跡	近世～近代の館跡	30-010
39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
44	大井宿木戸跡	近世～近代の館跡	30-048
45	石塔畑	中世の散布地	30-027

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 2017 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 ③ 1994	黒尾和久 ④ 1995	谷井 他 ⑤ 1982	考古学協会 ⑥ 1981	
猪沢・阿玉台Ⅰb古	猪沢・阿玉台Ⅰb古	猪沢・阿玉台Ⅰb	中 期 中 葉 勝 坂 半 前 1a 1b 1c 2a 2a新 2b 2b 3a 3b古 3b新	阿玉台Ⅰb前IVb	Ⅱ期 阿玉台出現期	
勝坂Ⅰ古・新道古・阿玉台Ⅰb新	勝坂第Ⅰ様式	勝坂Ⅰ様式		阿玉台Ⅰb前Va	Vb	Ⅲ期 (勝坂最古段階)
勝坂Ⅰ新・新道新・阿玉台Ⅱ古	Ⅱ様式	Ⅱ様式		勝 坂 式	VI	Ⅳ期 (勝坂盛時段階)
勝坂Ⅱ古・勝内古・阿玉台Ⅲ古	Ⅲ様式	Ⅲ様式			VII	V期 (勝坂終末)
勝坂Ⅱ新・勝内新	Ⅳ様式	Ⅳ様式		加 曾 利 E 式	VIII	加曾利EⅠ古
勝坂Ⅲ古・井戸尻・阿玉台Ⅳ古	V様式	V様式			IXa IXb X	加曾利EⅠ新
勝坂Ⅲ新・阿玉台Ⅳ新	VI様式	VI様式				
加曾利EⅠ古	加曾利EⅠ様式	加曾利EⅠ直前			1a 1b 1c	加 曾 利 E 式
加曾利EⅠ新	古相 中相 新相	加曾利EⅠ式		2a 2b 2c古 2c新		
加曾利EⅡ	古相 中相 新相	加曾利EⅡ式		3a 3b 3c		
加曾利EⅢ	加曾利EⅢ式	加曾利EⅢ式	E4			
加曾利EⅣ	加曾利EⅣ式	加曾利EⅣ式		XIV	加曾利EⅣ	



## 第2章 北野遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

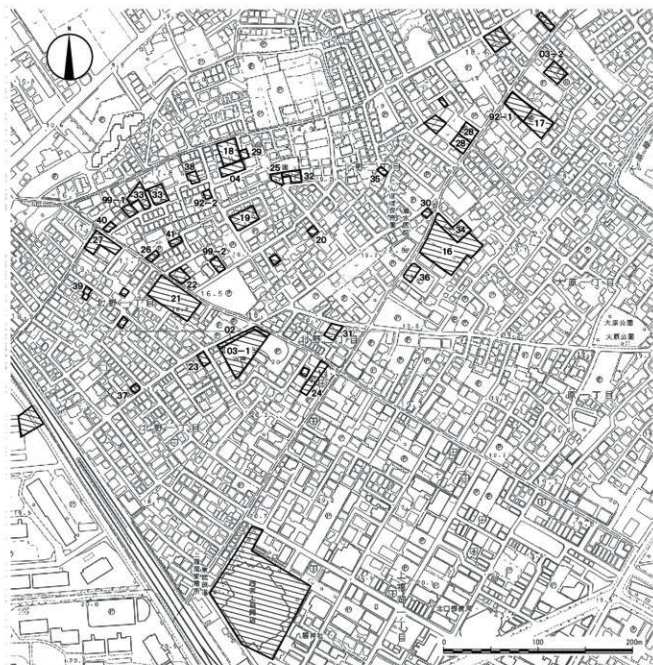
周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以来2017年3月末現在、41ヶ所で調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、集石土坑群、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。

### II 北野遺跡第27地点

#### (1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より



第3図 北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)

2014年3月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は、遺跡範囲の北西部の崖面に近い台地上に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年5月7日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～40cmであった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構は確認されなかった。第4図1は表土層出土の縄文土器である。胎土に金雲母を含み、角押文を施す。縄文時代中期中葉の阿玉台式。

### Ⅲ 北野遺跡第28地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設と分譲住宅建設に伴うもので、各々の原因者より2014年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出され

た。

調査区は隣接しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認する試掘調査を同時に行う事とした。申請地は、遺跡範囲の北東部に位置する。

試掘調査は2014年5月27日・28日に実施した。幅約1～1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。分譲住宅建設予定地内では近世以降とみられる溝の続きを確認したが、それ以外に遺構と遺物は確認されなかった。個人住宅建設予定地内で縄文時代とみられる集石土坑1基が確認されたため、本調査を実施した。現地表面から地山ローム層までの深さは約50～60cmであった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。

#### (2) 遺構と遺物

遺構は集石土坑1基を検出した。遺物は3点が出土し、2点を掲載した。

【集石土坑】集石土坑は調査区の東端に位置し、溝に切られるため全容は不明である。集石土坑の詳細につ

第7表 北野遺跡調査一覧表

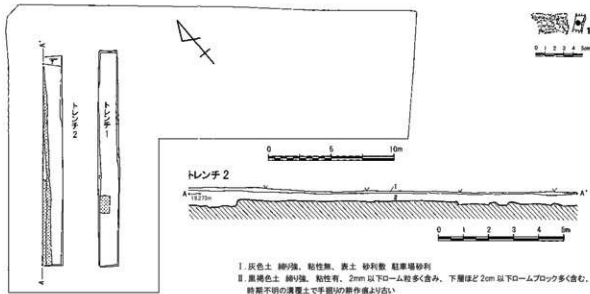
地点	所在地	調査期間(日)試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	発掘原因	確認された遺構と遺物	掲載報告書
1	北野2-2110-10の一部分、2112-1	(2006.4.7)	408(44)	分譲住宅	遺構遺物なし	403
2	北野1-3119-11	(2006.4.8)	131	個人住宅	遺構遺物なし	18教説、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)	148	個人住宅	仮道層付、遺構遺物なし	403
4	北野2-8-3	(2006.8.24)	58	個人住宅	遺構遺物なし	18教説
92-1	大原2-2079-1	(1992.6.19～22)	617	駐車場	溝2、縄文時代中葉土器片、土師器片	埋15
92-2	北野2-1809-1	(1992.8.6)	138	個人住宅	遺構遺物なし	埋15
99-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)	157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
99-2	北野2-1787-1	(1999.8.9～12)	179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
02	北野1-3068-1、3114-10の一部	(2002.11.28～29)	100	公園歩道	遺構遺物なし	埋25
03-1	北野1-3068-1、3114-10の一部	(2003.7.1～11)	1,484	公園	遺構遺物なし	埋26
03-2	大原2-2081-6	(2003.8.8～11)	350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	埋26
04	北野2-1827-1～3	(2004.4.16～19)	435	共同住宅	遺構遺物なし	埋27
05	北野1-3129-3・20	(2005.12.2)	101	個人住宅	遺構遺物なし	17教説
16	大原1-2079-1、2071-1	(2009.4.8～10)	296(1,888)	宅地造成	ビット3、中野期土器・石函	市8
17	大原1-2079-1・6	(2009.10.13～17)	122.5(412)	共同住宅	土坑2、阿玉台付土器	市8
18	北野2-1828-2・12、1829-1・2	(2009.3.9～18)	178(507.9)	分譲住宅	縄文土器類(11点)、奈良平安住居跡(11住)、土坑3、ビット8	市8
19	北野2-1821-1・2、1820-4	(2010.12.1～2)	476.3	共同住宅	ビット2、遺物なし	市10
20	北野2-1835-11	(2011.8.11)	61.3(4)	個人住宅	遺構遺物なし	市14
21	北野1-3117-3,3118-1	(2011.12.8～20)	830	分譲住宅	堀跡1、縄文土器片、磁器	市14
22	北野2-1788-80の一部	(2012.2.6～8)	48(207.1)	分譲住宅	遺構なし、須恵器片	市14
23	北野1-3111-4(1-4-9)	(2012.8.28)	140.8	個人住宅	遺構遺物なし	市15
24	北野1-3063-1	(2012.8.13・14)	335	分譲住宅	土坑1、磁きり溝1、縄文土器片	市15
25	北野2-1833-3(2-6-6)	(2012.12.10)	142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)	117	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
27	北野1-3119-11	(2014.5.7)	481	共同住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-9	(2014.5.27・28)	100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市20
29	北野2-2110-8	(2014.5.27)5.28	101.4	個人住宅	縄文時代集石土坑1、土器片	市20
28	北野2-1830-8	(2014.10.14・15)	83.7	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市20
30	北野2-2067-8	(2014.10.30・11.5)	75.9	分譲住宅	溝1、遺物なし	市20
31	北野2-2130-4・9	(2015.8.18)	179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	本報告
32	北野2-1841-7堀	(2015.8.27)	209	分譲住宅	遺構遺物なし	本報告
33	北野2-1801-3・4・42・43	(2015.12.1～8)12.15～21	627.69	分譲住宅	集石土坑5、縄文土器片	市19
34	大原-2073-1	(2015.12.7・8)	276.13	共同住宅	ビット1、遺物なし	本報告
35	北野2-2116-4	(2015.12.8)	53	個人住宅	遺構遺物なし	本報告
36	大原1-2058-10・11の各一部	(2016.2.16)	212	共同住宅	遺構遺物なし	本報告
37	北野1-3117-23・25	(2016.3.25)	70.25	個人住宅	遺構遺物なし	本報告
38	北野2-1807-6・7・8、1808-3・5	(2016.7.26)	106.9	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	本報告
39	北野1-3129-27・28	(2016.12.5)	119	連立住宅	遺構遺物なし	本報告
40	北野2-5-27	(2017.1.31)	65	個人住宅	遺構遺物なし	本報告
41	北野2-1794-2(9)埋	(2017.2.20)	157.49	専用住宅	遺構遺物なし	本報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、土遺：上福岡市遺跡調査会報告書、教説：上福岡市・ふじみ野市教育委員会、市：ふじみ野市内道路報告書

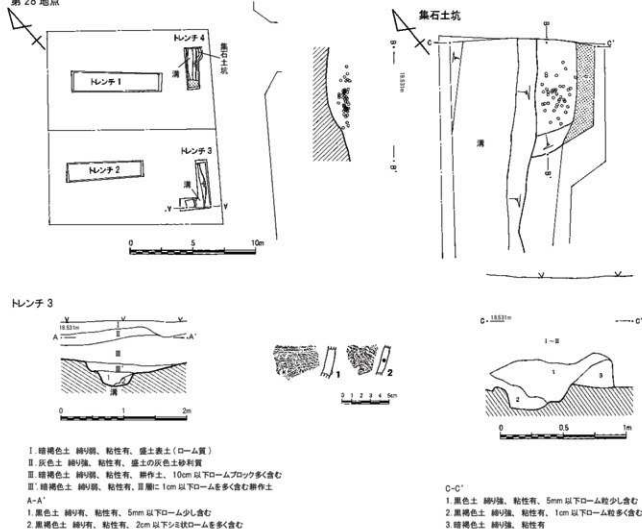
第8表 北野遺跡第28地点集石土坑・出土礫観察表 (単位 cm・g)

坑	平面形状	掘削形状	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	総回数	元形数	焼成数	未焼成数	テール・細片数	テール・整片数	備考
1	不明	(80)×46	(75)×32	19.2	78	2,301.82	29.51	22(71.79%)	56(28.21%)	54(69.23%)	24(30.77%)	65(93.33%)	13(16.67%)	

## 第27地点



## 第28地点



第4図 北野遺跡第27・28地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150・1/60)、第28地点集石土坑・遺物出土状況(1/30)、出土遺物(1/4)

いては第8表を参照。

【遺物】(第4図1・2)1は半截竹管による集合沈線、貼付文に半截竹管先端による刺突を施す、諸磯c式。2は胎土に微細な金雲母を含む。器面が荒れているのははっきりしないが燃糸文を施文か。縄文時代。

#### IV 北野遺跡第29地点

##### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は、遺跡範囲の北部の崖面に近い台地上に位置する。西側の隣接地第18地点では縄文時代中期と奈良平安時代の住居跡等が確認されているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年10月14・15日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60cmであった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。土坑は平面形態は長方形を呈するが全容は不明である。検出部の規模は確認面径(70)×61cm、底径(57)×52cm、深さ21.8cmである。遺物が出土しておらず、遺構ではない可能性もある。

#### V 北野遺跡第30地点

##### (1) 調査の概要

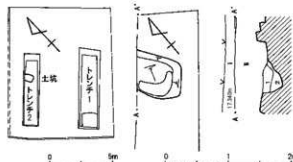
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は、遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2014年10月30日～11月5日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.3～1.4mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～40cmであった。トレンチ2で近世以降の溝を確認し、一部を検出した。溝の規模は上幅45～65cm、下幅12～20cm、深さ40cmである。遺物は出していない。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻しを行った。

第29地点



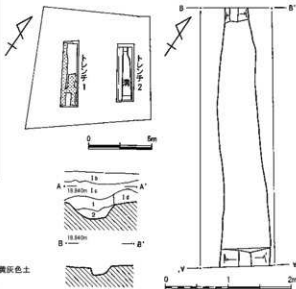
北野29

- 1 黒褐色土 締り弱、粘性有。表土。20cm～10cm大隙。ガラスむ表土
- 2 黒褐色土 締りやや強、粘性有。田舎作土。1cm以下ロームブロック多く含む
- 3 黒色土 締り弱、粘性有。10cm以下シロ状暗褐色土層少し含む
- 4 褐色土 締り弱、粘性有。ロームが主体で、10cm以下黒色土ブロック少し含む

北野30

- 1a 黄褐色土 締り強、粘性有。ロームと主体の聖地層。調査区の南部分のみ
- 1b 暗褐色土 締り強、粘性有。20cm以下ローム粒中や多く、30cm以下深土少し含む
- 1c 暗褐色土 締り強、粘性有。10cm以下ロームブロックやや多く含む。上部は色調明めの暗黄灰色土
- 2 黒褐色土 締り有、粘性有。50mm未満ローム少し含む
- 3 黒褐色土 締り有、粘性有。上部より黒色味が有る。5～10mmソフト質ロームブロック少し含む

第30地点



第5図 北野遺跡第29・30地点遺構配置図(1/300)、第29地点土坑(1/60)、第30地点溝(1/60)



## 第3章 川崎遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

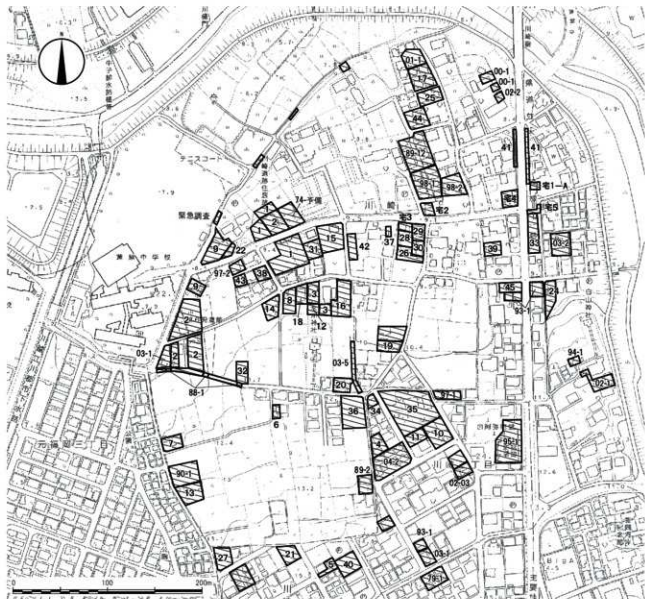
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来2017年3月末現在46ヶ所調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第6図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第9表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (月)は調査年度	面積(m <sup>2</sup> )	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.25~44)	84	参観調査	平戸C、土坑2、ピット群、縄文土器、土器	上遺跡
1次	川崎162-176	1974.7.20~9.19	1,800	参観調査	住居跡1(縄文時代前期3)、古墳時代前期1、周分7、溝3、堀2、土坑5、地穴3式庭、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大宇川崎字宮前160-3	1975.3.30~5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石版、平安土器類・須恵器・瓦類(瓦・瓦葺)	上遺跡
宅地跡1次(A・地E)	大宇川崎字宅地跡122	1975.6.8~29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡1、縄文土器、石版、鏝	上遺跡
2次	川崎137-174	1975.9.4~12.5	3,055	参観調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡、奈良平安時代住居跡10、中世遺跡	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.11~12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡2(7・8)、奈良平安時代住居跡6(1・2・4・6・8)、焼土塊、柱石、溝	川崎遺跡(第3次)・長谷遺跡
宅地跡2次(B・地E)	川崎198	1978.5.15~25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(1)
宅地跡3次(C・地E)	川崎230	1978.5.23~31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	埋(1)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19~5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡1、溝1、掘立式土坑、瓦葺	埋(B)(3)(5)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26~10.10	152	宅地造成	溝1	埋(1)
79年度調査(遺構)	調査4-3-11	(1979.11.12~10)	260	宅地造成	溝1	埋(1)
6次	川崎102-5	1979.12.3~8	30	プレハブ築屋	縄文時代前期住居跡2、平安時代住居跡2、縄文土器片	埋(1)
7次	川崎124-3	1981.11.27~30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(D)
8次	大宇川崎字宮前148-1	1984.1.17~26	400	住宅建設	溝1	埋(V)
宅地跡4次	川崎宅地跡19	1984.9.25~10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡1、平安時代住居跡1	埋(V)
9次	川崎字宮前1172-1・2	1985.9.11~20	495	個人住宅	溝2、縄文土器・陶器、平安時代土器類	埋(K)
10次	川崎224-1	1987.11.24~30	603	個人住宅	溝1	埋(X)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10~17	289	住宅建設	遺構遺物なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19~21)	60	下水道建設	住居跡1	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地跡196-1	(1989.4.10~18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前9-2	(1989.10.3~6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4・5	1990.4.20~27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大宇川崎字宮前122	1990.5.1~17	480	住宅建設	奈良時代住居跡1	埋(13)
90試(1)	大宇川崎字宮前122	(1990.5.18~23)	530	掘削調査	遺構遺物なし	埋(13)
14次	大宇川崎字宮前145	1990.10.1~31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡1、同層、平安時代住居跡1	埋(13)
15次	川崎字宮前1100-1	1991.10.23~11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	埋(14)
92試(1)	大宇川崎字宮前5	(1992.2.18~19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10・11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-10の一部	(1993.9.10~13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台254地11番	(1994.11.17~24)	230	建材置き場建設	遺構遺物なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2・3	(1995.10.13~16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	埋(18)
16次	川崎字宮前150-2・3	1995.12.11~1996.3.8	828	新市街及び駅前整備	縄文時代前期(第1期)大形住居跡1、同層住居跡2・土坑2、平安時代住居跡4・掘立式住居跡6、中世跡1(瓦葺)	79年調査
17次	川崎字宅地跡2040の一部	1996.7.15~23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮前148-3	1996.11.18~25	198	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字1a021	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(埋没不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮前1165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地跡199-1・2・5	(1998.2.12~16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	99年調査
98試(1)	川崎字宅地跡197-1	(1998.10.27~11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑1(堀)	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前1番地内	2000.2.21~25	496	道路	縄文時代前期住居跡1	14年調査
99試(1)	川崎大字宅地跡2090の一部	G2000.6.19~22)	123	個人住宅	瓦葺の一部	埋(22)
緊急発掘調査	川崎字宅地跡209	(2001.6.12~25)	100	車庫	溝1	埋(23)
19次	川崎字宮前1570の一部	2001.8.18~10.4	289	個人住宅	平安時代前期住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地跡204-1	G2001.10.29~30)	805	宅地造成	遺構遺物なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部分	G2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1、209の一部	G2002.10.28~29)	551	共同住宅	溝1【掘土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	G2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	14年調査
02試(4)	川崎2-2-12	G2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	14年調査
02試(5)	川崎字宮前155先	G2003.3.26)	164	市道401号線	遺構遺物なし	14年調査
03試(1)	川崎137-10の一部	G2003.8.6~7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)

地点	所在地	調査期間 (1)試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
036(2)	川崎字毛地成28-14	(2003.12.8-19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	埋(26)
毛地成地区5次	川崎字毛地成22-3	2004.2.16-18	88	古墳時代の副葬1位石罫1【調査実施】		15年教育
046(1)	川崎字宮前157-1の1番	(2004.6.14-15)	421	個人住宅	平安時代(佐藤)のカタの一部	埋(27)
046(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1-4)	881	毛地成	遺構遺物なし	埋(27)
20次	川崎字宮前153-5	(2005.11.22-27) 2005.1.28-12.2	237	個人住宅	古墳時代石罫1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14-20	298	個人住宅	奈良時代石罫1、溝	市内3
22	川崎171-1, 174-10	(2007.4.16-23)	104	消防分署倉庫	伊予4、地下式穴2、穴罫1、土坑2	市内4
24	川崎字毛地成25-3	(2007.10.4)	319	月形住宅	遺構遺物なし	市内4
25	川崎字毛地成203-1の1番、 203-3の1番	(2008.4.14) 2008.4.15-17	1,033	個人住宅	奈良時代(藤)柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内6
26	川崎字毛地成230-5	(2008.4.21) 2008.4.22-5.17	228	個人住宅	奈良平安時代石罫跡4、土坑、ゼット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15-21)	300	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字毛地成230-7	(2008.7.4-9) 2008.7.10-8.8	434	個人住宅	奈良平安時代石罫跡2、土坑、ゼット	市内6
29	川崎字毛地成230-1	(2008.7.9-11) 2008.7.14-8.22	203	個人住宅	奈良平安時代石罫跡2、溝3	市内6
30	川崎字毛地成230-6	(2008.7.17) 2008.7.18-9.5	200	個人住宅	奈良平安時代石罫跡4、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮前161-5の1番、 161-6	(2009.10.28) 2009.10.28-11.27	304	個人住宅	縄文時代中期-後期石罫跡2、奈良平安時代石罫跡2、ゼット12	市内8
32	川崎字宮前1409-1番	(2011.2.24-25) 2011.3.2-25	396	個人住宅	奈良平安時代石罫跡3、土坑2、建物部分遺査	市内10
34	川崎2-5-4	(2011.7.25-26)	118	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
35	川崎2-6-4-7・9	(2011.9.27-11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(須賀)石罫跡1、奈良平安時代石罫跡1敷	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15-20) 2012.1.10-2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代石罫跡6敷	市内14
37	川崎七字地成252-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須賀石罫、遺構なし	市内15
38	川崎字宮前165-5	(2013.2.25) 2013.2.26-27	176	個人住宅	縄文期土罫2・中世以降ゼット5	市内15
39	川崎字毛地成227-1	2013.3.4-5	1,121	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須賀器、埴輪	市内15
40	川崎1-1-7	(2013.10.11-17)	447	月形住宅	遺構なし、陶器	市内18
41	川崎字山崎10-4の1番	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
42	川崎毛地成233-5	(2015.6.26-7.2)	200	川崎委員会	平安時代(佐藤)1、須賀器、土師器	未報告
43	川崎字宮前165-5・8・9	(2015.6.26)	175	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
44	川崎字毛地成202-1・8	(2015.12.4-12.10) 016.1.5-20	274	分譲住宅	縄文時代石罫跡2、奈良平安時代石罫跡1、柱1、地下式穴1、土坑3、ゼット2、溝1、縄文土器、石器、土師器、須賀器	市内19
45	川崎字山崎4-4、7-7・8	(2017.2.24)	255	個人住宅	溝1(近江川側)、埴輪、石器(尖頭器あり)	未報告
46	川崎字宮前101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	性格不明遺構1、土師器、須賀器	未報告

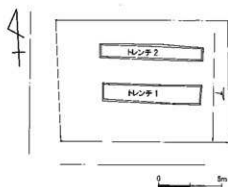
※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、土遺：上福岡市遺跡調査会報告書、教育：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

## II 川崎遺跡第41地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年8月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年9月8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは10～20cmである。遺構、遺物はなし。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第7図 川崎遺跡第41地点調査区域図(1/300)

## 第4章 ハケ遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出した武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2017年3月末現在22ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円埴輪を検出した。本遺跡は便宜上東西に

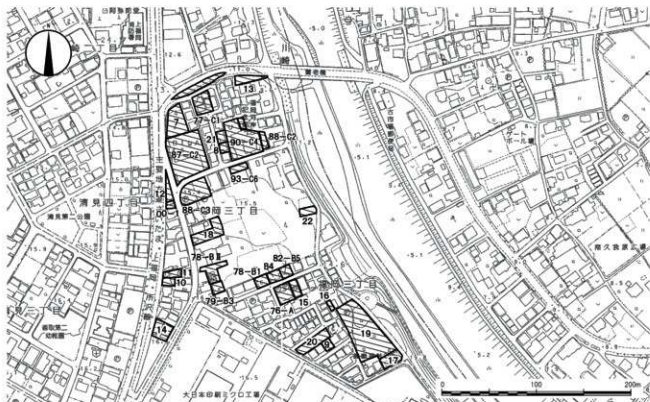
走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

### II ハケ遺跡第15地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年3月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年4月8・9日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.2mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは20～30cmである。調査区北西隅で楕円形のプランを確認したため検出を行った。確認面の規模は東西(480)×南北(242)cm、底径(360)×(190)cm、深さ27.7cmである。土層の観察から古代以降とみられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていな



第8図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)

い。

## (2) 遺構と遺物

土坑から出土した遺物1点を掲載する。(第10図1)。胎土に繊維を含み、コンパス文に組紐施文で関山式。

## Ⅲ ハケ遺跡第17地点

### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年9月26日～30日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは30～40cmである。

近世以降の溝2本と近現代以降の陶磁器やガラス製品を廃棄したゴミ穴1基を確認し、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構と遺物

【溝】調査区の西端で溝2本を検出した。溝1は上幅50～90cm、下幅20～35cm、深さ37.5cm、溝2は上幅60～70cm、下幅20～30cm、深さ43.1cmである。覆土の観察からいずれも近世以降とみられる。

【ゴミ穴】調査区の東端で土坑1基を確認し、一部を検出した。検出部は半円形を呈し上端直径(122)cm、半載して深さ約60cmまで掘り下げたが、さらに深くまで遺物が堆積していたため調査を終了した。

遺物の一部をサンプルとして持ち帰った。近現代のゴミ穴で、陶磁器、ガラス製品等の所謂危険物を廃棄したものと考えられる。

【遺物】出土遺物は溝と遺構外出土を掲載した。(第12図63～65)。65は須恵器裏の破片で灰色。63は縄文土器片で外面に縄文を施文する。64も縄文土器で地文RL縄文に沈線文を磨消す加曾利EⅢ式。1～62はゴミ穴出土遺物である。近現代のゴミ穴である土坑から出土した遺物は、コンテナ4箱分になるため大部分を割棄した。火工廠に関連するとみられる遺物と文字や印刻などがみられるものについて掲載した。詳細については第11表参照。

第10表 ハケ遺跡調査一覧表

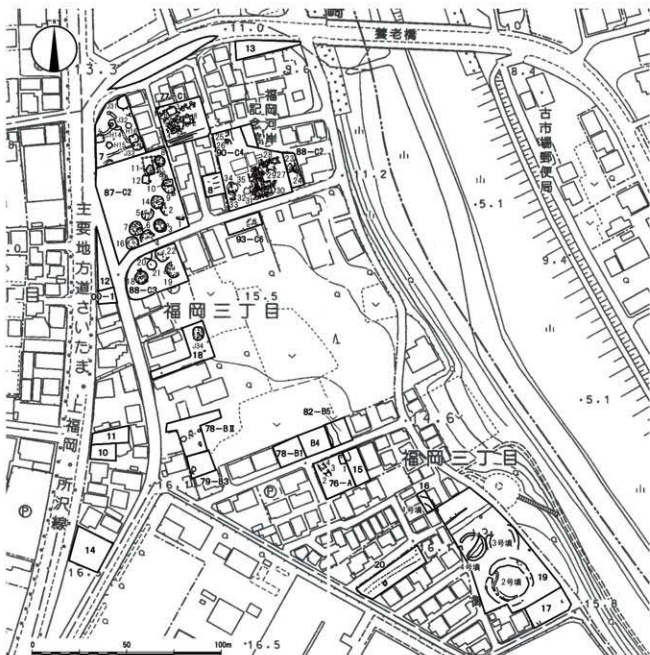
地区 調査区	所在地	調査期間 (月日調査者)	面積 (㎡)	調査回数	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大宇中福岡字遺跡1228～2021	1976.0.11～16	306	個人自宅	古墳自然跡1、惣伏遺構群5、縄文土器	土坑埋土遺跡調査報告書
C-1次	大宇中福岡字遺跡1480	1977.8.2～27	1,794	宅地造成	縄文自然跡5、奈良平安院自然跡2、惣伏遺構群、土坑、歩跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人自宅	遺構跡なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	商家建設	土坑4、歩跡1、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166	個人自宅	土坑5、縄文土器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
B-5次	大宇中福岡字遺跡1228-46	1982.5.10～17	165	個人自宅	溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)
C-2次	福岡3-2008-11	1987.4.16～5.29	1,900	商業付住宅造成	縄文中期自然跡11、奈良平安院自然跡4、竪穴1	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)
C-3次	福岡3-2-1	1988.8.15～20	63	墓塚	縄文中期自然跡4、平安院自然跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
C-2次	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	福祉改善工事	縄文中期自然跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
C-4次	日知尾屋敷地内	1990.6.20～8.8 93.11月未～継続調査予定	500	個人自宅	日知尾印子塚石輪、竊の原塚跡、(礎石・火竈3・物置跡・粘土 器方ついで内形小塚穴)・江戸期～中期古方土坑12・溝1・平安 院自然跡3・縄文中期自然跡2、縄文後・前期自然跡3	2年連続の調査 報告書
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	142	個人自宅	縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
C-4次	福岡3-2009-1の一部	1994.6.10～131	54	同発記念館管理棟・ 福祉改善工事	縄文中期自然跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)
C-2次	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人自宅	遺構跡跡なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安院遺構跡	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
C16-8	福岡3-2009-9	(2009.3.17)	99	個人自宅	住居跡確認	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
C16-9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人自宅	土坑1、竊塚木1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122	個人自宅	時期不明溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	158	分譲住宅	縄文時代前期外埋土1、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人自宅	ピット1、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2・3)	183	個人自宅	遺構跡跡なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人自宅	遺構跡跡なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
15	福岡3-1228-19	(2014.8・9)	184	分譲住宅	遺構跡跡なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
16	福岡3-1254-7・14・17	(2014.8.11～9.29.3～9)	68	分譲住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	未報告
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.28～30)	99	個人自宅	現代のゴミ穴1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.1.24～10) 2015.1.8～16	511	分譲住宅	縄文時代中期自然跡1、伊4、土坑2、溝2、縄文土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
19	福岡3-1222-1、1225～1225、 1255	(2015.3.17～5/11・10/13) 6/2～8/19	2,297	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土器類、埴輪	未報告
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29～30	375	分譲住宅	古代以降の竊塚1、土坑1、土器類、火工廠後等坑	未報告
21	福岡3-1193-4・15、2069-10	(2016.1.3)	101	個人自宅	遺構跡跡なし	未報告
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26～2017.1.19) 2017.1.25～2.8	249	山形自治会施設建設	古墳自然跡1(伊18)、土坑13、ピット3、縄文土器、土器類	未報告

## IV ハケ遺跡第16・18・19地点

ハケ遺跡第16・18・19地点の調査は、平成26(2014)年度に行った。ハケ遺跡第18地点についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第17集『市内遺跡群16』(2016.3)ですでに試掘調査の報告と本調査の報告を行っているため、本書では割愛した。

また第16・19地点については個人住宅建設と民間

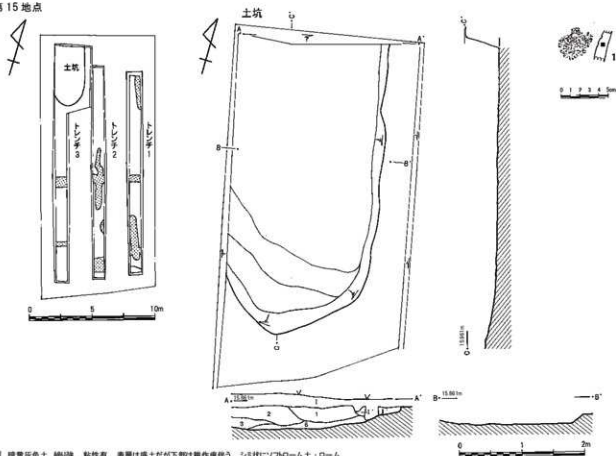
の宅地造成に伴う本調査を実施した。特に両地点では6世紀代の古墳4基をはじめとする多数の遺構と人物埴輪等の遺物が出土した。本報告にあたっては両地点の関連性が強いと見られるため、合わせて報告する事が遺跡の内容をより正確にまた詳しく報告できるため、改めて今年度に報告書の刊行を予定しており本書では割愛した。



第9図 ハケ遺跡遺構分布図(1/2,000)



## 第15地点



1. 暗黄灰色土 粘り強。粘性有。表面は黒土だが下部は黒作層様。シミ状にローム土・ローム粒・黒褐色土・灰色土少し含む

1' 黒褐色土 粘り強。粘性有。シミ状に灰色土を多く含む。耕作土

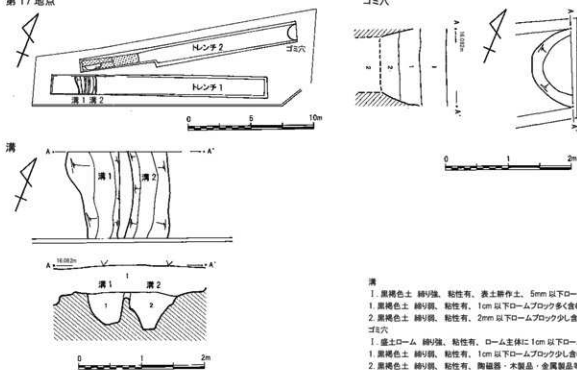
1. 黒褐色土 粘り強。粘性有。黒色味強い。2mm以下ローム粒少し含む

2. 黒褐色土 粘り強。粘性有。色調は1層に似るが、3mm以下ローム粒やや多く含む

3. 黒褐色土 粘り強。粘性有。色調2層より明る。黄灰色味が有る。3mm以下ローム粒多く含む

6. 黄褐色土 粘り強。粘性有。黒褐色土と暗黄灰色土を主体にシミ状のロームブロックを多く、5mm以下ローム粒少し含む

## 第17地点



溝

1. 黒褐色土 粘り強。粘性有。表土耕作土。5mm以下ロームブロック多く含む

1. 黒褐色土 粘り強。粘性有。1cm以下ロームブロック多く含む

2. 黒褐色土 粘り強。粘性有。2mm以下ロームブロック少し含む

ゴミ穴

1. 盛土ローム 粘り強。粘性有。ローム主体に1cm以下ロームブロック少し含む

1. 黒褐色土 粘り強。粘性有。1cm以下ロームブロック少し含む

2. 黒褐色土 粘り強。粘性有。陶磁器・木製品・金属製品等多量に含む

第10図 ハケ遺跡第15・17地点遺構配置図(1/300)、第15地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)、第17地点溝・ゴミ穴(1/60)

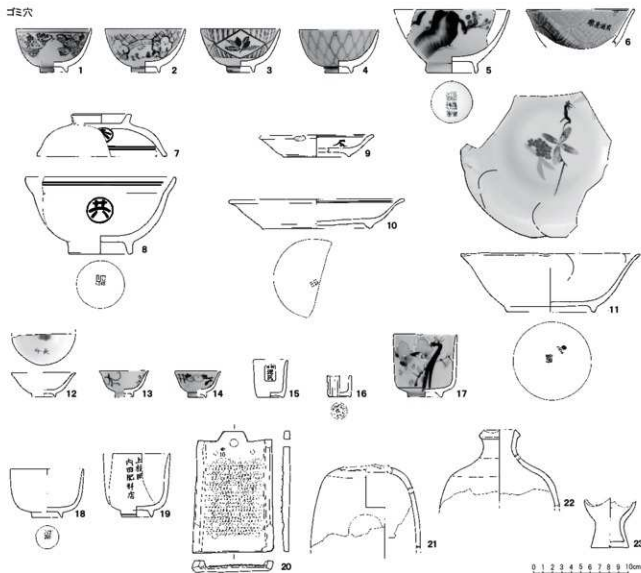
第11表 ハケ遺跡第17地点出土遺物観察表(単位 cm)

図番	出土遺構	種類・名称	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	ゴミ穴	磁器/瓦筒	8.0	3.0	4.6	輪軸成形/ゴム輪付け/扁	瀬戸・美濃	1920年代~
2	ゴミ穴	磁器/瓦筒	8.5	3.0	4.7	輪軸成形/ゴム輪付け/扁、肌掛け舟	瀬戸・美濃	1920年代~
3	ゴミ穴	磁器/瓦筒	8.5	3.1	4.7	輪軸成形/ゴム輪付け/扁、腰、菱形内どんぐり	肥前	1920年代~
4	ゴミ穴	磁器/瓦筒	8.4	3.0	4.6	輪軸成形/ゴム輪付け/扁文	瀬戸・美濃	1920年代~
5	ゴミ穴	磁器/盆	12.2	5.1	6.7	輪軸成形/外面に3列の黒文/輪下色絵、外面ケロム青龍/無蓋文/高台内に縦割番号「東八軒(山)型」(「東53」)	瀬戸・美濃	1930~1940年代
6	ゴミ穴	磁器/盆	11.4	—	—	輪軸成形、外面黒帯七宝文/鉄軸・肌掛け舟付/外面にゴム印「御前調式」	瀬戸・美濃	20c前半
7	ゴミ穴	磁器/蓋蓋	13.8	6.4	4.5	輪軸成形/輪化ケロム(緑)無軸、ゴム印、内9の中に「凡」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
8	ゴミ穴	磁器/蓋	15.9	6.8	8.2	輪軸成形/輪化ケロム(緑)無軸、ゴム印/高台内に縦割番号「横1.065」、内9の中に「凡」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
9	ゴミ穴	磁器/蓋	12.1	7.0	2.3	輪軸成形/輪化ケロム(緑)無軸、ゴム印「PM」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
10	ゴミ穴	磁器/蓋	18.7	11.7	3.2	輪軸成形/輪化ケロム(緑)無軸、ゴム印/高台内に縦割番号「横122」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
11	ゴミ穴	磁器/彫花鉢	19.0	9.5	6.2	輪軸、型打ち成形/土胎付け、瓶/高台内に縦割番号印刷「横1124」、ゴム印「○2724a」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
12	ゴミ穴	磁器/小杯	6.8	2.4	2.6	輪軸成形/筒込みに赤と藍の上絵付けで大判、「長命」	瀬戸・美濃	20c前半
13	ゴミ穴	磁器/小杯	5.2	2.0	2.8	輪軸成形/輪下色絵/ひょうたん、瓶	瀬戸・美濃	20c前半
14	ゴミ穴	磁器/小杯	4.9	2.0	2.8	輪軸成形/コマト染付/草木文	瀬戸・美濃	20c前半
15	ゴミ穴	磁器/小杯	3.7	2.7	3.0	輪軸成形/ゴム印「加清 源式」	瀬戸・美濃	20c前半
16	ゴミ穴	磁器/箱の片割面	2.6	2.5	2.3	型打ち成形/内外面に透明釉/底面にすずらん、縦割番号「横180」/瀬戸/東山スズランエゾ株式会社	瀬戸・美濃	1930~1940年代
17	ゴミ穴	磁器/蓋蓋み	6.8	3.7	6.7	輪軸成形/外面ケロム青龍/輪下色絵、イッちゃん輪軸文、ゴム印「加岡村 土屋木商店」	肥前?	20c前半
18	ゴミ穴	磁器/蓋蓋み	7.8	3.1	5.2	輪軸成形/内外面ケロム青龍/貴付に黒軸/高台内縦割番号「横355」	瀬戸・美濃	1930~1940年代
19	ゴミ穴	磁器/蓋蓋み	7.2	3.2	6.7	輪軸成形/輪化ケロム染付/土胎付け「上福岡 内田製陶所」	瀬戸・美濃	20c前半
20	ゴミ穴	陶器/おろし器	12.9	8.7	0.7	板作り/表面に透明釉、縦割番号「八二 10」/印刷/表面面に布目織	瀬戸・美濃	1930~1940年代
21	ゴミ穴	陶器/ペロかん磨り	—	(11.8)	(8.7)	輪軸成形/磨釉	瀬戸・美濃	1830~1860年代
22	ゴミ穴	陶器/磨り	4.3	(12.7)	(8.2)	輪軸成形/灰釉/磨釉	瀬戸・美濃	1830~1860年代
23	ゴミ穴	陶器/花瓶	—	3.8	(5.1)	輪軸成形	瀬戸・美濃	20c前半
24	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.3	2.2	5.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	—	近代
25	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.0	2.7	4.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	—	近代
26	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.2	3.2	6.2	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「みやぶ」染料	—	近代
27	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.2	3.3	6.4	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有	—	近代
28	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.8	3.3	4.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「みやぶ」染料	—	近代
29	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	2.8	3.4	5.4	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「みやぶ」染料	—	近代
30	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(研教師)	1.4	2.0	6.6	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「TRADE MARK」, トンボ, 「印ゴント」染料	—	近代
31	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	1.5	2.6	7.2	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「君が代」, 「豊原堂 9365a」, 「定家」, 「HAR-DYE KAME-AYO」染料	—	近代
32	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.3	2.0	5.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/底面に「10」/刷	—	近代
33	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.6	2.8	6.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
34	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	3.2	6.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/目録り、底面に「17」/刷	—	近代
35	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	4.0	8.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
36	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.8	4.9	10.3	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
37	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.7	3.4	4.2	型吹き成形(割り型)/黒色・透明、気泡有	—	近代
38	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.9	4.5	7.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「八ト」、底面に「0」/刷	—	近代
39	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.5	5.8	9.1	型吹き成形(割り型)/黒色・透明、気泡有/「東洋薬草」, 「洗貝用器」/刷	—	近代
40	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(磨面)	1.9	3.6	5.8	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/「KOBAYASHI TAMUSHIYON」/刷	—	近代
41	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(食品)	2.0	3.8	8.3	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/底面に「AJIROMOTO」, 「2」/刷	—	1900~1930年代
42	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(インク)	3.3	5.0	6.7	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/底面に「SMCO」/刷	—	近代
43	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(ランプ油)	2.4	5.0	5.1	型吹き成形(割り型)/無色・透明、気泡有/刷	—	近代
44	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	5.0	5.1	3.9	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
45	ゴミ穴	ガラス製品/瓶(染料)	3.0	3.0	4.2	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有/「文化堂」/刷	—	近代
46	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	3.6	3.6	3.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
47	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	5.2	4.8	9.4	型吹き成形(割り型)/青色・透明、気泡有	—	近代
48	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	2.3	3.0	7.9	型吹き成形(割り型)/褐色・透明、気泡有	—	近代
49	ゴミ穴	ガラス製品/瓶	1.8	4.0	11.0	型吹き成形(割り型)/褐色・透明、気泡有/底面に「7」/刷	—	近代

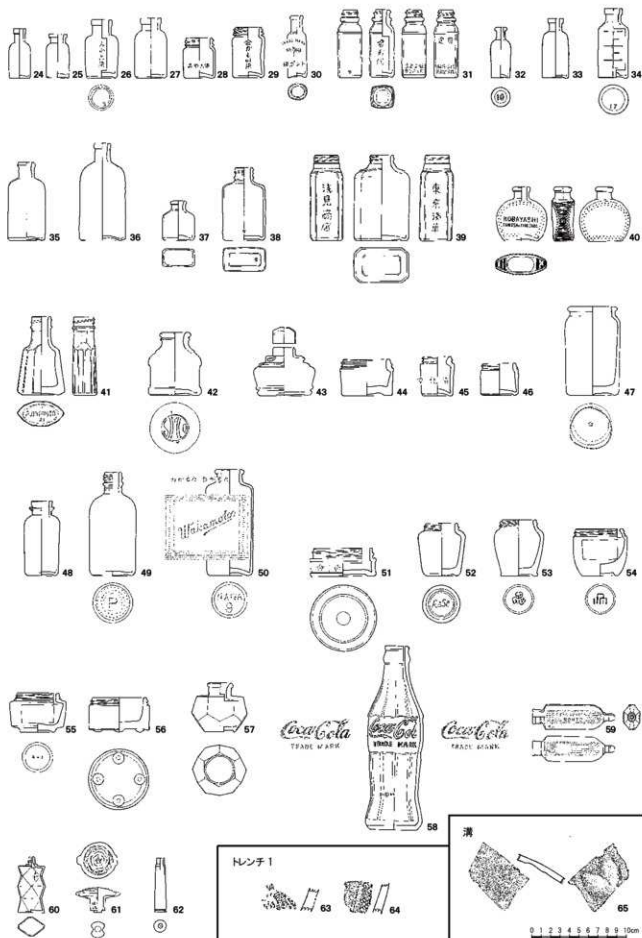


図号	出土遺構	種類・群種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
50	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(薬品)	3.1	3.8	11.2	空吹き成形(割り型)/無色・透明。気泡有/白線部に「わかもち」と、胴部に「WAKAMOTO」, 底面に「NAGA 9」 陽刻	-	昭和初期
51	ぼんち穴	ガラス製品/瓶	6.2	6.5	3.0	空吹き成形(割り型)/無色・透明/口とWを組み合わせ色印を陽刻	-	近代
52	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(化粧品)	3.4	3.1	5.6	空吹き成形(割り型)/無色・透明/底に「KOSE」 陽刻	-	近代
53	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(化粧品)	3.7	3.8	6.0	空吹き成形(割り型)/白色・半透明/底に三つ葉7陽刻	-	近代
54	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(化粧品)	5.1	3.7	5.0	空吹き成形(割り型)/白色・半透明/底面に花散りマーク陽刻/株式会社藤原がマード	-	1920年代~
55	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(化粧品)	4.5	3.6	4.2	空吹き成形(割り型)/白色・半透明/底に「A-1」 陽刻	-	近代
56	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(化粧品)	5.8	6.4	3.7	空吹き成形(割り型)/白色・半透明/足付き	-	近代
57	ぼんち穴	ガラス製品/瓶	2.7	3.2	5.2	空吹き成形(割り型)/青色・透明。気泡有	-	近代
58	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(飲料)	2.6	4.7	19.5	空吹き成形(割り型)/無色・透明/「CocaCola TRADEMARK」2ヶ所、「53045」 陽刻	-	近代
59	ぼんち穴	ガラス製品/瓶(医薬)	0.5	1.6	8.7	空吹き成形(割り型)/青色・透明。気泡有/「EYE LOTION RIGHT」 陽刻	-	昭和初期
60	ぼんち穴	ガラス製品/瓶	0.6	2.8	5.9	空吹き成形(割り型)/無色・透明	-	近代
61	ぼんち穴	ガラス製品/蓋	4.7	1.4	2.7	空吹き成形(割り型)/無色・透明。気泡有/上面にバラと星の陽刻	-	近代
62	ぼんち穴	金属製品/蓋壳	0.8	1.2	5.7		-	1930~1940年代
63	トレンチ1	織文土器/深鉢	-	-	1.0	朝漆/扁形の加飾織文か	-	縄文時代中葉
64	トレンチ1	織文土器/深鉢	-	-	0.9	朝漆/扁形 瓦.織文.沈陽間作りけし/加飾目玉草	-	縄文時代中葉後半
65	溝	陶器/蓋形	-	-	0.6	硬質の還元気焼成/内面に彫刻面	-	中~近世

## ゴミ穴



第11図 ハケ遺跡第17地点出土遺物①(1/4)



第12図 ハケ遺跡第17地点出土遺物②(1/4)

## 第5章 滝遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を

検出して以来2017年3月末現在、31ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

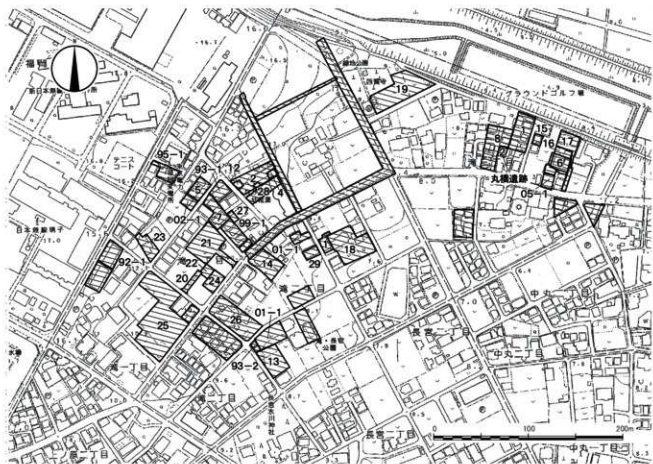
遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。

### II 滝遺跡第24地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年6月17日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年7月16日～18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現



第13図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

地表面から遺構確認面の黒褐色土層までの深さは約60cm、地山ローム層まで80～100cmである。

トレンチ1とトレンチ3で遺構らしきプランを確認した。遺構の性格を確認するため一部検出を行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

## (2) 遺構と遺物

【土坑1】土坑1は調査区東端に位置する。

平面形態は不整形を呈する。規模は確認面径187×162cm、底径162×160cm、深さ30.8cmである。

覆土層から須恵器の環がまとまって出土した。須恵器の時期は8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【土坑2】土坑2は調査区の北端隅に位置する。

平面形態は円形を呈し底部が二つに分かれる。規模は確認面径117×100cm、底径30×24cm、深さ84.8cmである。

覆土層から須恵器と土師器壺の口縁部が出土した。遺物の時期は7世紀後半から8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【ピット1・2】ピットはトレンチ3で2基検出した。ピット1とピット2は接する。土層の観察から古代以降とみられる。

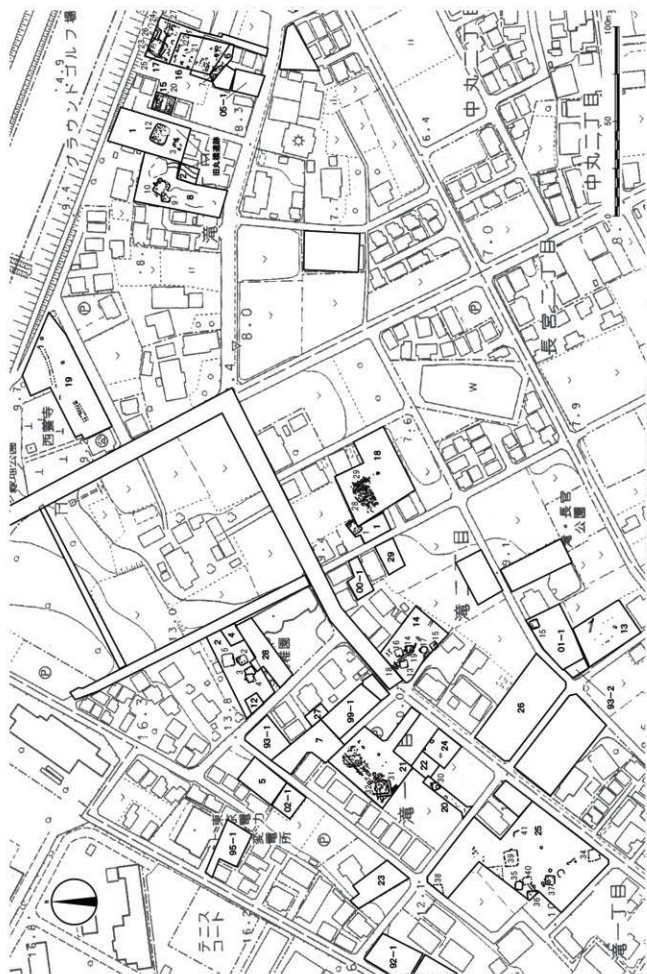
ピット1の平面形態は不整形であるが底部は長方形である。規模は確認面径60×45cm、底径20×10cm、深さ61.4cmである。

ピット2の平面形態は不整形である。規模は確認面

第12表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (○は調査期間)	面積(m <sup>2</sup> )	調査目的	確認された遺構と遺物	調査報告書	備考
北端1次	滝3-3-77-81	(1976.6.26-27) (1976.7.24-8.12)	543	居住宅	古墳前期(住居1)・後期(住居2)	上福岡市跡調査報告書	人形遺物は滝遺跡へ移す
北端2次	滝3-3-13	1978.7.26-8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代土坑1	堆積文化財の調査(1)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2-13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	堆積文化財の調査(1)	
2次	滝1-4-2	1979.4.19-5.7	278	給排水プール	住居跡1、須恵器、土坑、土師器、土師器	堆積文化財の調査(1)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27-7.3	76	住宅建設	堆積土層跡1地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(1)	堆積土層跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.7-12	105	住宅建設	遺構物なし、平安土師器跡	堆積文化財の調査(1)	堆積土層跡へ変更
5次	滝1-3-21	1980.7.20-31	330	住宅建設	堆積土層跡2地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(1)	堆積土層跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20-12.2	166	雑瓦土坑、奈良住居跡、縄文早期土師器、石器、奈良土師器	縄文土坑、奈良住居跡、縄文早期土師器、石器、奈良土師器	堆積文化財の調査(1)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30-31	400	個人住宅	遺構物なし、縄文土師器	堆積文化財の調査(IV)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14-26	600	住宅建設	古墳住居跡2	堆積文化財の調査(IV)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11-22	466	住宅建設	堆積土層跡3地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(VI)	堆積土層跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1-12	363	住宅建設	堆積土層跡4地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(VI)	堆積土層跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28-30	33.17	物置建設	堆積土層跡7地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(VI)	堆積土層跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22-24	94	住宅建設	遺構物物なし	堆積文化財の調査(VI)	
09試(1)	滝1-2-149-1	(1992.7.6-8)	400	倉庫建設	遺構物物なし	堆積文化財の調査(1・5)	
09試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23-28)	313.08	共同住宅	遺構物物なし	堆積文化財の調査(1・6)	
09試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	96	個人住宅	遺構物物なし	堆積文化財の調査(1・6)	
09試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27-30)	462	共同住宅	堆積土層跡14地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(1・8)	
09試(1)	滝1-1-6	(1996.10.21-26)	511.06	宅地造成(土地分譲)	遺構物物なし	堆積文化財の調査(2・2)	
09試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23-24)	154.7	個人住宅	遺構物物なし	堆積文化財の調査(2・2)	
09試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17-20)	519.64	共同住宅	奈良前期住居跡1	堆積文化財の調査(2・2)	
09試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29-30)	165	個人住宅	堆積土層跡17地点に変更、欠番とする。	堆積文化財の調査(2・5)	
09試(1)	滝3-3-5+143	(2005.6.24-27)	350	個人住宅	遺構物物なし	市内調査跡1	
立寄	滝1-4-1+26+27	(2006.4.15)	2,492	給排水	遺構物物なし	市内調査跡4	
12	滝2-5-3+40+41	2007.2.6	472	個人住宅	遺構物物なし	市内調査跡3	
13	滝2-2-6	2007.10.24-11.1	737.7	共同住宅	築土層跡2、ピット8	市内調査跡4	
14	滝2-9-11+17	(2007.11.8-19) (2007.11.20-12.6)	602	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、遺跡跡、土師器	市内調査跡4	
15	滝3-3-84	(2009.2-14) (2009.10.23-11.6)	100	分譲住宅	奈良前期住居跡1、井戸1、土坑、ピット20、須恵器、土師器、新幹車	市内調査跡7	
16	滝3-143	(2009.12-14)	434	宅地造成	ピット3	市内調査跡8	
17	滝3-3-6+144	(2010.5.6-6.18)	331	分譲住宅	奈良中期時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石	市内調査跡10	
18	滝2-6-4+6	(2011.6.6-13) (2011.6.14-7.14)	1164	個人住宅	古墳時代住居跡2、土師器、奈良前期須恵器	市内調査跡14	
19	滝3-4-2	(2011.10.17-24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、須恵器	市内調査跡14	
20	滝1-8+9	(2012.5.9-11)	124.45	遺跡調査	奈良・平安時代住居跡1、時期不明住居1、土坑、ピット	市内調査跡12	
21	滝1-1+7+26+31	(2012.11.7-21) (2012.7.17-8.25)	1,176.25	現住宅	奈良平安時代前期(住居跡1)(住居跡2)、奈良平安時代住居跡2(住居跡3)、住居跡4、住居跡5、住居跡6、住居跡7、住居跡8、住居跡9、住居跡10、住居跡11、住居跡12、住居跡13、住居跡14、住居跡15、住居跡16、住居跡17、住居跡18、住居跡19、住居跡20、住居跡21、住居跡22、住居跡23、住居跡24、住居跡25、住居跡26、住居跡27、住居跡28、住居跡29、住居跡30、住居跡31、住居跡32、住居跡33、住居跡34、住居跡35、住居跡36、住居跡37、住居跡38、住居跡39、住居跡40、住居跡41、住居跡42、住居跡43、住居跡44、住居跡45、住居跡46、住居跡47、住居跡48、住居跡49、住居跡50、住居跡51、住居跡52、住居跡53、住居跡54、住居跡55、住居跡56、住居跡57、住居跡58、住居跡59、住居跡60、住居跡61、住居跡62、住居跡63、住居跡64、住居跡65、住居跡66、住居跡67、住居跡68、住居跡69、住居跡70、住居跡71、住居跡72、住居跡73、住居跡74、住居跡75、住居跡76、住居跡77、住居跡78、住居跡79、住居跡80、住居跡81、住居跡82、住居跡83、住居跡84、住居跡85、住居跡86、住居跡87、住居跡88、住居跡89、住居跡90、住居跡91、住居跡92、住居跡93、住居跡94、住居跡95、住居跡96、住居跡97、住居跡98、住居跡99、住居跡100	市内調査跡12	
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構物物なし	市内調査跡18	
23	滝1-3-50+1	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構物物なし	市内調査跡18	
24	滝1-1-40+1	(2014.7.16-18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑1、ピット2	市内調査跡20	
25	滝1-2-4+2	(2014.7.18-8.26) (2014.8.8-10.31)	2,804	宅地造成	古代住居跡5(住居跡4+住居跡1)、奈良住居跡跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、遺跡跡、土師器	市内調査跡16	
26	滝2-5-6+8	(2015.10.19-27) (2016.8.24-9.9) (2015.11.9-10)	1,231	個人住宅及び商家住宅	縄文時代後と見られ、古代住居跡2(住居跡4+住居跡1)、時代不明住居1、土坑7、ピット46、縄文土師器、石器、土師器	未報告	
27	滝1-1-25	(2015.11.27-12.1)	155	分譲住宅	古代住居跡1(住居跡3)、ピット3、土師器、須	未報告	
28	滝1-4-4+26+27	(2016.9.3-6)	2,492	給排水管建設	住居跡1、土師器、支脚	未報告	
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150	個人住宅	溝2、縄文土師器、土師器	未報告	
30	滝1-1-3	(2017.2.13-15)	303	分譲住宅	遺構物なし、縄文土師器	未報告	
31	滝1-1-3	(2017.2.13-15)	109	個人住宅	遺構物物なし	未報告	

※詳：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上福岡：上福岡市跡調査報告書、概要：上福岡市教育委員会、市内ふしむち市跡調査報告書

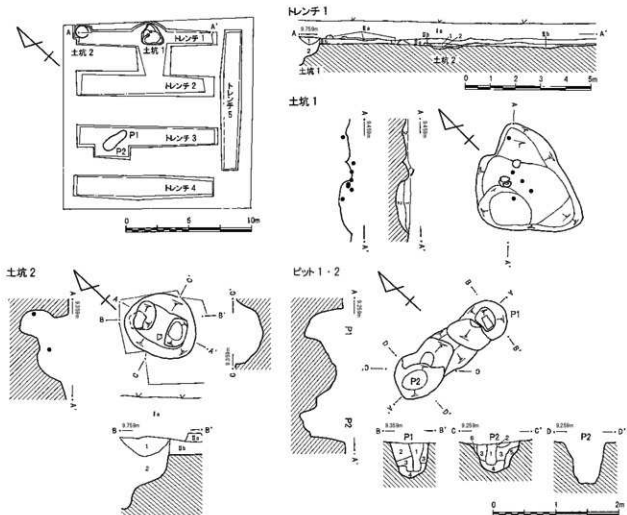


第14図 流道跡遺構分布図 (1/2,000)

径60×45cm、底径42×28cm、深さ73.6cmである。  
**【出土遺物】**第24地点出土遺物は、土坑1・2と遺構外出土のものを16点掲載した。各遺物の詳細は第13表のとおりである。

1～9は土坑1出土である。1～4は須恵器の坏で胎土に海綿状骨針を含む。底部は回転糸切後に回転篋削りを行う。5は大型の底部で1～4同様である。6、

7は土師器の坏である。6は純比企型坏。8、9は羽口先端部である。本地点の北側約25mに位置する第21地点H31B号住居跡には鍛冶炉が確認されている。また羽口、鉄滓、炭化物等の鍛冶関連遺物が出土しており、今回出土した羽口との関連も考慮する必要がある。10～13は土坑2、14～16は遺構外出土である。土坑1出土遺物は8世紀前半である。



## 表土

I a 暗黄灰色土 締り弱～強、粘性有、礫作土、上部は締り強い

自然堆積

II a 黒褐色土 締り強、粘性有、遺入物は少ない、シミ状にIIb層土少し含む

II b 暗黄灰色土 締り強、粘性有、層移層、遺入物は少ない

土坑1

1 黒褐色土 締り強、粘性有、II aより黒色味強い、シミ状にIIb層土・2mm以下ローム粒少し含む、壁層はやや酸化が目立つ

2 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土主体にシミ状のロームブロック・黒褐色土(3cm以下)多く、層状に含む

P1

1 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒や多く含む

2 黒褐色土 締り強、粘性有、やや色調明るめ、5mm以下ロームブロック・シミ状に1cm以下暗黄灰色土ブロック少し含む

3 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より黒色味強い、5～10mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む

4 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土・暗黄灰色土・黒褐色土が混ざる

P2

1 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒や多く含む、P1の1層に似る

2 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、5mm以下ローム粒多く含む

3 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に4cm以下暗褐色土ブロック多く、5mm以下ローム粒少し含む

4 黒褐色土 締り強、粘性有、4cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む、ベースの色は黒色味強い

5 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む

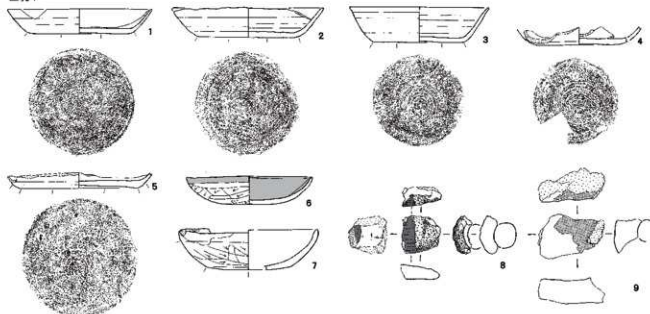
6 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、3mm以下ローム粒少し含む

第15図 滝道跡第24地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)

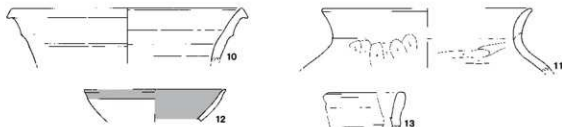
第13表 滝道跡第24地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

発物	出土遺物	類別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑1	須恵器・杯	15.3	11.3	2.6	底面回転糸切り後、底面回転へう割り、胎土に海神様計含む、口縁部にスズ付着	南比企産	8世紀前半
2	土坑1	須恵器・杯	15.8	10.7	3.1	底面回転糸切り後、底面回転へう割り、胎土に海神様計含む	南比企産	8世紀前半
3	土坑1	須恵器・杯	14.6	9.5	3.8	底面回転糸切り後、底面回転へう割り、胎土に海神様計含む	南比企産	8世紀前半～中葉
4	土坑1	須恵器・杯	(13.1)	9.0	(2.0)	底面回転糸切り後、底面回転へう割り、胎土に海神様計含む	南比企産	8世紀前半
5	土坑1	須恵器・杯	(15.3)	12.5	(1.6)	底面回転糸切り後、底面回転へう割り、胎土に海神様計含む、底面内部に海神様	南比企産	8世紀前半
6	土坑1	土師器・杯	13.4	8.4	3.0	外面へう割り、内面と外面口縁部に赤彩	-	8世紀前半
7	土坑1	土師器・杯	14.8	8.8	4.2	外面へう割り	-	8世紀前半
8	土坑1	須口	(4.1)	(4.1)	(1.4)	顔色の須口片(浅褐色・外面と内面浅褐色、内外面灰色に焼熟、外面フケリ調整)	-	-
9	土坑1	須口	(7.0)	(4.6)	2.4	顔色の須口片(浅褐色・外面一部が灰色に焼熟、胎土に海神様計含む)	-	-
10	土坑2	須恵器・甕	(24.4)	-	(5.7)	口縁部内外面ナデ・胎土に海神様計含む	南比企産	7世紀末～8世紀前半
11	土坑2	土師器・甕	(22.0)	-	(6.7)	口縁部ナデ・外面体部へう割り、内面体部ナデ・還元	-	8世紀前半～中葉
12	土坑2	土師器・杯	(15.0)	-	(4.5)	内面と外面口縁部に赤彩あり	-	8世紀前半
13	土坑2	須恵器・甕	(8.6)	(3.0)	(1.0)	口縁部のみ現存	-	-
14	遺構外	縄文土器・深鉢	(4.4)	(7.6)	(1.8)	顔色1R・胎体懸赤文	-	中期・加賀川上
15	遺構外	縄文土器・深鉢	(3.2)	(3.1)	(1.0)	顔色懸赤土工具文	-	中期・曾利系
16	遺構外	須恵器・甕	(4.5)	(6.4)	(1.0)	外面平行タテ糸割りナデ調整、内面回転ナデ調整、外面に自然物、胎土に海神様計含む	南比企産	-

## 土坑1



## 土坑2



## 遺構外



第16図 滝道跡第24地点出土遺物(1/4)



## 第6章 長宮遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構

群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2017年3月末現在53ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りには飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に関係のある溝跡などである。

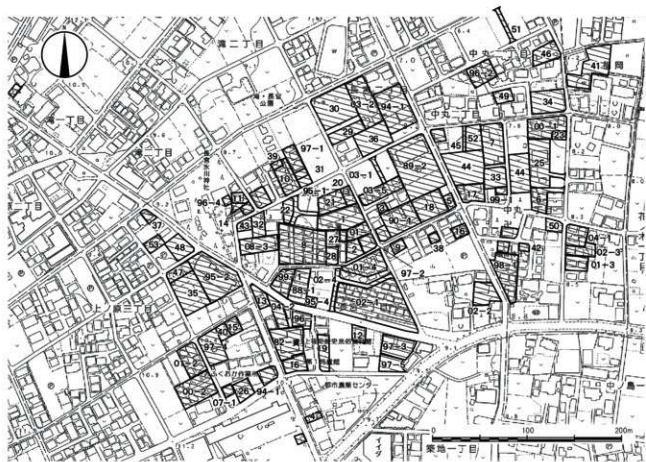
長宮遺跡第44地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第14集『市内遺跡群13』（2015.3）で報告済みのため、本書では割愛した。

### II 長宮遺跡第48地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年3月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年4月2日～8日まで行った。幅約1.5～1.8mのトレンチ合わせて6本を設定し、重



第17図 長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)



機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、井戸1基と溝1本を確認した。遺構確認面までの深さは約55～70cmであり、一部を拡張して調査を行った。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構

【井戸】調査区の北側トレンチ2に位置する。平面形態はほぼ円形を呈する。規模は確認面径172×163cm、底径75×75cm、深さ181.4cmである。出土遺物は無く時期は不明である。

【溝】溝はトレンチ1・4で確認され、同一の遺構と考えられる。調査区の南東隅で「く」の字状に屈曲するとみられ、断面は「V」字形に広く開くが全容は不明である。規模は上幅150cm以上でトレンチ4で確認された。下幅は約30cm、深さは地表面から140cm以上である。

## Ⅲ 長宮遺跡第49地点

### (1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡

範囲の北東端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年10月23日～30日まで行った。幅約1～1.5mのトレンチ合わせて5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、炉穴5ヶ所を確認した。遺構確認面までの深さは約80～100cmであり、30cm以上の保護層が確保されるため、一部の調査を行った。出土遺物はない。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構

【炉穴1】トレンチ4に位置する。平面形態は不整形円形を呈する。規模は確認面径55×39cm、底径12×8cm、深さ13.4cmである。焼土範囲は確認面径に同じで、全体に焼土が広がる。

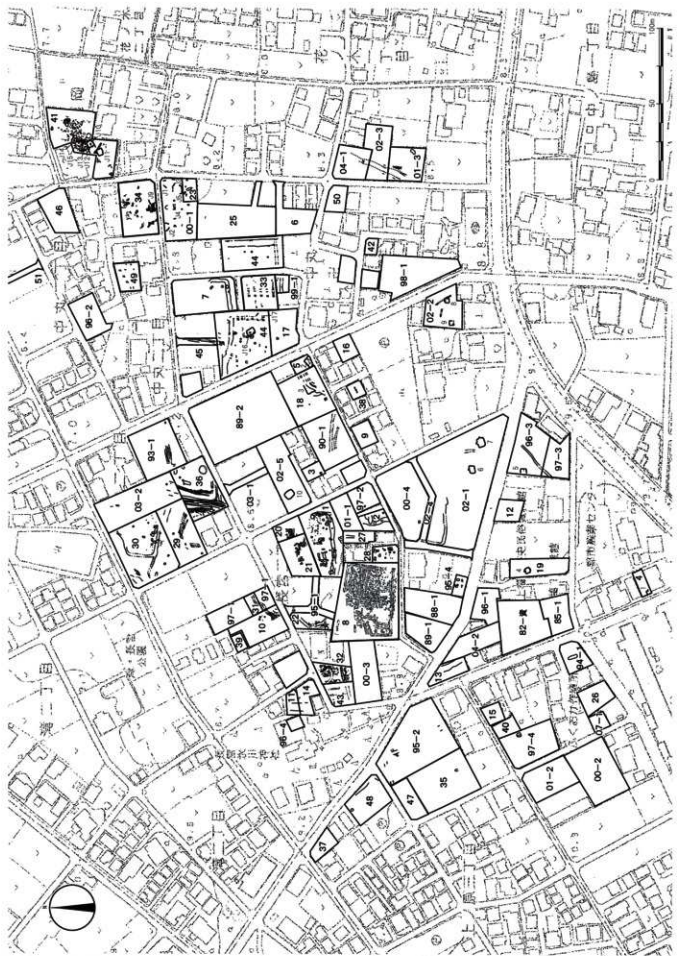
【炉穴2】トレンチ4に位置する。削平とトレンチ外に延びるため全容は不明である。焼土範囲の規模は(36×8)cm、厚さ4cmである。

【炉穴3】トレンチ4に位置する。トレンチの断面でのみ確認されたため全容は不明である。焼土範囲の規模は幅31cm、厚さ13cmである。

【炉穴4】トレンチ5に位置する。平面形態は楕円形を呈する。規模は確認面径48×37cm、底径12×9cm、

第14表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査時期(1)試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査内容	確認された遺構と遺物	発見報告者
25	中丸1-4-8	(2007.2.15～16)	1,161	個人住宅	ピット3、縄文土器・石器類	市内3
26	西原2-5-2の1-庫	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長原2-1-4	(2007.5.30～31)	175	個人住宅	溝、保存層	市内4
28	長原2-1-8	(2007.5.31～6.5) 2007.6.6～22	188	個人住宅	中近世珪石、土器10、ピット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器類	市内4
1事務舎	西原2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅		
29	長原2-4-6の1-庫	(2007.11.20～12.3) 12.4～5	618	共同住宅	土器1、珪石2、磁器1、溝3、ピット10、縄文土器、中近世土器類	市内4
30	長原2-4-6	(2009.9.28～11.2) 11.4～12.8	1,362.10	高齢者福祉施設	中近世土器、珪石、ピット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器類	市内7、8
31	欠番					
32	長原2-1-18	(2010.1.15～25) 2.4～26	271	分譲住宅	中近世土器20、ピット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器類	市内7、8
33	中丸1-3-2	(2011.5.19～31)	534	分譲住宅	縄文時代珪石土器1、土器4、ピット13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内14
34	中丸2-2-46	(2011.6.27～7.16) 11.2～12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(晩土)住居跡1、近世溝、縄文土器類	市内11
35	上原3-1-4	(2011.8.9～26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代炉穴1、土器、磁器	市内14
36	長原2-4-3	(2011.10.4～17) 10.21～11.14	981	分譲住宅	中近世珪石6、土器4、溝16、ピット20、磁器類	市内11
37	上原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14
38	長原1-4-27	(2011.11.24～25)	101	分譲住宅	なし	市内14
39	長原2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14
40	西原2-5-7の1-庫	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内15
41	福原寺丸敷988-1→3 (989-2、5,990-3)	(2012.4.17～25) 6.11～7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代炉穴10、縄文時代前期住居跡6、倉とし穴2、土器27、ピット190、溝4、縄文土器類・土器片、石器、近世陶磁器	市内12
42	中丸1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15
43	長原2-1-72	(2013.2.27～3.1)	231	個人住宅	中世～近世溝2・土器3・ピット17、土器、磁器	市内15
44	中丸1-3-3、1-4→5	(2013.5.14～6.24) 6.25～7.30	2,128	分譲住宅	縄文時代前期住居跡1、炉穴6、倉とし穴1、土器15、珪石5、溝9、ピット4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以後の陶磁器や磁器	市内13
45	中丸1-3-17→18、3-5	(2013.8.7～10)	119	道路築造	溝2、土器類、石器、磁器	市内18
46	中丸2-22-13	(2013.9.6～10)	488	高齢者子育てサービスセンター	遺構なし、磁器	市内18
47	上ノ原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内18
48	上ノ原3-6-1	(2014.4.2～6)	555	分譲住宅	珪石1、溝1、遺物なし	市内20
49	中丸2-2-4	(2014.10.23～30)	293	共同住宅	焼土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内20
50	中丸1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内20
51	中丸2-3-45→46	(2012.4.5)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内15
52	中丸1-3-24	(2016.3.11～18)	484	分譲住宅	土器1、珪石3、ピット6、溝2、遺物なし	発掘所
53	上ノ原3-6-3	(2016.7.11)	225	共同住宅	遺構なし、土器、陶磁器	発掘所



第18図 長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)

深さ4cmである。焼土範囲は楕円形で $36 \times 31$ cmに広がる。

【炉5】トレンチ5に位置する。攪乱により全容は不明である。検出部の平面形態は弧状を呈する。規模は確認面径 $50 \times 26$ cm、深さ32cmである。焼土範囲は楕円形で $94 \times 26$ cmで掘り込みの外側にも広がる。

#### IV 長宮遺跡第50地点

##### (1) 調査の概要

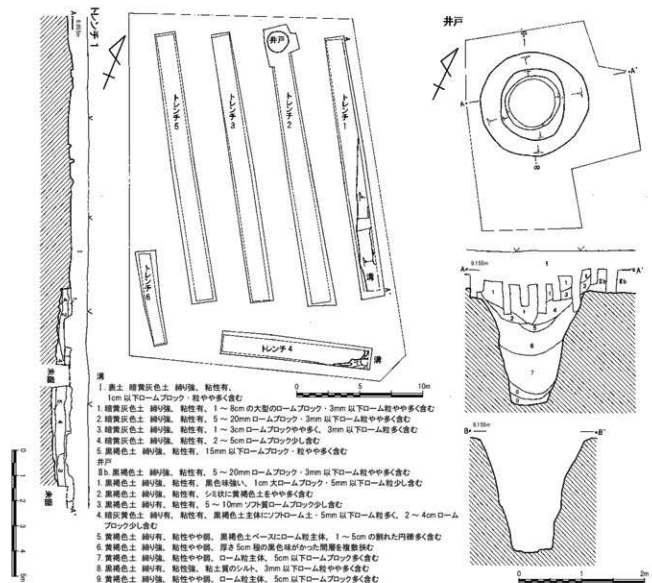
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年2月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2015年3月16日に行った。幅約1mのトレンチ4本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行った結果、遺構として扱っていないが近世以降とみられる溝2本を確認した。地山ローム層までの深さは約60～80cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。第21図1～6の遺物は全て表土層出土で詳細は第15表参照。

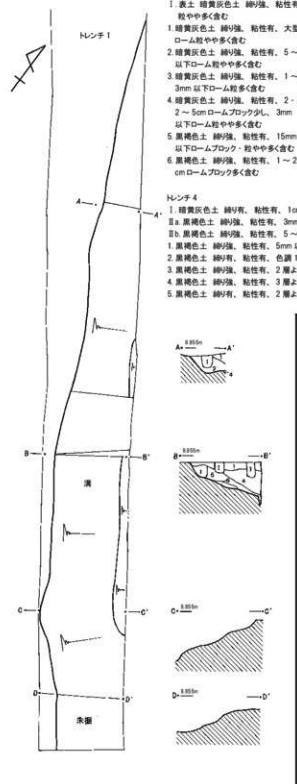
第15表 長宮遺跡第50地点出土遺物観察表(単位cm)

図号	出土遺物	種類・形態	口径・長さ	縦径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定遺物	推定年代
1	遺構外	堀溝/丸溝	-	-	-	楕圓成形/染付、赤草文/瓦葺彩色刷	肥後	18c～19c
2	遺構外	陶器/土版蓋	7.5	3.0	1.0	楕圓成形、つまみ取り付け/上面凹陥、縁輪で文様、下面無輪、赤帯付煎	瀬戸・美濃	19c
3	遺構外	陶器/鉢形	-	9.9	-	楕圓成形、削り出し高台/外面凹陥	瀬戸・美濃	19c
4	遺構外	陶器/鉢形	-	9.8	-	楕圓成形/内外面凹陥、高台無輪/内面に目録	瀬戸・美濃	1800～1860
5	遺構外	土器/不明	-	-	-	楕圓成形、ナズ/敷土に小ホキ・雲母を含む	-	-
6	遺構外	鉄製品/不明	(4.4)	1.4	0.6	鉄芯を銅板で巻く/片面に印刷有	-	近世



第19図 長宮遺跡第48地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、井戸(1/60)

第48地点

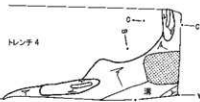


トレンチ1

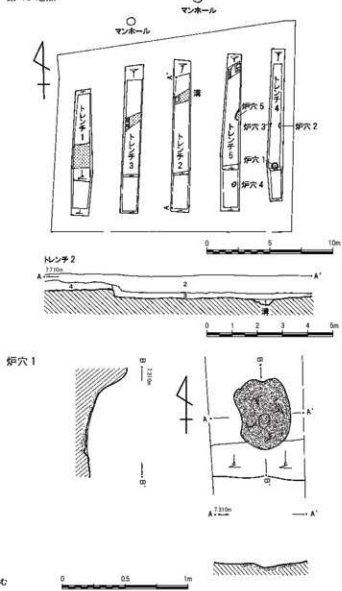
1. 黄土 緑黄灰色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 緑黄灰色土 締り強、粘性有、大型のロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 緑黄灰色土 締り強、粘性有、5～20mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
4. 緑黄灰色土 締り強、粘性有、1～3cmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒多く含む
5. 緑黄灰色土 締り強、粘性有、2～3層に似るが締り強め、2～5cmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、15mm以下ロームブロック・粒やや多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、1～2cmロームブロック多く含む

トレンチ4

1. 緑黄灰色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調1層より暗く、5mm以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より暗く、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、3層より暗く、5mm以下ローム粒少し含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より暗く、5～60mmロームブロックやや多く含む



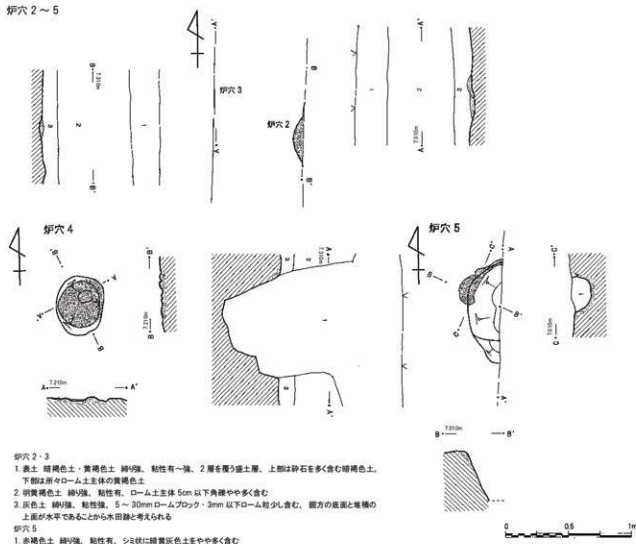
第49地点



1. 溝（復乱）水のしみ出しが認められる、ビニールを併用
2. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体 5cm以下角礫やや多く含む
3. 灰色土 締り強、粘性強、5～30mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む、層下の底面と層様の上面が水平であることから水田跡と考えられる
4. 灰色土 締り強、粘性有、5～100mmロームブロック・5mm未満ローム粒やや多く含む

第20図 長宮遺跡第48地点溝(1/60)、第49地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、炉穴①(1/30)

## 炉穴 2～5



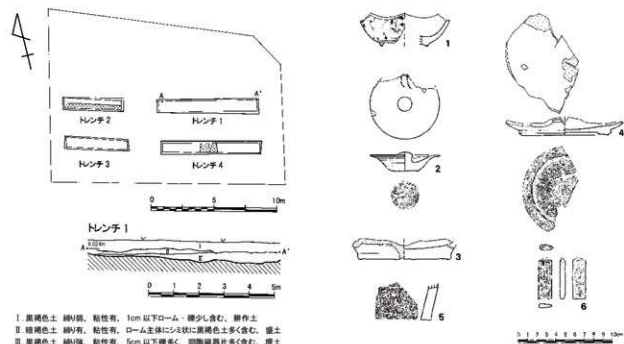
## 炉穴 2-3

1. 黄土 暗褐色土・黄褐色土 締り強。粘性有一強。2層を覆う層土。上部は砕石を多く含む暗褐色土。下部は所々ローム土主体の黄褐色土
2. 明黄褐色土 締り強。粘性有。ローム土主体 5cm 以下角礫や多く含む
3. 灰色土 締り強。粘性強。5～30mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む。掘方の底面と堆積の上層が水平であることから水田跡と考えられる

## 炉穴 5

1. 赤褐色土 締り強。粘性有。シミ状に暗黄灰色土をやや多く含む

## 第50地点



- I. 黄褐色土 締り強。粘性有。1cm 以下ローム・礫少し含む。新作土
- II. 暗褐色土 締り有。粘性有。ローム主体にシミ状に黄褐色土多く含む。盛土
- III. 黄褐色土 締り強。粘性有。5cm 以下礫多く。陶器破片多く含む。埋土

第21図 長宮遺跡第49地点炉穴②(1/30)、第50地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

## 第7章 亀居遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25～26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2017年3月末現在77地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋壘2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

### II 亀居遺跡第73地点

#### (1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2014年

6月26日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年7月8日に行った。幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～40cmであった。遺構は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋戻し調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。第24図1の縄文土器は表土層採取である。胎土に金雲母を含み無文の阿玉台式である。

### III 亀居遺跡第74地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅に伴うもので、原因者より2014年11月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。試掘調査は2014年



第22図 亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)

11月27日～12月4日まで行った。幅約1.5mのトレンチ4本を設定し重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmであった。トレンチ4で遺構らしきプランを確認したので検出を行った。写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。30cm以上の保護層が確保されるため、工事立会の措置とした。

## (2) 遺構と遺物

【土坑】調査区東側のトレンチ4で土坑1基を検出した。平面形態は円形を呈する。規模は確認面径110×

110cm、底径91×87cm、深さ34.3cmである。出土遺物はないが土層の観察から縄文時代とみられる。

【出土遺物】(第24図1～7)土器片は全てトレンチの表土層出土である。1は波状口縁部で沈線文を施す。2も波状口縁部で連続爪形押圧文(カタビラ文)の区画内に三角押文を施す。3は隆帯の脇に角押文と切り出しナイフ状工具の押引文を施す。一部隆帯上には連続刺突を施す。4は大きな連続爪形文を施す。5は押引文を施す。6は無文、7は沈線文を施す。1～5は中期阿玉台式、6・7は中期である。

第16表 亀居遺跡調査一覧表

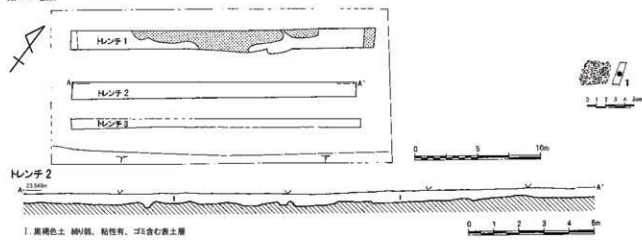
地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査目的	遺構と遺物				所在地報告
					住居	土坑	溝	その他	
1	亀居段1001	1972	155	試掘調査					町内遺跡群Ⅰ 調査公報付表Ⅷ
2	亀居段1005	1973	350	試掘調査					調査公報付表Ⅷ
3	跡9101-1	1979.11～12	750	区域整理	2	1	6	1	北東遺跡群Ⅰ 調査公報付表Ⅷ
4	跡9102-2	(1984)試掘		区域整理					遺構なし
5	跡9102-3	(1984)試掘		区域整理				1	
6	亀居段1000	1985	914	区域整理	2	7	4	30	北東遺跡群Ⅰ
7	亀居段999	1986.8	2,740	区域整理	2	7	84	138	調査公報付表Ⅷ
8	亀居段1001	1986.8	181	個人宅	2	3	11		北東遺跡群Ⅰ
9	亀居段999-1	(1986)試掘		住宅建設					遺構なし
10	亀居段1010-1	1986.10	650	区域整理	1	2	20	17	調査公報付表Ⅷ
11	亀居段1011-3	1987.10.13～11.13	380	個人宅	2	2	73		北東遺跡群Ⅰ
12	亀居段1011-1	1987.11.16～12.16	387	個人宅	1	1	68	1	北東遺跡群Ⅰ
13	亀居段1007-3	1988.8	242	区域整理	2				調査公報付表Ⅷ
14	亀居段999-4	(1988.7.22～8.3)	165	個人宅					遺構なし 北東遺跡群Ⅰ
15	亀居段1007	(1989.2)試掘		個人宅					遺構なし 北東遺跡群Ⅰ
16	亀居段1007	(1989.2)	45	個人宅					北東遺跡群Ⅰ
17	亀居段995-3	1989.9.14～9.18	112	個人宅			3	8	北東遺跡群Ⅰ
18	町田区民館	1990.3	210	区域整理					北東遺跡群Ⅰ
19	跡91007	1990.3.12～3.26	613	個人宅					遺構なし 北東遺跡群Ⅰ
20	亀居段1009-3	1990.5.21～5.25	118	個人宅		1			北東遺跡群Ⅰ
21	亀居段1001-11	1990.9.3～9.10	900	個人宅				10	北東遺跡群Ⅰ
22	亀居段995-4	1990.12	1,324	区域整理			1	3	調査公報付表Ⅷ
23	亀居段995-7	1991.3.12～3.16	162	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅰ
24	亀居段1001-14	1991.2.14～3.15	259	個人宅	2		69		町内遺跡群Ⅰ
25	亀居段995-2	1991.5	249	個人宅				3	町内遺跡群Ⅰ
26	亀居段995-6	1991.1.24～2.1	475	個人宅	6				調査公報付表Ⅷ
27	亀居段992-2	1991.7	925	集合住宅	1	2		36	調査公報付表Ⅷ
28	亀居段1007-1	1991.7	116	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅰ
29	亀居段995-2-7	1991.9	197	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅰ
30	亀居段1009-1	1991.12.3～12.9	115	個人宅			6		町内遺跡群Ⅰ
31	亀居段1011-7	1991.12～1992.4	598	個人宅	1	3		42	町内遺跡群Ⅰ
32	亀居段995-2	(1992.2.13)	654	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅰ
33	亀居段1012-7	1993.9.28～11.5	470	個人宅	1	2	7	56	町内遺跡群Ⅰ
34	跡9101-2-2	(1994.2.17～2.18)	798	住居跡 遺構			1		町内遺跡群Ⅰ
35	亀居段1003-2-6	1994.2.18～2.25	566	住居跡 遺構			1	13	町内遺跡群Ⅰ
36	跡9101-1-12-2-1	(1994.8.22～8.30) 1994.9	3,162	区域整理	37	21	29	6	調査公報付表Ⅷ
37	亀居段1009-5	(1994.8.20～8.20)	342	試掘調査			1	5	町内遺跡群Ⅰ

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査目的	遺構と遺物				所在地報告	
					住居	土坑	溝	その他		
38	亀居段1012-5	1995.5	380	試掘調査					遺構なし 調査公報付表Ⅷ	
39	亀居段999-23-24	1995.5.31～8.4	500	試掘調査				66	調査公報付表Ⅷ	
40	跡9101-3-14	(1995.7.11～7.18)	156	区域整理	1				町内遺跡群Ⅰ	
41	跡9102-3-1	(1995.8.9～8.30)	819	試掘調査 区域整理	4	4	2		町内遺跡群Ⅰ	
42	亀居段1013-1	1995.10.22～12.4	1,030	試掘調査			7	29	調査公報付表Ⅷ	
43	亀居段1009-1	(1996.5.15～5.17)	610	住居跡				5	町内遺跡群Ⅰ	
44	亀居段1007-17	(1996.6.24～6.25)	192	分譲住宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅰ	
45	亀居段1013-1	(1996.9.11～9.17)	2,741	住居跡	1	14	4	174	調査公報付表Ⅷ	
46	亀居段995-19	(1997.1.20～1.20)	854	プレハブ 事務所			1		町内遺跡群Ⅰ	
47	亀居段1007-14	(1997.11.6～11.10)	214	住居跡 住居					町内遺跡群Ⅰ	
48	亀居段1007-5	(1998.2.9～2.30) 1998.2.8	197	個人宅	1	1			町内遺跡群Ⅰ	
49	亀居段1011-3	1998.6.15～7.9	222	個人宅			6	4	町内遺跡群Ⅰ	
50	亀居段1007-14	(2000.2.1～2.2)	121	個人宅					町内遺跡群Ⅰ	
51	跡9102-28-1	(2000.10.30～2001.1.16)	1,422	店舗			7		町内遺跡群Ⅰ	
52	跡9102-28-17	(2001.4.24～4.27)	144	個人宅					町内遺跡群Ⅰ	
53	跡9102-28-16	(2001.11.14～11.15)	148	個人宅					町内遺跡群Ⅰ	
54	亀居段1012-13	2002.11.5～11.21	172	個人宅				26	町内遺跡群Ⅰ	
55	跡9101-1-1	2003.4.24～4.28	1,556	店舗					町内遺跡群Ⅰ	
56	亀居段975-19-24	(2005.4.18)	79	個人宅					町内遺跡群Ⅱ	
57	亀居段1012-10-5	(2005.8.3～8.31) 2005.9.1～9.16	1,073	住居跡	2	1	1		調査公報付表Ⅷ	
58	亀居段1012-17-7	(2005.8.16)	293	個人宅					町内遺跡群Ⅱ	
59	亀居段1012-13-40	(2006.10.10～10.13)	884	個人宅	1	2	1	5	町内遺跡群Ⅱ	
60	亀居段1012-12-3	(2007.1.12～2007.1.7～1.8)	1,281	住居跡				28	28	町内遺跡群Ⅱ
61	亀居段1012-13-5	2008.6.17～10.15	998	セコム ビル	1				町内遺跡群Ⅱ	
62	跡9102-28-19	2008.9.1	907	分譲住宅 住居					町内遺跡群Ⅱ	
63	亀居段1012-14-90	(2011.4.25～26)	170	住居跡					遺構なし 町内遺跡群Ⅱ	
64	亀居段1012-16-1	(2011.7.13～13)	409	住居跡 住居					遺構なし 町内遺跡群Ⅱ	
65	亀居段1012-12-11	(2011.8.1～8)	137	個人宅				1	町内遺跡群Ⅱ	
66	跡9102-12-20	(2011.9.1)	156	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅱ	
67	跡9102-12-16	(2011.12.9～12.13)	2,426	店舗					町内遺跡群Ⅱ	
68	亀居段1012-12-13	(2012.3.21)	111	個人宅				1	町内遺跡群Ⅱ	
69	亀居段1012-12-2	(2012.8.27)	212	個人宅					遺構なし 町内遺跡群Ⅱ	
70	亀居段1012-16-1	(2012.10.11)	148	個人宅				1	町内遺跡群Ⅱ	
71	亀居段1012-17-14	(2014.7.8)	326	住居跡					町内遺跡群Ⅱ	
72	亀居段975-1-34	(2014.11.17～12.4)	557	分譲住宅				1	町内遺跡群Ⅱ	
73	跡9102-17-100	(2015.6.5～6)	67	個人宅					未報告	
74	跡9102-3-2	(2015.7.31)	265	分譲住宅					遺構なし 未報告	
75	跡9102-9-24	(2016.3.18)	168	個人宅					遺構なし 未報告	

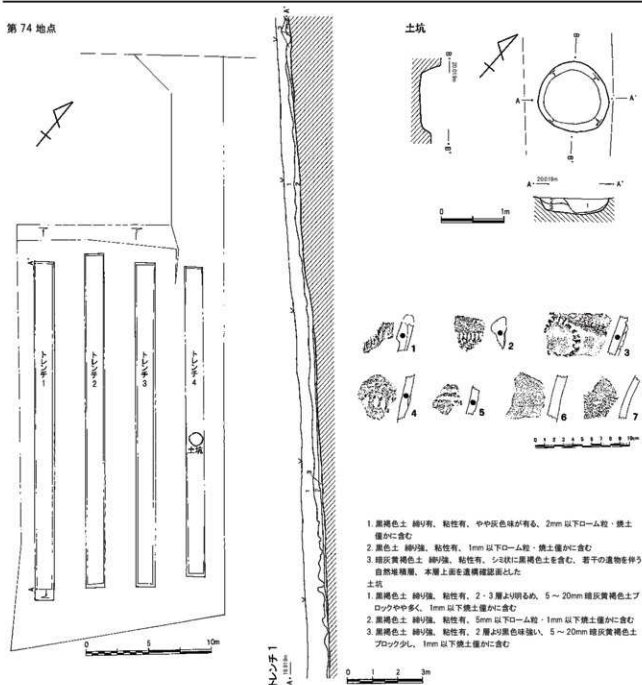




## 第73地点



## 第74地点



第24図 亀居遺跡第73・74地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第74地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)

## 第8章 鶴ヶ舞遺跡の調査

## I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～900m程下った左岸に位置している。標高21～23mで現谷底との比高差は5mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約200m西に亀居遺跡、約150m南に江川南遺跡、約200m南東に東久保遺跡がある。

1987年の最初の調査から2017年3月末現在、26地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

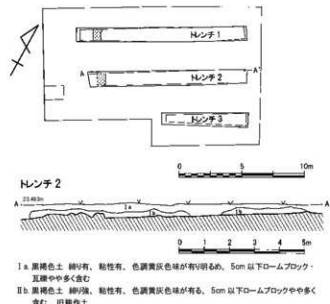
## II 鶴ヶ舞遺跡第22地点

## (1) 調査の概要

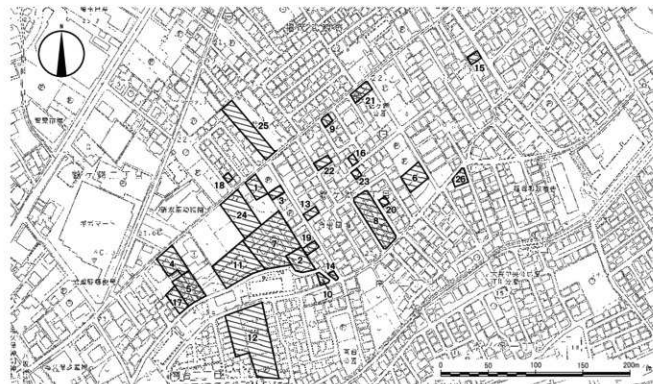
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年12月4日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ3

本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40～50cmであった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第26図 鶴ヶ舞遺跡第22地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)



第25図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第17表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞67-3	(1986.1.28・29)	499	個人住宅	土坑1、縄文中期土器片	東部遺跡群VI
2	鶴ヶ舞1-65-6	(1987.4.16~30)	495	個人住宅	97C3、土坑2、平安時代溝1、旧石器、土器片、瓦器器	東部遺跡群VII
3	鶴ヶ舞1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし	町内遺跡群IV
4	鶴ヶ舞1-60-6・10	(1997.8.26~29)	318	共同住宅	近代溝6、井戸1	町内遺跡群VII
5	鶴ヶ舞1-61-3	(1997.11.4~6)	266	分譲住宅	近世溝2	町内遺跡群VII
6	鶴ヶ舞1-84	(2002.9.10~13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群XII
7	鶴ヶ舞1-65-1	(2003.5.29~6.14) 2003.6.23~7.3	2,030	分譲住宅	旧石器遺物、縄文土坑1	町内遺跡群XII
8	鶴ヶ舞1-69-46~51-61~66	(2005.7.11~8.11) 2005.8.24	1,087	分譲住宅	97C6、ピット3	調査会報告18集
9	鶴ヶ舞1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ピット3、遺物なし	市内遺跡群2
10	鶴ヶ舞1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	板張り溝1、旧石器時代遺物1	市内遺跡群3
11	鶴ヶ舞1-65-2・6	(2006.9.21~10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内遺跡群3
12	鶴ヶ舞1-58-4	(2011.7.19~21)	98	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
13	鶴ヶ舞1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし、土器片	市内遺跡群14
14	鶴ヶ舞1-79-7	(2011.9.22)	56	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
15	南台798-33	(2011.11.22)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
16	鶴ヶ舞1-73-10	(2012.9.7)	63	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
17	鶴ヶ舞1-58-2	(2012.11.16) 2012.11.16	324	個人住宅	溝1、土器片、近世陶磁器	市内遺跡群15
18	福岡武蔵野1408-4(9-6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
19	鶴ヶ舞1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
20	鶴ヶ舞1-69-70	(2013.5.13)	68.6	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
21	鶴ヶ舞1-73-27・51・52・54	(2013.10.23)	135.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
22	鶴ヶ舞1-69-35・36	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
23	鶴ヶ舞1-73-19	(2015.6.29)	72	建売住宅	遺構遺物なし	未報告
24	鶴ヶ舞1-67-3・4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
25	福岡武蔵野1406-7・8・10・11	(2013.5.2)	1,125	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
26	鶴ヶ舞1-99-10~12	(2016.1.25)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
27	鶴ヶ舞1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

## 第9章 松山遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧き水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷲森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2017年3月末現在89ヶ所で調査が行われている。

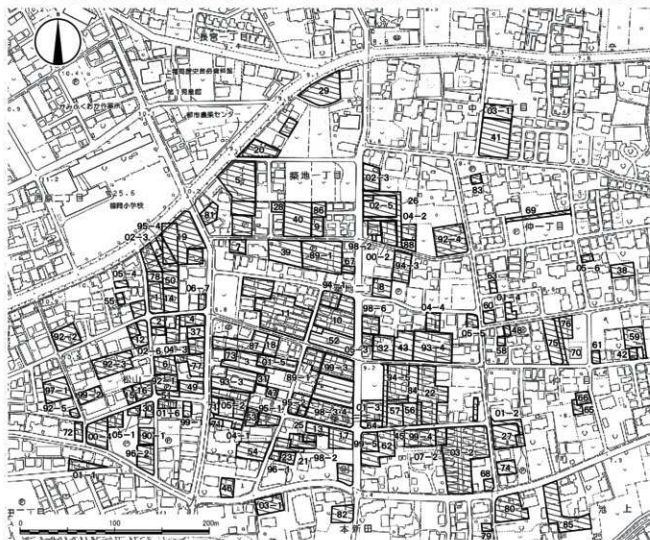
主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

### II 松山遺跡第78地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年5月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年5月22日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、



第27図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約1mである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

### Ⅲ 松山遺跡第79地点

#### (1) 調査の概要

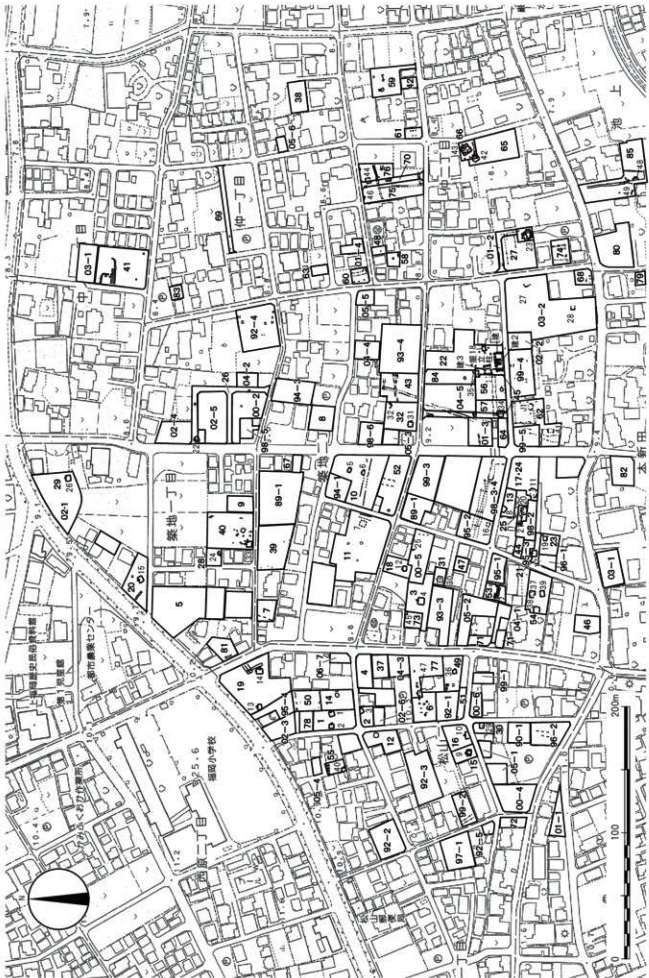
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年7月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が

ふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年8月5日に試掘調査を行った。試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約1mである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

第18表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 調査実施者	面積 (㎡)	調査経緯	確認された遺構と遺物	両報告書
05(52-1)	松山2-2-4の一部分	(2005.4.8～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05(52-2)	松山2-3-32・34・43	(2005.4.19～21)	540	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05(52-3)	松山2-3-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	松山2-1-69	2005.6.14～23(2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
05(52-8)	松山2-5-3	(2005.8.30～9.13)	367	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	松山2-5-3の一部分	(2005.8.30～9.7)(9.8～13)	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
05(52-15)	松山2-5-29	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05(52-14)	松山2-4-29	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05(52-10)	松山2-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05(52-17)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
47	松山2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	松山2-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	松山2-5-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	松山2-1-5	(2007.2.7～9)(2.21～3・9)	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世遺構遺物	市内3
41	中ノ島1-2・5	(2007.2.7～9)(2.21～3・5)	1,281	宅地造成	中世遺構遺物・陶器	市内3
42	松山2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	松山2-5-2	(2007.4.11～24)	668	分譲住宅	船跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	松山2-2-10・14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	松山2-4-7の一部分	(2008.9.4～20)(10.1～23)	390	道路	奈良平安時代住居跡2、竊穴建物跡2、竊穴遺構跡1、時期不明の溝10、土坑、ピット	市内6
46	松山2-3-33・35の一部分	(2008.9.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	松山2-3-32	(2008.9.11～12)	121	個人住宅	ピット1	市内8
48	松山2-3-4	(2008.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-4-1・14・22の一部分	(2009.10.17～22)(10.27～11.18)	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内蔵の炉坑)、土坑1、溝1、ピット1	市内7
50	松山2-6-3・17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ピット7	市内8
51	松山2-6-22・23・28の一部分	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	松山2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、溝としり1、工事立合	市内10
53	松山2-1-1	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝、アケボノ、遺棄土庫	市内10
54	松山2-1-76～83	(2010.9.21～10.11)(10.4～11.5)	540	宅地造成	奈良平安時代住居跡3遺跡、内蔵1の住居は遺土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部分	(2011.1.17)(1.18～31)	226	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、竊穴建物跡1、本調査	市内10
56	松山2-4-7の一部分	(2011.4.4～14)(4.11～15)	483	共同住宅	奈良平安時代住居跡1(竊穴建物跡2、本調査(工事立合))	市内11
57	松山2-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	溝跡から45m地点から続く34号住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	松山2-3-1	(2011.6.6～8) 6.14	115	個人住宅	井戸1、溝1、ピット1、本調査	市内14
59	松山2-3-6・9	(2011.8.8～9)(8.10～11)	560	個人住宅	土坑2、溝3、竊文土庫、遺物、本調査	市内14
60	松山2-1-15	(2011.3.29～27)	165	個人住宅	船跡1、溝1、陶器、瓦、工事立合	市内14
61	松山2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶器	市内15
62	松山2-5-11・14・19	(2012.6.11～21)(7.23～8.1)	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝1、竊文土庫、瓦、物	市内12
63	松山2-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	松山2-4-9	(2012.6.7～13)	314	分譲住宅	溝4、近所の土坑、陶器	市内15
65	松山2-1-25・36	(2013.2.13～18) 2.19～3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、竊穴建物跡3、土坑6、溝6、遺物、旧石器	市内15
66	松山2-1-53・54	(2013.2.19)	179	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
67	松山2-3-13	(2013.2.19)	60	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	松山2-3-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ピット4、遺物、土坑跡	市内15
70	松山2-1-51・53・55	(2013.9.10～11)(9.12～17)	298	道路	縄文時代赤土坑1、溝1	市内18
71	松山2-2-39・41	(2013.11.1～16)(11.17～23)	230	道路	奈良平安時代住居跡1、中世以降井戸1、墓石1、溝1、遺物、土坑跡、土坑、陶器	市内18
71	松山2-1-18・32・34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ピット1、古瓦、陶器片1	市内18
72	松山1-4-4	(2013.5.24)	190	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	松山2-1-56	(2013.8.19)(8.20)	165	個人住宅	平安時代住居跡1、遺物	市内18
74	松山2-1-37	(2013.12.24～26)	280	分譲住宅	井戸1、墓石1(溝1)、溝2、土坑1、陶器	市内18
75	松山2-2-4	(2014.1.14～20)(8.5～11)	606	個人住宅	平安時代住居跡1、溝3、竊穴跡、土坑跡	市内18
76	松山2-2-48	(2014.1.22～28)(9.26～10.2)	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土坑	市内18
76	松山2-37(6区画)	(2014.1.22～28)(11.12～17)	130	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同1)、土坑跡	市内18
76	松山2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同1)、井戸2、溝2、土坑3、土坑跡、遺物、中世陶器	市内18
77	松山2-6-2・3・12の各一部分	(2014.3.15～12)(3.15～27)	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土坑跡、遺物	市内18
85	松山2-6-5	(2014.3.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本願町389-1の一部分	(2014.8.2)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	松山2-372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構なし、土坑、陶器	市内20
81	松山1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本願町411の一部分	(2015.7.30～31)	194	個人住宅	溝1、遺物なし	未報告
83	松山1-2-22	(2015.8.31)	96	分譲住宅	溝1、遺物なし	未報告
84	松山2-4-13	(2015.9.15～16)	435	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、土坑跡	未報告
85	松山2-1-4、384-385、386の一部分	(2015.9.15～19)(10.20～28)	242	宅地造成	奈良平安時代住居跡2、竊穴建物跡1、中世以降の溝1、遺物、土坑跡、陶器、遺物、古瓦	市内19
86	松山1-1-4	(2016.7.3・7)	294	分譲住宅	溝1、陶器	未報告
87	松山2-3-13(2分画・38-40・41・84)	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	松山1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ピット2、溝1、遺物なし	未報告
89	松山2-1-11・16	(2017.3.3～6)	287	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

※注：上掲市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上掲市：上掲市遺跡調査報告書、教委：上掲市教育委員会、市：ふじみ野市内市域跡群報告書



第28図 松山道跡連絡分布図 (1/3,000)

## IV 松山遺跡第80地点

## (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年2月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年3月12日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30cmである。遺構遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 出土遺物(第30図1~3)

遺物はすべてトレンチの表土層から出土したものである。1は土器(瓦質)の焙烙。2は磁器の小杯で型紙絵付の鶴丸文、1880年代以降。3は桐一銭青銅銭貨「大日本 大正十一年 一銭」(1922年)。

## V 松山遺跡第81地点

## (1) 調査の概要

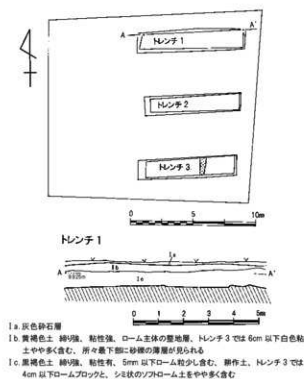
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年3月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年3月23日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50cmである。調査区の西側で道路に平行に延びる溝を1本確認した。

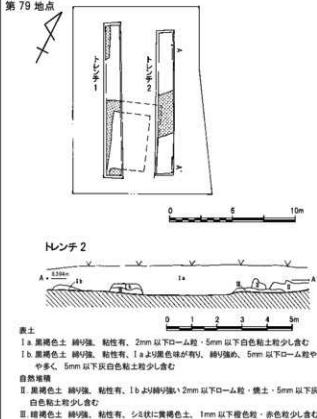
## (2) 遺構

調査区の西側の道路は長宮氷川神社の参道に通じる道であるため、溝の一部を検出した。溝の断面形態は浅く広い逆台形で、規模は上幅31~105cm、下幅23~70cm、深さ24.1cmである。遺物はないため時期は不明である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

第78地点



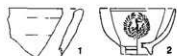
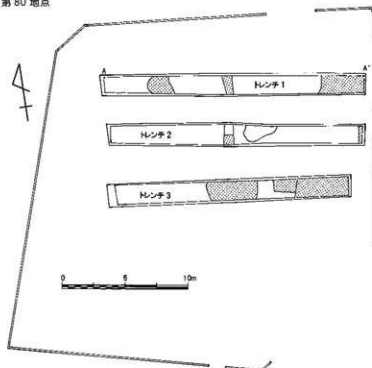
第79地点



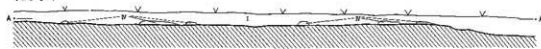
第29図 松山遺跡第78・79地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)



## 第80地点



## トレンチ1

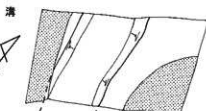
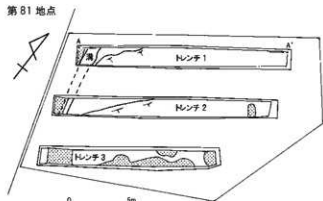


I 黒褐色土 締り強、粘性有、表土、耕作土、1cm以下ローム粒少し、ガワも含む

IV 褐色土 締り強、粘性有、地山ハードローム



## 第81地点



## 表土

I 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック・5mm未満ローム粒少し含む

溝 I 黒色土 締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む

II 黒褐色土 締り強、粘性有、1~3cmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む

## トレンチ1



第30図 松山遺跡第80地点調査区域図・第81地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、第80地点出土遺物(1/4・1/1)、第81地点溝(1/60)



## 第10章 江川東遺跡の調査

## I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

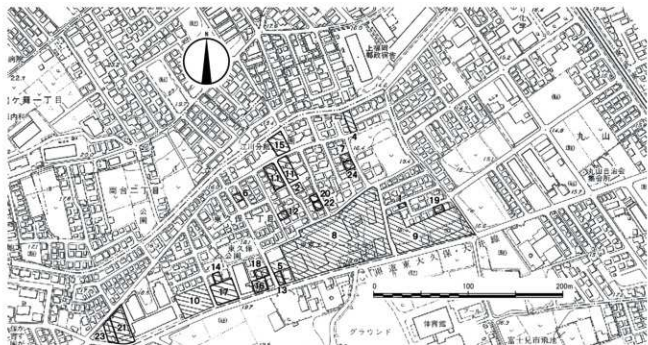
周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを抽出している。

2017年3月末現在24地点で試掘及び発掘調査を行っている。

第19表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(m <sup>2</sup> ) ( )は試掘面積	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24・25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、縄文土器・須恵器	町内遺跡調査
2	大字東久保1-162-34	1995.1.20～2.6	191	個人住宅建設	土坑17、ピット18、フレーク・須恵器	町内遺跡調査IV
4	東久保1-138-4地	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ピット3、溝2	町内遺跡調査V
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～9)	164	土地分譲	ピット12	町内遺跡調査VI
6	東久保1-168-7	(2001.7.17)	15(7.1)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡調査XI
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡調査XII
8	東久保1-150地	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝、風磨本堀1	町内遺跡調査XIII
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10) 2004.5.11～24	464	保育園	ピット40、溝2、縄文土器	町内遺跡調査XIV、 調査報告書14集
10	東久保1-174-1・36	(2005.10.13～24)	267(88.1)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1・14	(2006.11.9～15)	200(67.4)	分譲住宅	遺構抽出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.30)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(11.4)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(34.4)	公民館分館	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14～15) 2009.9.16～18	63(14.8)	個人住宅	縄文時代東土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(55.6)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	7(2)	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	74(23)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21～22)	30.5(57.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30～10.1)	11.0(72.4)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告



第31図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)

## II 江川東遺跡第22地点

## (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月26日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年9月30日と10月1日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは30～50cmである。遺構遺物なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## III 江川東遺跡第23地点

## (1) 調査の概要

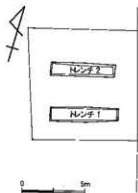
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月3日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年10月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは30～40cmである。遺構なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

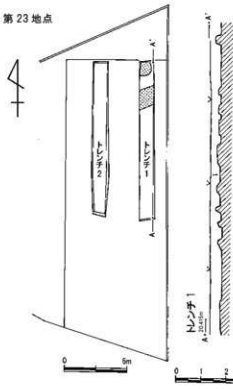
## (2) 出土遺物 (第32図1・2)

遺物は全てトレンチの表土層から出土したものである。1・2は無文の縄文土器片である。焼成良好で縄文時代中期とみられる。

第22地点



第23地点



I. 黄褐色土 縄文期、粘性有、3cm以下ロームブロック含む

第32図 江川東遺跡第22・23地点調査区域図(1/300)、第23地点土層(1/150)、出土遺物(1/4)

## 第11章 東中学校西遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は人間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の標高20.0～21.0mの低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川（現在用水路）が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約50mに東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

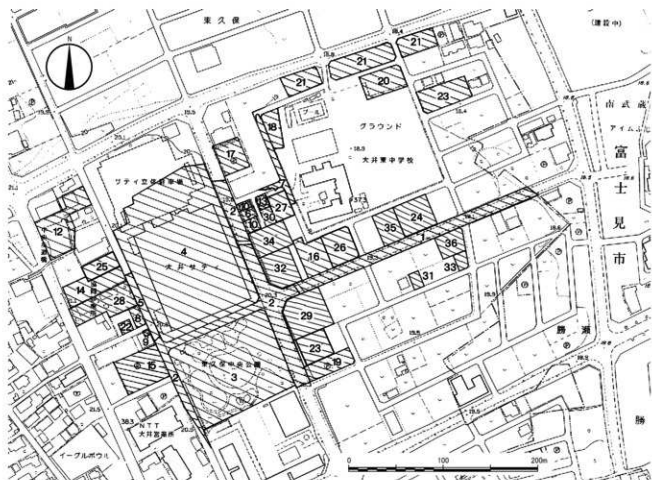
遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋裏、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓墳・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は1995年以来、2017年3月末現在36ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

### II 東中学校西遺跡第35地点

#### (1) 調査の概要

調査は病院増築に伴うもので、原因者より2014年12月4日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置するため試掘調査を実施した。

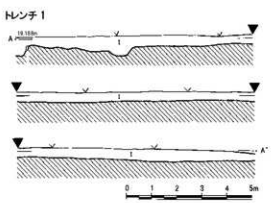
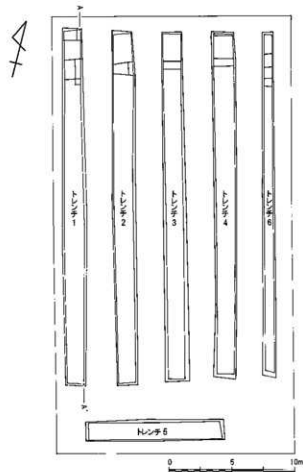
試掘調査は2015年3月10日に行った。幅約1～1.5mのトレンチ6本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは30～40cmである。近世以降の溝状のプランを確認した。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。



第33図 東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 20 表 東中学校西遺跡調査一覧表

検出地	所在地	調査時期 (土層調査層)	面積 (㎡)	調査理由	確認された遺構と遺物	所属調査区画
1	東大塚 2011・526・531 巻	1994.10.6～21 A区 +1096.107～11.15 B区 +1096.112～17 C区 +1097.23～19	3,168	区画整理遺跡	礎石・土坑 1、ピット 8	調査済区画内第 14 巻
2	東大塚 406-1 巻	1997.6.12～19 A区 +1097.6.12～19 B区 +1097.7.5～8.8 C区 +1099.1.18～31 D区 +1096.1.25	1,908 880	区画整理遺跡	礎石・土坑 20、築石土坑 1、溝とし穴 4、土坑 2、ピット 26、中庭壁の跡	調査済区画内第 14 巻
3	東大塚 405・500 巻	1997.2.6～10.20 1996.10.7～13	24,684	区画整理遺跡	礎石・溝とし穴 1、溝 1、土坑 6、ピット 4、石蔵 1	区内遺跡第 14・ 調査済区画内第 14 巻
4	東大塚 329 巻	1997.2.6～10.20 1997.6.12～8.8	2,468	区画整理遺跡	礎石・溝とし穴 3、築石土坑 2、堀内積層 1、土蔵 1 基、欄干 1、ピット 2 多数	区内遺跡第 14 巻・ 調査済区画内第 14 巻
5	東大塚 407・1・474・4 巻	1997.6.12～7.24	688	区画整理遺跡	礎石・土坑・貯水溝 6、溝とし穴 1、溝 2、ピット 2	調査済区画内第 14 巻
6	東大塚 325-1・7・8・9	1997.6.26～27	136	築物跡	遺構遺物なし	区内遺跡第 14 巻
7	東大塚 402-1 巻	1997.7.21～31	636	区画整理遺跡	欄干 1、ピット 5	調査済区画内第 14 巻
8	東大塚 44 街区 13・14 巻	1997.8.5～9	252	個人住宅	礎石・溝とし穴 1、溝 1、ピット 9、(溝とし穴は第 9 地点で報告)	区内遺跡第 14 巻
9	東大塚 45 街区 2・3 巻	1997.8.19～8.31	325	個人住宅	溝 2、ピット 9	区内遺跡第 14 巻
10	東大塚 42 街区 1 巻	1999.12.10～20	135	赤 土 蔵	遺構遺物なし	区内遺跡第 14 巻
12	東大塚 44 街区 3・23・24 巻	1998.1.6～26	1,879	赤 土 蔵	遺構遺物なし	区内遺跡第 14 巻
13	東大塚 2 街区 12 巻	1998.6.9～13	218	赤土蔵	ピット 1	区内遺跡第 14 巻
14	東大塚 44 街区 11・20・26 巻	1998.6.23～26	1,231	共同住宅	ピット 2、堀内積層	区内遺跡第 14 巻
15	東大塚 45 街区 1・4・6 巻	1998.8.17～24	2,649	赤土蔵跡/赤土蔵	中庭土蔵、ピット 2	区内遺跡第 14 巻
16	としま野 1-10-3・6・7	2001.2.18～22	1,834	赤 土 蔵	遺構遺物なし	区内遺跡第 13 巻
18	東大塚 26 街区 7・8 巻	1998.8.19～24	1,131	赤土蔵跡/赤土蔵	礎石・土蔵 1	区内遺跡第 14 巻
17	東大塚 319-1	1999.2.8～24	850	テニスコート	ピット 5、欄干 1	区内遺跡第 14 巻
19	東大塚 52 街区 8 巻	1999.3.17	944	テニスコート跡/赤土蔵	遺構なし、掘削 2	区内遺跡第 14 巻
20	東大塚 20 街区 1 巻	1999.6.16～7.19	900	区画整理調査区	溝 1、ピット 20	区内遺跡第 14 巻
21	東大塚 22 街区 1～3 巻	1999.11.18～12.19	1,311	赤 土 蔵	礎石・土坑 1、溝 3、ピット 23	区内遺跡第 14 巻
22	東大塚 44 街区 15 巻	2000.3.7～9	150	個人住宅	中庭土蔵 1 基、ピット 1	区内遺跡第 14 巻
23	東大塚 33 街区 6 巻	2003.8.5～13	1,253	共同住宅	第 1 層 1、ピット 1	区内遺跡第 8 巻
24	としま野 4-1-6 の一部	2005.5.24～30	926	赤 土 蔵	土坑 1	区内遺跡第 2 巻
25	としま野 3-9-5	2005.6.30～7.7	1,425	赤 土 蔵	礎石・土坑/貯水溝・貯水	区内遺跡第 2 巻
25	としま野 1-1-9・10	2005.6.28～7.7	604	分譲住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 2 巻
26	としま野 3-10-8～11	2006.1.5～10	1,095	赤 土 蔵	遺構遺物なし	区内遺跡第 2 巻
27	としま野 3-10-3 の一部 4	2006.1.11	120	個人住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 2 巻
28	としま野 1-11-13・14・15・32・23	2006.4.24～8.10	1,568	共同住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 3 巻
29	としま野 4-4-1	2006.5.15～19.7.28～8.1	2,004	赤 土 蔵	礎石・土坑/掘削	区内遺跡第 3 巻
30	としま野 3-10-12	2006.7.3	634	分譲住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 3 巻
31	としま野 4-9-14	2008.2.14	865	個人住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 4 巻
32	としま野 3-10-12	2008.6.3～25	1,231	分譲及び分譲	遺構遺物なし	区内遺跡第 6 巻
33	としま野 6-3-8 の一部	2008.10.3	215	個人住宅	遺構遺物なし	区内遺跡第 6 巻
34	としま野 3-10-6	2011.2.2～4	1,032	宅地造成	遺構遺物なし	区内遺跡第 10 巻
35	としま野 3-9-1 の一部	2013.1.10	661	赤土蔵跡	遺構遺物なし	区内遺跡第 20 巻
36	としま野 4-3-6-7	2013.8.13	724	貯水場	遺構遺物なし	4 巻付



I. 黒褐色土 粘り肌、粘性有、埋積土、1cm 以下ロームブロックし含む

第 34 図 東中学校西遺跡第 35 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

## 第12章 西ノ原遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字さ立久保付近に湧き水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて人間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971年以来2017年4月現在で172地点

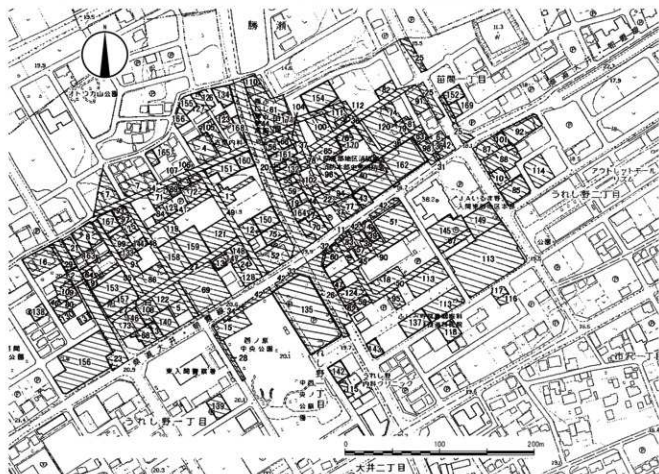
に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

### II 西ノ原遺跡第160地点

#### (1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、2014年4月15日に現地では表土層の削平工事が行われているのを確認したため、原因者と連絡をとった。

現地は西ノ原遺跡の範囲内にあるため、「埋蔵文化財事前協議書」と文化財保護法第93条第1項、同第5条第2項の「埋蔵文化財発掘の届出について」の提出と併せて試掘調査について協議した。工事に際し緊急を要するため、同年4月15・16日に試掘調査を実施した。その後、原因者より同年4月24日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」と「埋蔵文化財発掘の届出



第35図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第21表 西ノ原遺跡調査一覧表

表号	所在地	調査開始 (調査開始日)	調査 日数	調査内容	確認された遺跡と遺物	調査 方法	表号	所在地	調査開始 (調査開始日)	調査 日数	調査内容	確認された遺跡と遺物	調査 方法
1		1971					65	西ノ原145-1	1993.6.7-6.11	615	埋没品	縄文中期土器、平段形土器群、土器	埋没
2	西ノ原83	1978.12.6-12.26	276	発掘調査	石室跡、土坑、集石(土器)	西ノ原1	66	西ノ原133-2	1993.3.30-7.19	673	埋没品	近江式土器、縄文中土器	埋没
3		1979.3		発掘調査	土器の検出		67	西ノ原150-2	1994.1.20-21	308	発掘	縄文中期土器、ビッド、近代陶器	埋没
4	西ノ原125-1	1979.7.2-7.9	668	発掘調査	遺跡なし、縄文中期土器	西ノ原1	68	西ノ原120-6	1994.3.22-3.25	285	発掘	遺跡物なし	埋没
5		1979.8.1-8.14		発掘調査	遺跡なし、土器、石器群、縄文中期土器	西ノ原1	69	西ノ原100	1994.8.4-8.27	1,821	穴掘	縄文中期土器群、土器、ビッド	埋没
6	西ノ原170-2	1980.6.19-6.27	450	発掘調査	土坑、竈、竈穴、縄文中土器	西ノ原2	70	西ノ原136	1994.5	51	穴掘	近江式土器	埋没
7	西ノ原96-1	1980.10.16-10.29	563	発掘調査	縄文中期土器、縄文中土器	西ノ原1	71	西ノ原12	1994.6-7	309	埋没品	遺跡なし、土器	埋没
8	西ノ原95-2-3	1980.10.30-11.14	661	発掘調査	竈穴跡、土坑、土器、土器	西ノ原2	72	西ノ原112-109	1994.11.2-11.28	321	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
9	西ノ原93-1, 99-1	1981.6.1-6.23	600	発掘調査	竈穴、竈、土器、土器	西ノ原2	73	西ノ原92-1	1994.3.27-3.29	274	埋没品	遺跡物なし	埋没
10	西ノ原180-2	1981.11.4-11.13	408	埋没品	土器	西ノ原1	74	西ノ原163	1994.4.21-5.13	169	埋没品	ビッド	埋没
11	西ノ原143-4	1983.5.23-5.27	198	発掘調査	縄文中土器、縄文中期土器	西ノ原1	75	西ノ原122	1995.1.30-5.23	379	発掘	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
12	西ノ原123-3	1983.6.6-8.11	330	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器	西ノ原1	76	西ノ原151-2	1995.4.20-4.27	408	発掘	ビッド、土器	埋没
13	西ノ原114-6	1983.8.13-10.18	300	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、集石	西ノ原1	77	西ノ原143-2	1995.5.24-7.28	347	穴掘	縄文中期土器群、土器、土器、土器	埋没
14	西ノ原143	1983.10.24-11.7	240	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、集石	西ノ原1	78	西ノ原223-3-2	1995.6.28-8.8	45	野点検	縄文中期土器群	埋没
15				埋没品	縄文中土器、ビッド	西ノ原1	79	西ノ原162-2	1995.6.29-7.24	138	埋没品	遺跡物なし	埋没
16				遺跡なし		西ノ原1	80	西ノ原83-2	1995.7.19-7.25	310	穴掘	遺跡物なし	埋没
17	西ノ原135-3	1985.5.13-5.22	165	発掘調査	縄文中土器、土器	西ノ原1	81	西ノ原169	1995.8.7-7.22	223	穴掘	遺跡物なし	埋没
18	西ノ原141-2	1985.7.26-8.5	369	発掘調査	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	西ノ原1	82	西ノ原168	1995.8.1-8.5	249	発掘	遺跡物なし	埋没
19	西ノ原130-1	1986.7.8-7.23	230	在宅点検	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	西ノ原1	83	西ノ原130-2	1995.8.23-10.21	190	埋没品	遺跡物なし	埋没
20	西ノ原130-1	1986.11-1987.4	3,553	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	西ノ原1	84	西ノ原108, 109	1995.11.30-12.26	138	埋没品	土器、ビッド	埋没
21	西ノ原95-1	1988.12.11-1989.1.5	447	在宅点検	縄文中土器群	西ノ原1	85	西ノ原181-3	1996.1.9-1.20	654	穴掘	ビッド	埋没
22		1987	480	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	西ノ原1	86	西ノ原13-2, 93-1	1996.1.10-4.22	608	埋没品	土器、ビッド、土器	埋没
23		1987-8	1,024	穴掘	土器	埋没	87	西ノ原182-1	1996.5.14-6.17	344	穴掘	遺跡物なし	埋没
24		1987		埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	88	西ノ原182-3, 182-4, 205-1	1996.7.28-7.29	745	埋没品	土器、ビッド、土器、土器、土器	埋没
25		1988.1-2	781	埋没品	遺跡物なし	埋没	89	西ノ原181	1996.7.17-1.18	143	埋没品	土器、土器	埋没
26		1988.3-4	1,640	埋没品	土器、土器	埋没	90	西ノ原181-4	1996.7.31	177	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
27		1988.10	942	埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	埋没	91	西ノ原169	1996.8.1-8.5	47	穴掘	遺跡物なし	埋没
28		1988.11		埋没品	遺跡物なし	埋没	92	西ノ原192-2	1996.10.23-10.28	684	穴掘	遺跡物なし	埋没
29		1988.12		埋没品	遺跡物なし	埋没	93	西ノ原315	1996.10.22-2.23	141	分掘	遺跡物なし、土器のみ	埋没
30		1989.2-3		埋没品	土器	埋没	94	西ノ原145-2	1996.11.11-1.12	165	埋没品	遺跡物なし、土器のみ	埋没
31	西ノ原115-1	1989.11.4-11.11	21	宅点検	遺跡物なし	埋没	95	西ノ原154	1996.11.14-11.15	283	南点検	土器	埋没
32	西ノ原122	1989.10.19-10.23	23	宅点検	遺跡物なし	埋没	96	西ノ原441	1996.12.17-12.20	353	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
33	西ノ原153-2	1989.1.10-1.19	25	穴掘	縄文中期土器群	埋没	97	西ノ原97-2	1996.12.19-1.20	141	分掘	遺跡物なし	埋没
34	西ノ原171	1989.1.24-1.31	23	穴掘	縄文中期土器群	埋没	98	西ノ原97-1-2	1997.1.6	206	埋没品	土器	埋没
35		1989.2-3	4,000	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	99	西ノ原97-1	1997.1.20-1.24	304	埋没品	土器、土器、土器、土器	埋没
36		1989.3-4		埋没品	縄文中期土器群、縄文中土器、土器	埋没	100	西ノ原150-2	1997.4.5-4.12	447	埋没品	土器、ビッド	埋没
37		1989.5-8	200	埋没品	遺跡物なし	埋没	101	西ノ原83-1-3	1997.7.22-7.25	187	宅点検	遺跡物なし	埋没
38	西ノ原142-2	1989.8.29-9.12	74	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	102	大井町南2丁目5番地	1997.10.9-10.20	179	埋没品	ビッド、土器	埋没
39	西ノ原142-2	1989.8.29-9.12	94	埋没品	土器、土器	埋没	103						
40		1989.9.18-10.16	980	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没	104	西ノ原228区2番地	1997.10.16-10.18	223	埋没品	土器、土器	埋没
41		1989.10.19-11.4	963	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	105	西ノ原23-2, 120-2	1997.11.3-2.12	565	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没
42		1989.10-10	478	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	106	西ノ原112	1998.1.28-2.4	125	埋没品	ビッド	埋没
43	西ノ原153-3	1990.6.26-7.9	273	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	107	西ノ原112	1998.2.9-2.13	135	埋没品	ビッド、土器	埋没
44		1990.6-6	3,224	埋没品	遺跡物なし	埋没	108	西ノ原141-1, 92-4, 99-1	1998.3.23, 1998.3.4-3.17	419	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没
45		1991.2		埋没品	遺跡物なし	埋没	109	西ノ原83-4, 429	1998.3.11-3.18	623	埋没品	遺跡物なし	埋没
46	西ノ原83-2	1991.4.9-10	199	埋没品	遺跡物なし、土器のみ	埋没	110	西ノ原146-2	1998.4.20-5.28	385	穴掘	遺跡物なし、土器のみ	埋没
47	西ノ原130-2	1991.7.15-7.26	141	埋没品	遺跡物なし、土器のみ	埋没	111	大井町南2丁目5番地	1998.10.23-10.27	354	埋没品	遺跡物なし、土器のみ	埋没
48		1991.9-10	2,610	埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	112	大井町南2丁目5番地	1999.1.30	144	埋没品	遺跡物なし	埋没
49		1991.12-1992.1		埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	113	大井町南2丁目5番地	1999.4.4-12.14	2,617	穴掘	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
50		1991.11-12		埋没品	縄文中期土器群、土器	埋没	114	西ノ原194-1	1999.8.4-8.12	678	穴掘	遺跡物なし、土器のみ	埋没
51	西ノ原153-2	1991.2.4-2.12	1,390	宅点検	縄文中期土器群、土器、土器	埋没	115	大井町南2丁目5番地	1999.9.27-9.28	339	埋没品	遺跡物なし	埋没
52	西ノ原122	1991.2.10-2.20	984	宅点検	縄文中期土器群、土器、土器	埋没	116	大井町南2丁目5番地	1999.12.2-3	119	埋没品	遺跡物なし	埋没
53	西ノ原120-2	1992.6	261	分掘	遺跡物なし	埋没	117	大井町南2丁目5番地	1999.12.2-12.4	131	埋没品	遺跡物なし	埋没
54		1992.5-7		埋没品	土器(土器)、土器	埋没	118	大井町南2丁目5番地	2000.4.13-4.12	243	埋没品	遺跡物なし、縄文中期土器	埋没
55	西ノ原130-5	1992.5.21-6.23	241	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没	119	大井町南2丁目5番地	2000.11.15-11.26	527	穴掘	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
56	西ノ原130-2	1992.6.23-6.26	261	分掘	遺跡物なし、土器、土器	埋没	120	大井町南2丁目5番地	2000.7.7-5.18	1,109	埋没品	遺跡物なし、縄文中期土器	埋没
57	西ノ原143-3+4	1992.7.6-9.1	174	埋没品	遺跡物なし、土器	埋没	121	西ノ原115	2002.2-7-6.10	1,637	埋没品	縄文中期土器群、土器、土器	埋没
58	西ノ原120-2	1992.9	146	埋没品	遺跡物なし、縄文中土器	埋没	122	大井町南14丁目8番地	2002.3.9-3.10	593	埋没品	遺跡物なし	埋没
59	西ノ原130-1	1992.10.6-11.12	494	埋没品	遺跡物なし、土器	埋没	123	西ノ原199区10番地	2002.9.9-9.10	254	埋没品	遺跡物なし	埋没
60	西ノ原130-2	1992.12.10-12.25	254	埋没品	遺跡物なし、土器	埋没	124	西ノ原137-2	2002.10.10-10.11	52	埋没品	遺跡物なし、土器、土器	埋没
61	西ノ原	1993.2	2,240	埋没品	遺跡物なし	埋没	125	西ノ原11-8	2002.12.14-1.19	182	埋没品	ビッド	埋没
62				埋没品	遺跡物なし	埋没	126	西ノ原11-8+7	2004.2.23-2.25	153	埋没品	遺跡物なし	埋没
63	西ノ原162-3, 160	1993.4.13-4.22	147	埋没品	遺跡物なし	埋没	127	西ノ原13-4+10	2004.5.24-2.25	327	埋没品	土器	埋没
64	西ノ原94-1	1993.4.27-4.28	327	埋没品	遺跡物なし	埋没	128	西ノ原16-9+10	2004.4.17-7.15	614	穴掘	縄文中期土器群、土器、土器	埋没



地点	所在地	調査期間 (年/月/日～年/月/日)	調査回数 (回)	調査内容	確認された遺構と遺物	年代 (推定)
129	11-5	(2004.9.30～10.7)	235	月間往	縄文中期後段遺構と遺物	縄文Ⅱ
130	11-5	(2004.10.4～15)	116	個人往	遺構遺物なし	縄文Ⅱ
131	11-5-13	(2004.10.25)	97	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	縄文Ⅱ
132	11-5-17	(2005.7.18～8.27) 2005.8.3～8.11	272	夜間往 夜間往	縄文中期後段遺構、砂笥、土器	調査Ⅷ
133	11-8	(2005.10.11～12)	176	個人往	遺構遺物なし、土器	Ⅷ
134	11-13	(2005.10.10～10.11)	348	遺跡	遺跡	Ⅷ
135	11-13	(2006.11.5～11.22)	257	夜間往 夜間往	縄文中期後段遺構、砂笥	Ⅷ
136	11-13-2	(2006.6.23)	630	学生往	遺構遺物なし	Ⅷ
137	11-13-2	(2006.8.3～8.7)	861	月間往	遺構遺物なし	Ⅷ
138	11-4-7-8	(2006.11.21～22)	247	個人往	遺構遺物なし	Ⅷ
139	11-13-1	(2007.2.1)	474	月間往	遺構遺物なし	Ⅷ
140	11-16-140-1	(2007.5.7～5.10)	487	夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
141	11-16-6	(2007.5.8～9)	735	夜間往 夜間往	土器、ビッコ	Ⅷ
142	11-13-1	(2008.4.4～4.7)	296	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
143	11-13-1	(2009.3.23)	287	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
144	11-8-11	(2009.8.18～8.25)	155	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
145	11-13-4-1-10	(2010.7.22～8.25)	639	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
146	11-16-3	(2010.10.8～10.13)	246	分隊往	遺構遺物なし	Ⅷ
147	11-16-40-1	(2010.11.28～11.13)	133	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器、土器	Ⅷ
148	11-16-40-2	(2010.11.19～21)	215	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器	Ⅷ
149	11-16-40-7	(2011.2.7～2.10)	629	夜間往 夜間往	遺構遺物なし	Ⅷ
150	11-14-14	(2012.2.23～2.26) 2012.2.28～3.4	105	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器、土器	Ⅷ
151	11-14-18	(2013.1.23～2.14)	111	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器	Ⅷ
152	11-14-19	(2013.2.6～28)	107	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器	Ⅷ
153	11-14-17	(2013.7.1～7.26)	111	個人往	縄文中期後段遺構、土器、土坑、土器	Ⅷ

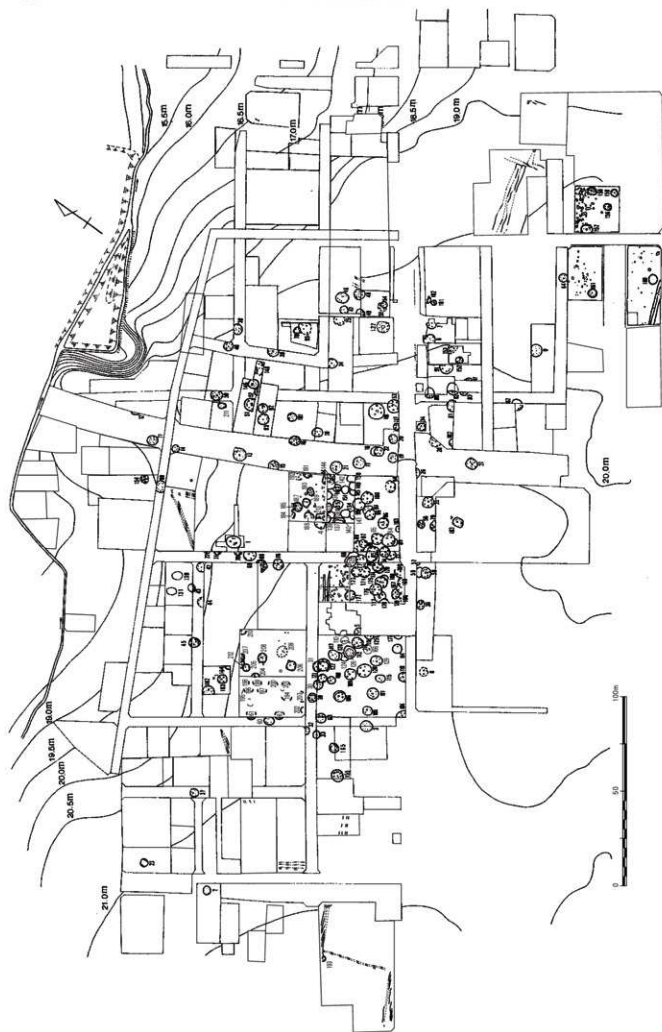
※※：大井町東原遺跡群。町：大井町内遺跡群。町民：大井町民資料館。調査：大井町遺跡調査委員会。町：大井町中野内遺跡群。

第22表 西ノ原遺跡住居跡一覧表

調査年度	調査回数	平面図 (1/40縮尺)	階級	形状	壁	柱	土	遺物	状況	備考	時期	文献
1	完築	掘り跡	450×300	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
2	完築	掘り跡	400×400	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
3	完築	掘り跡	634×530	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
4	73%	掘り跡	540×485	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
5	60%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
6	70%	掘り跡	530×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
7	80%	掘り跡	440×430	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
8	完成	平	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
9	90%	(半)掘り跡	540	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
10	5%	掘り跡	460×415	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
11	11%	掘り跡	550×497	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
12	30%	(半)掘り跡	(440)×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
13	11%	掘り跡	630×600	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
14	5%	掘り跡	(430)×350	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
15	60%	(半)掘り跡	343×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
16	5%	掘り跡	548×516	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
17	完築	掘り跡	665×590	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
18	完築	掘り跡	420×353	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
19	完築	掘り跡	515×488	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
20	完築	掘り跡	500×450	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
21	完築	半掘り跡	615×635	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
22	完築	掘り跡	550×450	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
23	完築	掘り跡	425×370	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
24	80%	(半)掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
25	85%	掘り跡	遺跡調査平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
26	30%	(半)掘り跡	7×(330)	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
27	完築	掘り跡	570×460	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
28	65%	掘り跡	遺跡調査平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
29	完築	掘り跡	440×420	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
30	80%	掘り跡	405×403	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
31	70%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
32	30%	(半)掘り跡	(380)×330	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
33	完築	掘り跡	7×(340)	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
34	完築	掘り跡	580×490	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
35	70%	掘り跡	605×550	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
36	70%	掘り跡	560×530	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
37	完築	掘り跡	440×380	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
38	90%	掘り跡	530×524	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
39	70%	掘り跡	(610)×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
40	95%	掘り跡	420×380	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
41	20%	掘り跡	一部のみ調査	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
42	60%	掘り跡	610×510	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
43	完築	掘り跡	506×470	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
44	50%	掘り跡	(440)×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
45	完築	掘り跡	560×530	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
46	完築	掘り跡	600×496	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
47	80%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
48	75%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
49	完築	掘り跡	530×490	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
50	80%	掘り跡	540×450	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
51	80%	掘り跡	460×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
52	60%	掘り跡	460×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
53	90%	掘り跡	690×560	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
54	完築	掘り跡	335×355	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
55	完成	平	690×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
56	完築	掘り跡	690×496	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
57	35%	平	7×(850)	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
58	完築	掘り跡	550×560	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
59	40%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
60	85%	掘り跡	390×540	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
61	20%	(半)掘り跡	(475)×365	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
62	30%	(半)掘り跡	(450)×435	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
63	完築	掘り跡	550×492	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
64	完築	半掘り跡	418×420	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
65	完築	掘り跡	350×365	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
66	90%	掘り跡	670×570	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
67	73%	掘り跡	670×620	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
68	73%	掘り跡	625×610	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
69	80%	掘り跡	618×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
70	30%	半平	668×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
71	20%	掘り跡	420×7	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
72	55%	掘り跡	平	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
73	80%	掘り跡	370×440	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
74	95%	掘り跡	320×410	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
75	80%	掘り跡	600(1000)	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ
76	完築	掘り跡	512×545	□	土	有	有	有	有	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ

区別	道路種別	平面図 (1)は規定	幅員	歩		視界	視高	備考	時期	支線	区別	道路種別	平面図 (1)は規定	幅員	歩		視界	視高	備考	時期	支線		
				幅員	石階										幅員	石階							
77	80%	横切形	300×330	○				石神-石神75号上之組合	日新中	横切形	148	85%	横切形	285×7	○				歩道との組合	日新	横切形		
78	90%	横切形	402×352	○					横切形	横切形	147	30%	横切形	7×	○				148号上之組合	日新	横切形		
79	55%	直平本線	7×570	○	△			30尺幅員	○	砂土上	横切形	148	90%	不明	○				147号上之組合	日新	横切形		
80	80%	直平本線	422×460	○				有	○		横切形	149	60%	内切形	561×平切	○			145-150号上之組合	日新	横切形		
81	65%	内切	588×本線	○					○	付利成	横切形	150	80%	内切形	561×平切	○			149-151号上之組合	日新	横切形		
82	70%	横切形	560-570	○					○		横切形	151	85%	(横切形)	664×670	○			143-145-150号上之組合	日新	横切形		
83	45%	内切	364×7	○				本線	○		横切形	152	95%	内切	380×370	○			153号上之組合	日新	横切形		
84	90%	横丸方形	732×674	○				有	○	丸方-小形遊歩石	日新中	153	20%	内切形	-600	○			152号上之組合	日新	横切形		
85	90%	横切形	620×598	○	△				○	84号上之組合	横切形	154	90%	不明	4000	○			149号上之組合	日新	横切形		
86	90%	横丸方形	520×490	○				有	○	87号上之組合	日新前	155	75%	横丸方形	610×540	△	△	有	28尺幅員	○	遊歩石	横切形	
87	90%	内切	354×374	○					○	88号上之組合	横切形	156	90%	内切形	462×365-14	○					横切形		
88	85%	横丸方形	640×550	○	○			有	○	丸方-遊歩石100尺	日1占	156	90%	内切形	562×460-16	○					横切形		
89	90%	横切形	420×390	○					○	85号上之組合	横切形	157	75%	横切形	584×382-22	○					横切形		
90	70%	横切形	7×560	○					○		横切形	158	90%	平定形	660×654-16	○					横切形		
91	80%	横丸方形	746×7	○				有	○		横切形	159	90%	内切形	434×634-13	○					横切形		
92	90%	横切形	508×422	○					○		横切形	160	90%	内切形	547×660-13	○					横切形		
93	90%	横切形	580×490	○				地盤	○		横切形	161	90%	横切形	542×460-16	○					横切形		
94	70%	内切	平切	○				歩道	○		横切形	162	75%	横丸方形	715×7	△			28尺幅員	○			
95	90%	内切	660×500	○					○		横切形	163	90%	横切形	505×482	○			有		歩道幅員分折減	日新	
96	90%	横切形	560×580	○					○	小形遊歩石	横切形	164	20%	横丸方形	平切	△						横切形	
97	90%	横切形	492×505	○					○	66号上之組合	日1占	164	20%	横丸方形	平切	△						横切形	
98	60%	横切形	472×234	○					○	74号上之組合	横切形	165	90%	横切形	488×488	○			遊歩石			歩道幅員分折減	日新
99	90%	不明	7×492	○					○	100号上之組合	日新前	166	10%	不明	不明	○						横切形	
100	90%	横丸方形	614×644	○	○	△			○	小形遊歩石99号上之組合	日新	167	55%	内切形	740	○					横切形		
101	90%	内切	414×420	○				有	○		日新前	168	45%	横丸方形	平切	△						横切形	
102	40%	内切	7×276	○					○		横切形	169	30%	内切形	740	○						横切形	
103	55%	横切形	7×380	○					○		横切形	170	60%	内切形	590×496	○						横切形	
104	60%	横切形	524×440	○				有	○		横切形	171	90%	不明	550×595	○						横切形	
105	90%	内切	405×420	○					○		横切形	172	52%	内切形	590×472	○						横切形	
106	90%	内切	560×520	△				有	○		横切形	173	90%	内切形	485×492	○						横切形	
107	90%	内切	520×510	△				有	○		横切形	174	90%	横切形	612×7	○						横切形	
108	90%	内切	385×340	○					○		横切形	175	90%	横切形	640×630	○			有			横切形	
109	90%	横切形	560×490	○					○		日新	176	90%	横丸方形	600×525	○			28尺幅員			横切形	
110	90%	不明	418×320	○					○		横切形	177	95%	内切形	624×平切	○						横切形	
111	30%	横切形	平切	△					○	5-122号上之組合	日新	178	10%	横丸方形	不明	△						横切形	
112	90%	横丸方形	600×574	○				有	○	124-125号上之組合	日新中	179	95%	横丸方形	600×574	○						横切形	
113	90%	横丸方形	520×498	○				有	○	130号上之組合	日新前	180	90%	内切形	363×362	○						横切形	
114	40%	内切	480×480	○					○		横切形	181	90%	不明	340×298	○						横切形	
115	90%	横丸方形	490×340	○					○		横切形	182	45%	内切形	700×300	○						横切形	
116	90%	横切形	540×498	○					○	歩道幅員	日1占	183	90%	横丸方形	450×370	○						横切形	
117	70%	横丸方形	7×440	○					○		横切形	184	25%	横丸方形	330×220	○						横切形	
118	90%	横切形	520×374	○				遊歩石	○		横切形	185	80%	内切形	320×224	○						横切形	
119	90%	横切形	380×490	○				有	○		横切形	186	90%	不明	480×430	○						横切形	
120	90%	内切	392×490	○					○	113-124号上之組合	日新前	188	50%	横切形	510×430	○						横切形	
121	90%	内切	380×390	○					○	30号上之組合	日新	189	90%	横切形	452×490	○						横切形	
122	90%	横丸方形	平切	△				有	○	31号上之組合	日新	190	90%	内切形	498×302	○						横切形	
123	90%	内切	418×420	○					○	113-120+126号上之組合	横切形	191	50%	内切形	330×220	○						横切形	
124	10%	不明	不明	△					○	111号上之組合	日新	192	90%	内切形	270×170	○						横切形	
125	10%	不明	350×565	○					○	112-124号上之組合	日新	194		不明	320×192	○						横切形	
126	10%	不明	645×7	△					○		横切形	195		不明	130×120	○						横切形	
127	90%	横切形	610×580	○					○		横切形	196		不明	480×142	○						横切形	
128	90%	不明	618×7	○					○		横切形	197		不明	635×140	○						横切形	
129	90%	内切	542×465	○					○		横切形	198		不明	320×160	○						横切形	
130	90%	横切形	560×442	○					○		横切形	199		不明	130×160	○						横切形	
131	90%	横切形	590×580	△					○		横切形	200		不明	185×150	○						横切形	
132	60%	横切形	7×460	○				有	○	138号上之組合	日新	201		不明	1610×150	○						横切形	
133	90%	横丸方形	630×530	△					○	141号上之組合	日新	202		不明	1310×140	○						横切形	
134	90%	横丸方形	540×460	○					○		横切形	203		不明	1440×153	○						横切形	
135	70%	横切形	7×610	△				有	○		横切形	204	50%	内切形	375×185-20	○						横切形	
136	20%	不明	×7	○					○	138-140号上之組合	日新	205	100%	内切形	360×35-35	○							横切形
137	90%	横丸方形	450×360	○					○	133-130+140号上之組合	横切形	206	100%	横丸方形	475×65-18	○							横切形
138	55%	不明	(340×平切)	○					○	138号上之組合、 4-23号上之組合	日新	207	50%	内切形	375×180-20	○							横切形
139	55%	不明	(340×平切)	○					○	138号上之組合	日新	208	100%	横丸方形	475×62-43	○							横切形
140	40%	横切形	(262×平切)	○					○	137-138号上之組合	日新	210	25%	不明	320×180-30	○							横切形
141	55%	不明	528×平切	○					○	134号上之組合	日新	211		不明	320×180-30	○						横切形	
142	50%	不明	不明	○					○	143-144号上之組合	日新	212	40%	横切形	180×18-15	○						横切形	
143	90%	横切形	479×421	○					○	遊歩石	日新	213	90%	横丸方形	460×30-32	○							横切形
144	60%	横丸方形																					





第36図 西ノ原遺跡遺構分布図 (1/2,000)

について」がふじみ野市教育委員会に提出された。

試掘調査は原因者が表土層の削平を行った後、幅約1～1.8mのトレンチ5を設定し、人力による表土除去を行った。土坑1基及び表土層から縄文土器が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

## (2) 遺構と遺物

### ①土坑

平面形態は円形を呈する。規模は、確認直径115×97cm、底径83×80cm、深さ29.8cmである。覆土層の観察から縄文時代と考えられる。覆土中から縄文土器片1点が出土した。

### ②遺物(第37図1～12)

1は土坑覆土中、2～12は表土中出土である。1は刻目のある隆帯脇に沈線を施す。2は無文の口縁部。3は無文口縁部に口唇部は「く」の字状に屈曲し隆帯を貼付ける。4は沈線文を施す。5は隆起帯に半截竹管状工具の内側で連続爪形文と交互刺突を施す区画内に横位沈線文を施す。6は半截竹管の内側で平行沈線を施し、その上に大きな刺突の刻目を施す。7は地文Lr燃糸文に隆帯の区画文を施す。8は地文Lr燃糸文に沈線文を施す。9は地文Lr燃糸文に横位隆帯と隆帯の蛇行懸垂文を貼付する。10は頸部無文帯と2本組の横位隆帯から隆帯の懸垂文を貼付し区画内に沈線文を施す。11は無節Rの側面圧痕を施す。12は底部で無文である。1、3～6は勝版Ⅲ式、2は勝版式、7～10は加曽利EⅠ式である。2と12は中期とみられる。

## Ⅲ 西ノ原遺跡第161地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年5月26日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請地の一部は、1990(平成2)年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で、第50号住居跡の一部が調査されている。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年6月17日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

試掘調査の結果、第50号住居跡とみられる遺構の他、

新たに住居跡1軒が確認された。現地表面から地山ローム層までの深さは約50cmであり、遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は2014年6月18日～23日まで、調査区中央部の住居跡が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。

## (2) 遺構と遺物

### ①第50号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。

1990(平成2)年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で住居跡全体の約80%が調査済である。縄文時代の土坑2基と重複し、住居跡の南西隅は近世以降の溝に切られる。

【形状・規模】前回の調査では平面形態は楕円形と推定されていたが隅丸長方形に近い。規模は、長軸572cm、短軸490cm、深さ18cmである。周溝はない。

【炉】炉は住居跡中央部やや南寄りに位置する、石囲炉である。礎14点が残存するが、東北部の礎は欠損する。炉の規模は長軸68cm、短軸(53)cm、深さ11cmである。

【柱穴】柱穴は3本検出し、主柱穴である。各ピットの詳細は第23表のとおりである。

【遺物出土状況】今回の調査は北西隅の一部を検出したため、新たに出土した遺物のみ6点を掲載した。全て覆土層と住居跡の埋め土から出土したものである。大部分の遺物は前回の調査で出土しており、大井町遺跡調査会報告第6集『西ノ原遺跡』に掲載されたものを参照されたい。前回の調査では覆土層から打製石斧1点、石鏃1点、土器片107点が出土した。土器は勝版式末30%、加曽利EⅠ式40%、加曽利EⅡ式10%、加曽利EⅢ式20%である。

### 【出土遺物】(第40図1～6)

1は波状口縁の波頭部で外面に沈線を施し、内面は無文である。2は浅鉢の口縁部か。3は外面無文で内面は僅かに括れる。4はRⅠの燃糸文。5は沈線の懸垂文と地文RL縄文を施す。6は須恵器器片である。1、3、5は加曽利EⅡ～Ⅲ式。2、4は勝版式から加曽利EⅠ式。

### ②第211号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。北東約140cm離れて第50号住居跡が位置する。

【形状・規模】平面形態は南北に長い楕円形で、規模

は長軸 425 cm、短軸 273 cm、深さ 16 cm である。周溝はない。

【炉】炉は住居跡中央部やや北寄りに位置する。耕作により半分が破壊される。炉は底部を欠損する縄文土器を正位に設置した埋費炉で、残存規模は長軸 42 cm、短軸 (16) cm、深さ 22 cm である。

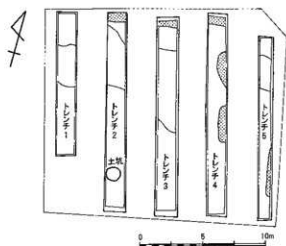
【柱穴】柱穴は 5 本検出し、主柱穴は P1～4 である。各ピットの詳細は第 23 表のとおりである。

【遺物出土状況】遺物は住居跡床面から覆土層にかけて僅かに出土した。

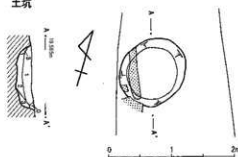
【出土遺物】(第 40 図 7～15)

7 は炉体土器、口縁と胴部下半を欠損。内外面に被熱によるはがれが認められる。地文は横位の RL 縄文。勝坂Ⅲ式か。8 は 4 単位波状口縁の深鉢口縁部、刻みを持つ隆帯により三角や半円形に区画。区画内には沈線による玉抱き三叉文や縦位文。勝坂Ⅲ式末。9 は深

第 160 地点



土坑

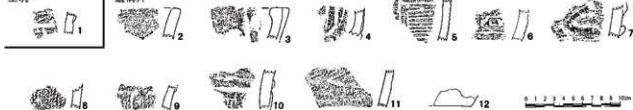


0. 復土

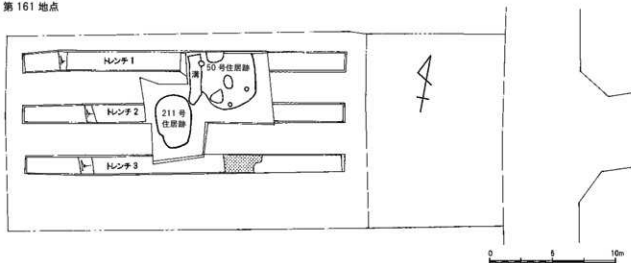
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒極少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、同様土粒極少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフローム腐葉土

土坑

遺構外



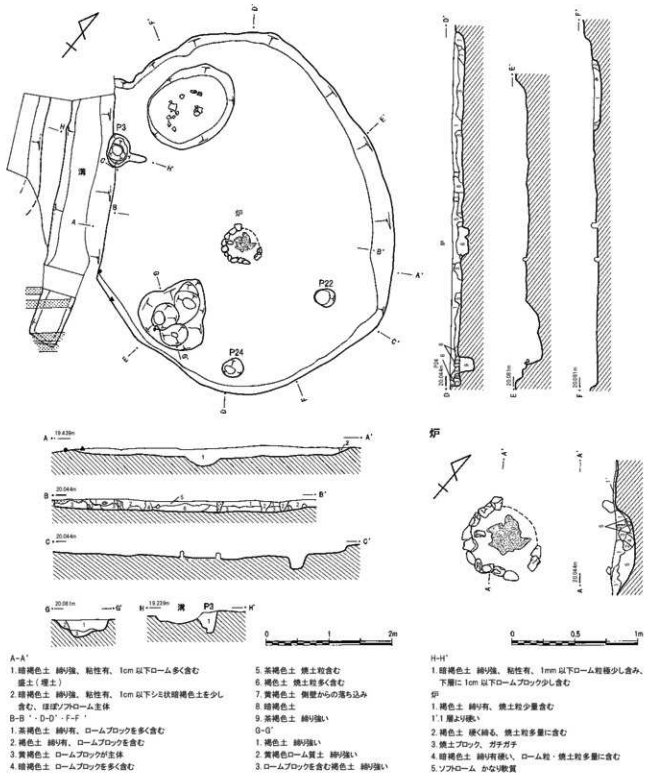
第 161 地点



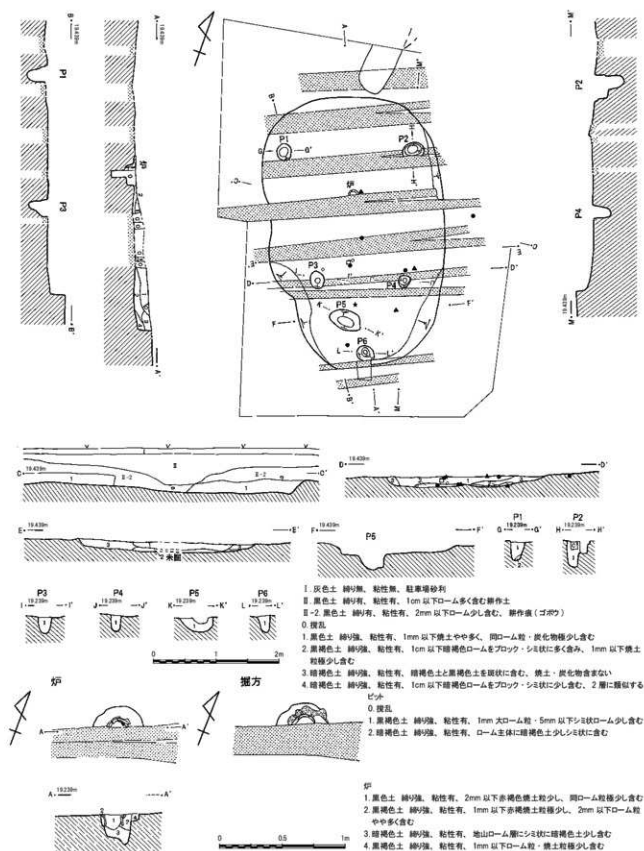
第 37 図 西ノ原遺跡第 160・161 地点遺構配置図 (1/300)、第 160 地点土坑 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第23表 西ノ原遺跡第161地点50・211号住居跡ピット一覧表(単位cm)

	No.	平面形態	確認直径	底径	深さ	備考		No.	平面形態	確認直径	底径	深さ	備考
50号 住居跡	3	不整形	61×52	17×15	38.9		211号 住居跡	1	円形	27×22	15×12	31.8	
	22	方形	32×29	20×15	19.2			2	不明	36×(26)	16×11	46.2	
	24	方形	34×29	20×17	23.1			3	円形	27×22	7×7	30.9	
						4		円形	20×18	8×5	27.2		
						5		楕円形	55×30	28×12	24.1		
						6		(円形)	30×25	8×8	32.9		



第38図 西ノ原遺跡第161地点50号住居跡(1/60)、炉(1/30)



第39図 西ノ原遺跡第161地点211号住居跡(1/60)、炉・掘方(1/30)

鉢口縁部、隆帯と沈線による楕円形の区画。隆帯上、沈線間に刻み。胎土に結晶片岩を含む。10・11は刻みを持つ隆帯と沈線による区画。9～11は勝坂Ⅲ式。12は隆帯上にLr燃糸。13は地文横位RL縄文。15は打製石斧、凝灰岩製。長さ8.6cm、幅4.2cm、厚さ1.5cm。刃部に摩滅が見られる。

#### 【遺構外出土遺物】(第40図16～21)

16は深鉢胴部、隆帯を垂下、沈線により渦巻き文。勝坂Ⅲ式。17は深鉢胴部、地文縦位RL縄文。隆起線による懸垂文。加曾利EⅡ式。18は深鉢胴部、沈線による逆U字の区画か。加曾利EⅡ～Ⅲ式。19は深鉢胴部、櫛歯状工具による縦位の波状文。加曾利EⅡ式併行。20、21は無文の底部。20は浅鉢か。

#### IV 西ノ原遺跡第162地点

##### (1) 調査の概要

調査は葬祭場建設に伴うもので、原因者より2014年7月14日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年8月29日～9月4日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmで、調査区北東に攪乱がみられる。

試掘調査の結果、中近世以降の溝1条を確認、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構と遺物は次のとおりである。

##### (2) 遺構と遺物

###### ①溝

調査区西側に位置し、南北方向に走行する。規模は上幅60cm、下幅32cm、深さ22cm、溝の断面形状は浅い「U」字状を呈する。出土遺物なし。

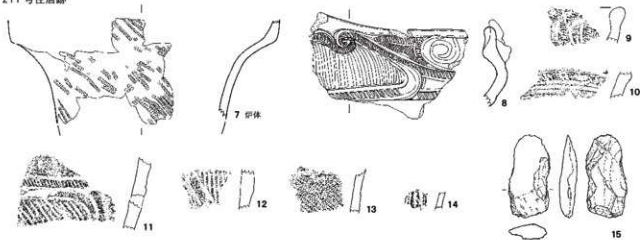
###### ②遺構外出土遺物(第41図1～10)

今回の調査で、表土中から縄文土器片が出土した。1は深鉢胴部、縦位LR縄文と沈線による懸垂文。2、3は深鉢胴部、縦位RLと沈線による懸垂文。1～3は加曾利EⅡ式。4は沈線による渦巻き。5は深鉢口縁部、横位や弧状の沈線が見られる。薄手で丁寧に磨かれる。6は有孔鈹付土器の鈹部。鈹部に上から穿孔している。鈹から隆帯を弧状に垂下し区画、区画内に

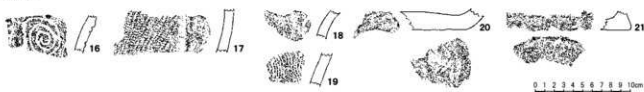
##### 50号住居跡



##### 211号住居跡

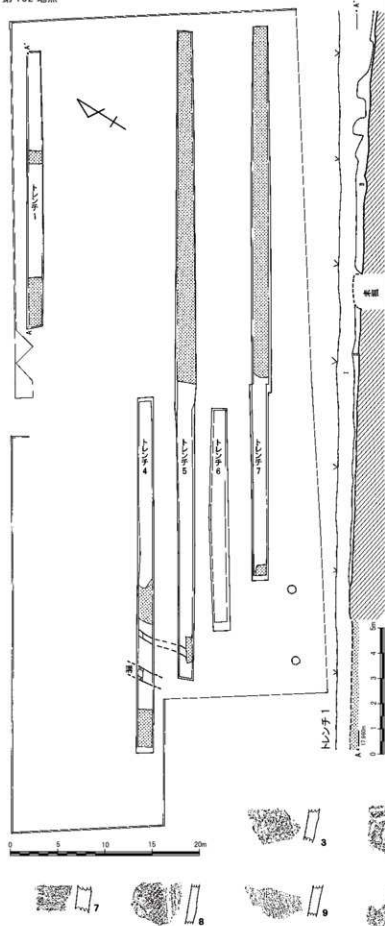


##### 遺構外

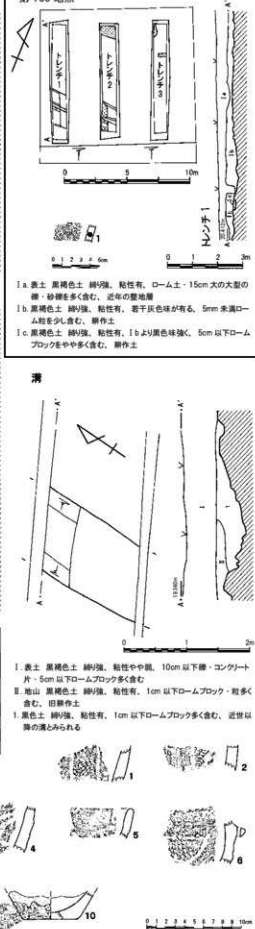


第40図 西ノ原遺跡第161地点出土遺物(1/4)

第162地点



第163地点



第41図 西ノ原遺跡第162地点遺構配置図(1/400)、第163地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、溝(1/60)、出土遺物(1/4)

刺突文を充填。加曾利EⅡ式併行か。7は浅鉢口縁部。8は薄手の深鉢胴部、縦位のRL縄文、沈線による懸垂文。9は深鉢胴部、櫛歯状工具による波状文。8、9は加曾利EⅡ式。10は無文の底部。

## V 西ノ原遺跡第163地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年12月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年2月2日・3日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約60～70cmである。試掘調査の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

表土中より縄文土器片が1点出土(第41図)。深鉢胴部。横位RL縄文と弧状の沈線。胎土に雲母がやや多い。加曾利EⅠ～Ⅱ式。



## 第13章 神明後遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

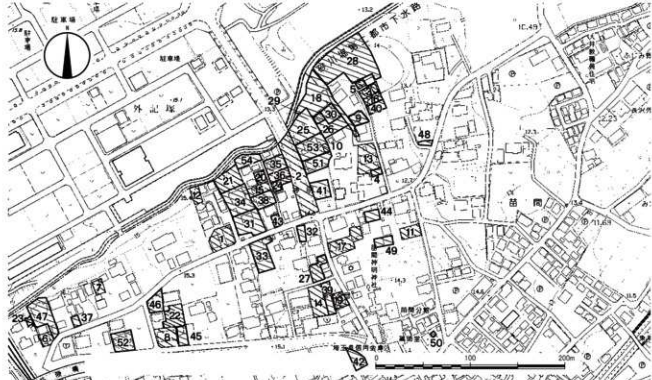
本遺跡の最初の調査は1987年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2017年3月末現在54ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

### II 神明後遺跡第52地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より



第42図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

2014年12月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年1月28日に試掘調査を実施した。試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約60～70cmの深さで地山ローム層を確認した。トレンチ3で時期不明のビット1基を検出した。ビットは平面形態がほぼ円形で、確認直径28×30cm、底径20×17cm、深さ30cmである。また表土中から縄文土器片1点が出土した。縄文時代早期の土器で、胎土に繊維を含み外面に条痕文を施す。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

### III 神明後遺跡第53地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年1月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年3月19日に試掘調査を実施した。試掘調査は、幅約1mのトレンチ3本を設定し、

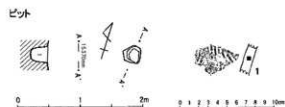
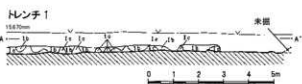
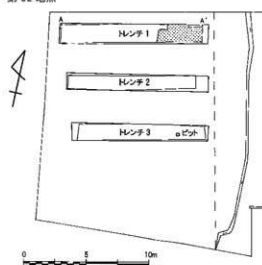
第 24 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (1) 任意調査	面積 (㎡)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	遺跡 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構なし、平安時代瓦葺部片、陶器片	町誌
2	遺跡 295-2、299-3	1993.3.12 ~ 20	1,688	道路築造	溝と穴 1、平安時代瓦葺 10(1) 号、縄文土坑 1、中・近世築造建物跡、地下式竈 1、井戸、堀	町誌
3	遺跡 300-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.7 ~ 8.19	209	分譲住宅	縄文土坑 1(2 号)、伏魔 2、埋溝 1、土坑 2、ビッド 34 軸	町誌
4	遺跡 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町誌
5	遺跡神明後 305-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文中期後 1(3 号)、土坑 5、溝、堀 縄文中期後半～後期初期土器	町誌
6	遺跡 255、227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町誌
7	遺跡 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1	町誌
8	遺跡 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	縄文土器片	町誌
9	遺跡 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文土器片 4、聚石土坑 1、溝と穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ビッド 33	町誌
10	遺跡 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町誌
11	遺跡 306	(1999.10.27) 1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑 17、ビッド 7	町誌
12	遺跡 282-2-5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構遺物なし	町誌
13	遺跡 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ビッド	町誌
14	遺跡 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世築造建物跡 1、溝 2、井戸 1、埋溝、ビッド 38	町誌
15	遺跡 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ~ 13	163	個人住宅	聚石土坑 1(朝玉台跡)	町誌 1
16	遺跡 309-14	(2001.7.23 ~ 24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文時代埋溝 4、土坑 13、溝 2、地下式竈 1、地下室 1、埋込遺構 1、ビッド 38	町誌 1
17	遺跡 369-1	(2002.3.28)	381	個人住宅	近世溝	町誌 1
18	遺跡 304-1、303-9	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期後埋溝 5(8 ~ 12 号)、土坑、古代・中世陶器	町誌 8
19	遺跡 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	埋込溝、溝 4	町誌 2
20	遺跡 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ビッド 2	町誌 2
21	遺跡 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土壌造成	ビッド 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町誌 8
22	遺跡 235-2-3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ビッド 38、江戶期陶磁器	町誌 2
23	遺跡 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、埋溝	町誌 8
24	遺跡神明後 293-4+10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構遺物なし	町誌 8
25	遺跡 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町誌 2
26	遺跡 神明後 301、303-3 ~ 5、7、304-1	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期後埋溝 1(13 号)、中世地下室、近世土坑 5、溝	調査 18 巻
27	遺跡 249-2、249-1	(2005.7.20 ~ 25) 2005.7.27 ~ 28	385	共同住宅	縄文中期後埋溝 1(14 号)	調査 18 巻
28	遺跡神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 21) 2006.6.29 ~ 10.5	1,171	宅地造成	縄文中期後埋溝 11(15 ~ 25 号)、聚石 23、土坑 5、溝と穴 1、仰穴 3、ビッド、溝 4、古代・中世陶器 1	巻 3
29	遺跡神明後 303-21+24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	236	個人住宅	ビッド 1、古代・中世陶器 1	巻 3
30	遺跡神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ビッド 12	巻 3
31	遺跡神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	巻 4
32	遺跡神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代瓦葺	巻 4
33a	遺跡 240-2	(2008.4.23 ~ 5.16)	298	個人住宅	溝と穴 1、中世以遺溝 6、井戸 2、土坑 38、ビッド 16	巻 6
33b	遺跡 240-2	(2008.4.23 ~ 5.16)	357	分譲住宅		巻 6
34	遺跡神明後 283-1、284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期後埋溝 1(26 号)、溝と穴 1、聚石 3、ビッド	巻 5
35	遺跡神明後 293-6+20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構遺物なし	巻 6
36	遺跡神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ビッド 1	巻 6
37	遺跡 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 29	120	個人住宅	縄文後期埋溝 1	巻 8
38	遺跡神明後 293-1、292-13	(2009.7.4 ~ 7) 2009.7.8 ~ 16	265	個人住宅	中世埋溝 1	巻 8
39	遺跡神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中・近世溝 2、ビッド 28、溝と穴 1	巻 7
40	遺跡 309-1	(2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文聚石土坑 1、中世地下式竈 2、井戸 1、埋込遺構 1、土坑 9	巻 8
41	遺跡神明後 298-1、299-1 の一部	(2010.3.25 ~ 5.7) 2010.5.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代聚石土坑 1、中世の鎌倉式建物跡、方形貯水式遺構 16、溝 7、木炭灰 2、ビッド 214	巻 9
42	遺跡神明後 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構遺物なし (埋込溝)	巻 10
43	遺跡 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世埋溝 2、本調査	巻 10
44	遺跡神明後 367-1、368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11 ~ 13	1,536	個人住宅	溝と穴 1、土器・陶器片	巻 14
45	遺跡神明後 235-9	(2011.12.5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	巻 14
46	遺跡神明後 235-6	(2012.4.9 ~ 10)	253	個人住宅	縄文土坑 1、土器片	巻 15
47	遺跡神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25 ~ 5.10	340	個人住宅	縄文時代聚石 3、ビッド 4、縄文土器片	巻 15
48	遺跡神明後 315-1 の一部	(2012.5.7) 2012.5.8 ~ 14	171	個人住宅	井戸 2、溝 3、土坑 9、ビッド、埋溝、ホヅラケ、近世陶磁器、石片	巻 15
49	遺跡神明後 367-1.368-6	(2013.1.30)	28	個人住宅	遺構遺物なし	巻 15
50	遺跡 375	(2013.12.11)	531	茶室堂	遺構遺物なし	巻 18
51	神明後 295-1、297-1+2 の一部、298-1、299-1	(2014.11.5 ~ 13) 2014.11.20 ~ 25	487	共同住宅	縄文時代土坑 2、中世溝 2、縄文土器	巻 16
52	遺跡神明後 231-1	(2015.1.28)	379	個人住宅	遺構なし、土器片	巻 20
53	遺跡神明後 298-1	(2015.3.19)	495	個人住宅	遺構遺物なし	巻 20
54	遺跡神明後 293-7+9	(2015.12.2)	342	共同住宅	遺構遺物なし	未報告

※町：大井町町内調査書、調査：大井町遺跡調査会報告書、※：ふじみ野市町内調査書

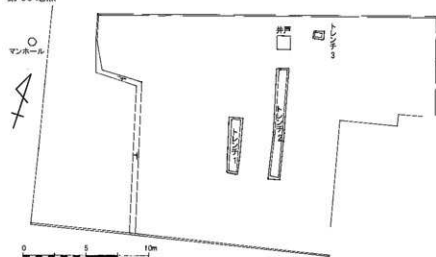
人力による表土除去、表面精査を行った。その結果、現地表面から約20～50cmの深さで地山ローム層を確認した。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

## 第52地点



- 1 a. 表土 黒褐色土 粘り有、粘性有、全体に5mm未満ローム粒少し、西の復元部分には5～30mmロームブロックや多く含む、盛土層  
 1 b. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1 aより黒色味強い黒褐色土に、5cm以下ロームブロックや多く含む、層作土  
 1 c. 黄褐色土 粘り有、粘性有、ソフトローム土主体で暗灰黄色土や黒褐色土のブロックが混ざる  
 ピット  
 1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm大ローム粒や多く含む、中近世のピット

## 第53地点



第43図 神明後遺跡第52地点遺構配置図・第53地点調査区域図(1/300)、第52地点土層(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

## 第14章 小田久保遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3km、砂川堀の左岸、標高23～28mに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2017年3月末現在、12ヶ所で調査を行っている。

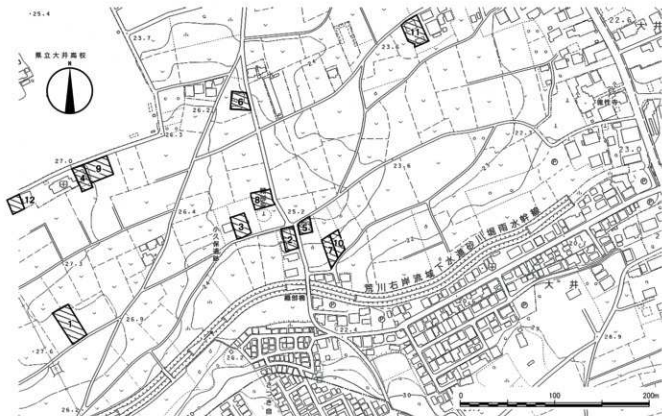
### II 小田久保遺跡第10地点

#### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部南寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2014年10月7日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.5mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から40～70cmの深さで地山ローム層を確認した。トレンチ1で縄文時代の土坑1基を検出した。開発による影響がないため写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

検出した土坑は、平面形態は円形で、規模は確認面径130×118cm、底径120×102cm、深さ30.2cmである。覆土中から縄文土器片2点が出土した。また、表土中から縄文土器片3点が出土している。(第45図1～5) 1、2は土坑出土遺物である。1は浅鉢の



第44図 小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)

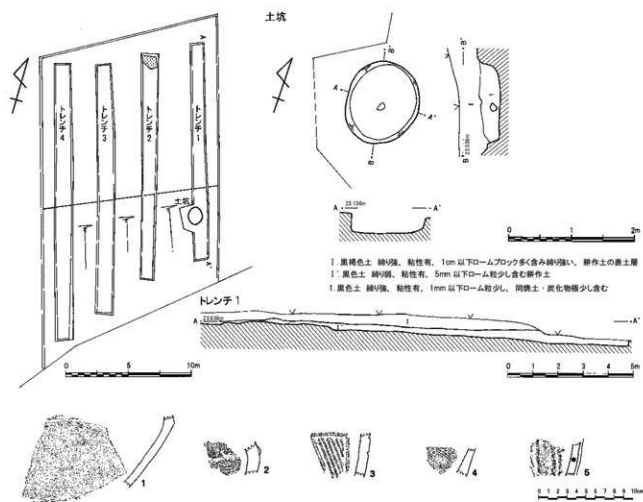
体部で、上部に沈線が施される。内外面に横位ヘラミガキを丁寧に施す。2は隆帯にキザミ、脇に押引文を施文する。勝坂Ⅱ式。3～5は調査区表土中より出土した遺物である。3は区画内に縦位の沈線を施す。勝

坂Ⅱ式。4はLR縄文を施す。時期不明。5は縦方向の隆帯を2本貼付け、脇に押引文を施文。胎土に多量の金雲母を含む。阿玉台式土器。

第25表 小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (1は試掘調査)	面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.12～18) 19.1.19～一期調査予定	694	資料整理	遺構なし。縄文中期土器片	表X1
2	大井1249-1	(1993.9.21～10.1)	498	個人住宅	遺構なし。縄文中期土器片、石器	表内Ⅲ
3	大井1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	遺構なし。縄文中期土器片、石器	表内Ⅳ
4	大井1189-5	(1997.5.24～26)	271	分譲住宅	土坑1	表内Ⅴ
5	大井字西原1023	(2003.8.18.19) 2003.8.20～9.2	165	個人住宅	縄文中期住居跡1。縄文土器・石器	表内ⅥB
6	大井字小田久保1207-5	(2004.10.26～10.27) 2004.10.28～11.13	306	個人住宅	縄文中期住居跡1。築石土坑1、土坑2、ビット8。縄文土器・石器	表内ⅥB
7	大井字西原1023-9.8	(2006.5.19～21)	333	個人住宅	遺構遺物なし	表内Ⅵ
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3～9)	421	個人住宅	縄文時代土坑5、ビット8。近世以降埋り遺構。縄文土器・石器、瓦葺き	表内Ⅷ
9	大井字小田久保1189-1	(2010.3.9)	536	個人住宅	遺構遺物なし	表内10
10	大井字西原1023-3	(2014.10.7)	317	個人住宅	縄文時代土坑1、縄文土器	表内20
11	大井1985-4	(2015.5.14)	330	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
12	小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	(2015.8.18)	536	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

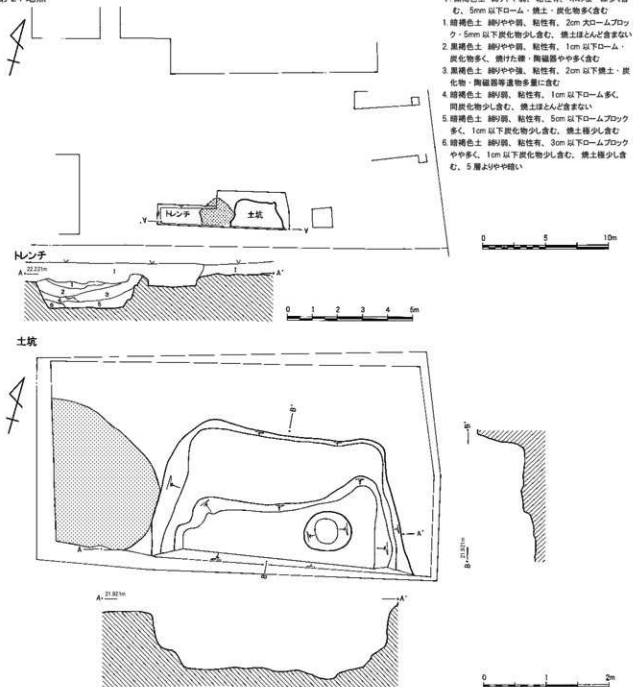
※東：大井町東部遺跡群。町：大井町町内遺跡群。町：大井町史資料編1、調査：大井町遺跡調査会報告。市：ふじみ野市市内遺跡群



第45図 小田久保遺跡第10地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)



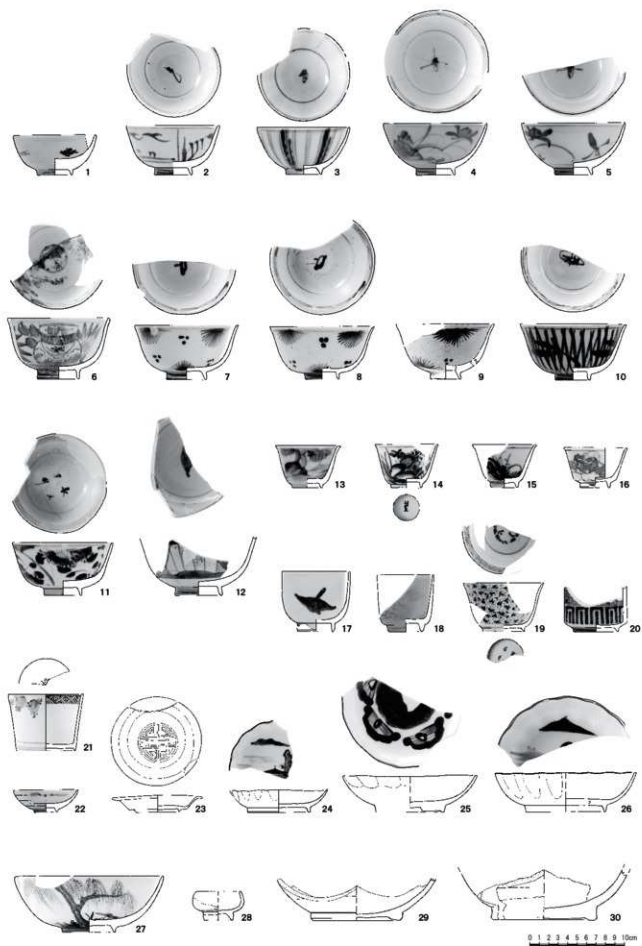
## 第24地点



## 第25地点



第47図 大井氏館跡遺跡第24・25地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑(1/60)



第48図 大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物① (1/4)



協議の結果、遺跡への影響が避けられないため本調査を行った。

本調査は試掘調査に引き続き6月24・25日に行った。土坑が確認された部分を重機で一部拡張した。

## (2) 遺構と遺物

### ①土坑

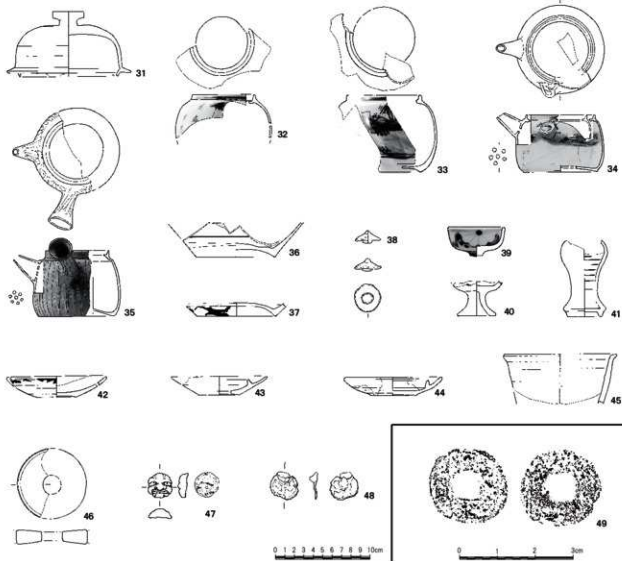
検出された土坑は近代のごみ穴で、調査区南側に位置する。調査区外へ広がるため全容は不明である。今回の調査で検出した遺構の規模は、確認面径392×(205)cm、底径270×(74)cm、深さ112.6cmである。出土遺物については第27表参照。

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は埋蔵文化財包蔵地に該当しないが大井氏館跡遺跡に隣接地のため、申請者と協議の結果、遺跡の広がりを確認するために2014年12月15日に試掘調査を行った。試掘調査は幅約1.5～2mのトレンチ1本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、地表面から約150cmの深さまで盛土されており、遺構・遺物は確認できなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

## Ⅲ 大井氏館跡遺跡第25地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2014年10月25日付で「埋蔵文化財事前協議書」



第49図 大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物② (1/4・1/1)

第27表 大井氏館跡遺跡第24地点出土遺物観察表(単位cm)

出土遺物	種別・形態	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	想定産地	想定年代
1	土坑 磁器/丸瓶	7.8	3.6	4.3	襷輪成形/染付、七宝文、貫付無釉/流石見手	肥前	1800～1860
2	土坑 磁器/丸瓶	9.9	3.8	5.2	襷輪成形/染付、緋・田楽入、見込み「寿」、貫付無釉/流石見手	肥前	1800～1860
3	土坑 磁器/丸瓶	9.8	3.7	5	襷輪成形/コバルト染付、よろけ面文、見込み「寿」、貫付無釉	瀬戸・美濃	1870～
4	土坑 磁器/丸瓶	11	4	5.5	襷輪成形/染付、草花文、内面口縁部緑文、見込み「寿」、貫付無釉	瀬戸・美濃	1800～1860
5	土坑 磁器/丸瓶	10.9	4	5.5	襷輪成形/染付、草花文、内面口縁部緑文、見込み「寿」、貫付無釉	瀬戸・美濃	1800～1860
6	土坑 磁器/壇反碗	10.8	4.3	6.5	襷輪成形/染付素焼、草花・蘭・文・連弁文、内面口縁部赤文、見込み紅梅句文、貫付無釉/襷輪赤	肥前	1800～1860
7	土坑 磁器/壇反碗	11	4	5.8	襷輪成形/染付、草花文、内面口縁部赤文、見込み「寿」、貫付無釉	肥前	1800～1860
8	土坑 磁器/壇反碗	11	3.4	5.6	襷輪成形/染付、草花文、内面口縁部赤文、見込み「寿」、貫付無釉	肥前	1800～1860
9	土坑 磁器/壇反碗	10.4	3	5.9	襷輪成形/染付、草花文、内面口縁部赤文、見込み「寿」、貫付無釉/襷輪	肥前	1800～1860
10	土坑 磁器/壇反碗	11.2	3.6	6.0	襷輪成形/コバルト染付、緋・草文、見込み「寿」、貫付無釉	肥前	1870～
11	土坑 磁器/壇反碗	10.6	3.9	5.6	襷輪成形/コバルト染付、草花文・宝文、内面口縁部赤文?見込み赤文、貫付無釉/襷輪	肥前	1870～
12	土坑 磁器/壇反碗	-	4.9	(6.1)	襷輪成形/染付、見込み赤文?、貫付無釉/襷輪赤	肥前	1800～1860
13	土坑 磁器/小杯	6.9	3	4.5	襷輪成形/染付、山水文、貫付無釉	瀬戸・美濃	1800～1860
14	土坑 磁器/小杯	6.7	3	4.7	襷輪成形/コバルト染付、草花文、高台内「道六」、貫付無釉	瀬戸・美濃	1870～
15	土坑 磁器/小杯	6.5	2.7	4.6	襷輪成形/コバルト染付、草花文、貫付無釉	瀬戸・美濃	1870～
16	土坑 磁器/小杯	6.7	2.9	4.3	襷輪成形/新島紋付、赤文・宝文、貫付無釉	瀬戸・美濃	1800～1820
17	土坑 磁器/湯飲み碗	7.2	3.6	6.4	襷輪成形/染付、魚文?、貫付無釉/襷輪	肥前	1820～1860
18	土坑 磁器/湯飲み碗	6	3.4	6.1	襷輪成形/土粉付(緋・蘭?)、草花文、貫付無釉/襷輪	瀬戸・美濃	1820～1860
19	土坑 磁器/壇反碗	8.5	4.3	5.3	襷輪成形/染付、赤文、内面口縁部四方赤文、見込み紅梅句文、高台内「富貴長春」、貫付無釉	肥前	1800～1860
20	土坑 磁器/平段形碗	-	4.6	(4.8)	襷輪成形/染付、赤草文・連弁文、貫付無釉	肥前	18c後半～19c
21	土坑 磁器/萬壽口	8	6.1	6.1	襷輪成形/染付、和唐文、内面口縁部四方赤、靑/口内赤高台	肥前	1780～1860
22	土坑 磁器/小杯	6.8	2.4	2.4	襷輪成形/染付、貫付無釉	肥前	1800～1860
23	土坑 磁器/小皿	9.5	4.6	1.8	襷輪成形/成形/白磁、見込み寿字印付、貫付無釉	瀬戸・美濃	1800～1860
24	土坑 磁器/梅花小皿	10.3	6.5	2.4	襷輪成形/成形/緑磁、染付、山水文、貫付無釉	肥前	1800～1860
25	土坑 磁器/梅花皿	14.2	7.2	3.9	襷輪成形/成形/緑磁、コバルト染付、若文、貫付無釉、靑/口内赤高台	肥前	1870～
26	土坑 磁器/梅花皿	14.9	8.3	4.2	襷輪成形/成形/緑磁、染付、山水文、貫付無釉、靑/口内赤高台	肥前	1800～1860
27	土坑 陶器/皿	15.8	5.6	5.9	襷輪成形/コバルト染付、緋・寛文、貫付無釉	瀬戸・美濃	1870～
28	土坑 陶器/小杯	4.6	3	3.1	襷輪成形/灰釉、外面髹一高台無釉	瀬戸・美濃	18c後半～19c
29	土坑 陶器/鉢	-	9.1	(4.3)	襷輪成形/鉄絵彩、内外面透明釉、高台部無釉、胎土:赤褐色	-	18c後半～19c
30	土坑 陶器/鉢	-	11.2	(5.4)	襷輪成形/内外面鉄絵、高台部無釉、見込みに目跡	瀬戸・美濃	18c後半～19c
31	土坑 磁器/蓋付き鉢蓋	13.2	3.3	6.9	襷輪成形/口内無釉	肥前	18c後半～19c
32	土坑 磁器/急須	6.7	(4.0)	-	襷輪成形/コバルト染付け、人物、漢詩文、内面口縁部無釉	瀬戸・美濃	1870～
33	土坑 磁器/急須	8	(7.7)	8.2	襷輪成形/コバルト染付け、風景文、内面口縁部、底面無釉	肥前	1870～
34	土坑 陶器/急須	7.4	7.8	6.1	襷輪成形/瀬掛付	常滑	18c
35	土坑 陶器/急須	6.7	7.8	7	襷輪成形/瀬り込み	常滑	19c
36	土坑 陶器/土瓶	-	8.3	(3.7)	襷輪成形/外面白化粧土に透明釉、腹部に緑色の滑釉、内面まげらに透明釉、底面無釉、胎土:赤褐色	益子	19c後半
37	土坑 陶器/土瓶	-	8.4	(1.4)	襷輪成形/外面鉄絵、内面まげらに灰釉、底面無釉・埋付青	瀬戸・美濃?	19c
38	土坑 土製品/蓋	1.3	-	2.8	手づくね/上面に白化粧土	-	-
39	土坑 磁器/仏飯具	6	-	(3.2)	襷輪成形/コバルト染付、半菊文	肥前	1870～
40	土坑 磁器/仏飯具	-	4	(3.7)	襷輪成形/染付、台座入り?込み	瀬戸・美濃	19c後半～
41	土坑 磁器/神納土鍔利	-	3.5	(8.1)	襷輪成形/瀬掛釉、内面、貫付無釉、輪高台/襷輪	肥前	19c
42	土坑 陶器/灯明台	10.6	4	2.2	襷輪成形/内面鉄絵/口縁部無釉、外面にケール付青	信楽	19c後半
43	土坑 陶器/灯明受け皿	10.1	4.2	2	襷輪成形/内面鉄絵	信楽	19c後半
44	土坑 陶器/灯明受け皿	10.4	4.7	1.9	襷輪成形/内外面鉄絵、外面髹一底面無釉、胎土:灰色/切り込み?青	志戸??	19c後半
45	土坑 瓦葺土師/榎木鉢	12	-	(6.4)	襷輪成形	在野??	19c後半
46	土坑 磁器品/PP	7.4	-	1.1	空袋?成形/前半部透明釉・摩滅青、後面無釉・砂付青/襷輪	肥前	1860～
47	土坑 土製品/割子	2.6	2.5	1.0	刀子痕(面形)、モチーフ?透射?/表面に新島紋	在野系	1790～1890
48	土坑 新器品/不明	-	-	-	技術により変形、小石付青	-	-
49	土坑 新器/寛永通寶	(1.3)	(1.9)	-	高透?中央?一辺0.8cm?状態悪く詳細不明	-	1636～

## 第 16 章 本村遺跡の調査

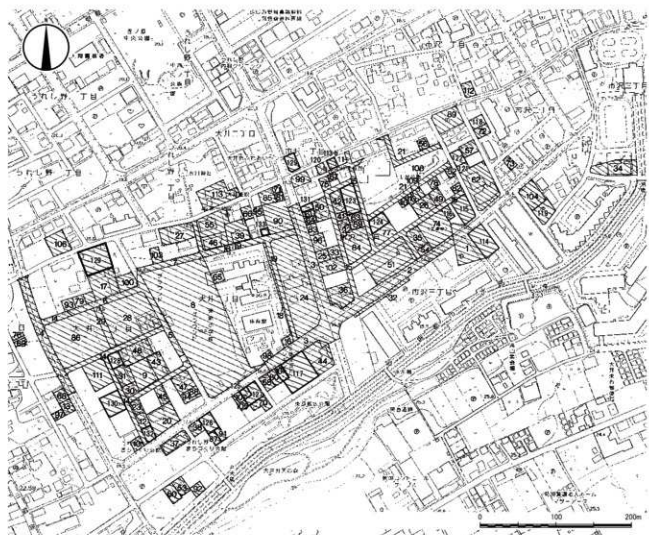
### I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 800 m、砂川堀の左岸で標高 15 ～ 20 m に位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2017 年 4 月現在 133 地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・櫛列・地下式竈・茶毘跡などを多数検出している。



第 50 図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第28表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在名	調査期	面積(m <sup>2</sup> )	調査内容	確認された遺構と遺物	所在名
1	0902-10、0903-1・2 (伊佐内)	1985.8.27-30	2,000	表地調査	遺構確認なし	伊佐内
2	大塚200 (伊佐内)	1987.5.1-12.4	2,500	土坑調査	石土、縄文・鎌倉、遺土層、土坑	大塚200
3	0911、012、2、014、1、05-1.282 (伊佐内)	1988.5-1989.1.13	2,600	土坑調査	縄文・遺土層、土坑、中世・丹波、土坑、遺、鎌倉和建群、地下式坑	大塚212
4	大塚20 (東飯沼)	1979.2.7-6	40	表地調査	遺構確認なし	大塚20
5	大塚20 (東飯沼)	1979.2.9-5	80	表地調査	地下式坑、セッコク	大塚20
6	大塚20 (東飯沼)	1980.12.25-1981.1.15	130	表地調査	地下式坑、セッコク	大塚20
7	大塚190、190、191、192 (東飯沼)	1987.12.8-1988.1.29	1,872	土坑調査	縄文・遺土層、中世・丹波、第六天	大塚190
8	大塚143、144 (東飯沼)	1980.1.13-6	1,600	土坑調査	地下式坑、セッコク、土坑	大塚143
9	大塚140、190、191 (東飯沼)	1980.1.13-6	1,860	土坑調査	石土、縄文、遺、鎌倉和建群、遺土層、中世・丹波、遺	大塚140
10	大塚134の南 (東飯沼)	1980.8.2-31	500	土坑調査	縄文・遺土層、縄文・土坑、遺	大塚134
11	大塚134	1980.8.11-13 1980.9.30-1991.7.11	13,161	小規模グラウンド	縄文・遺土層、中世・土坑、遺、鎌倉和建群	大塚134
12	大塚138	1989.12.4	200	グランドボウ場	遺構確認なし	大塚138
13	大塚121	1989.2.27-9	500	表地調査	縄文・遺土層	大塚121
14	大塚123	1990.2.7-27	370	表地調査	石土層の土坑跡のみ	大塚123
15	大塚40、241.4	1990.5.8-9	340	表地調査	土坑、遺物	大塚40
16	大塚180	1990.7.25-26	420	表地調査	土坑	大塚180
17	大塚151、152、154-157	1990.9.17-10.31	2,180	土坑調査	中世・土坑、遺	大塚151
18	大塚100、106-108、304	1990.10.1-11.30	2,820	土坑調査	丹波、土坑、遺、鎌倉和建群	大塚100
19	大塚102	1990.11.6-13	230	表地調査	丹波、遺	大塚102
20	大塚146、149	1991.7.3-7	1,270	表地調査	石土層、遺物、ブロンズ、縄文・石土、土坑、中世・丹波、縄文、地下式坑、石土	大塚146
21	大塚102	1991.4.3-6.11	252	ファンズ上	石土層、遺物、中世・丹波、地下式坑、土坑	大塚102
22	大塚102	1991.4.3-6.11	1,420	土坑調査	石土層、遺物、中世・丹波、遺、地下式坑、土坑	大塚102
23	大塚253-3	1991.3.21-4.14	1,156	表地調査	丹波、土坑、遺	大塚253
24	大塚13、364	1990.1.17-8.31	1,172	土坑調査	丹波、遺、地下式坑、土坑、絆付	大塚13
25	大塚108、109	1991.7.15-31	1,100	表地調査	縄文・土坑、石土、遺物、石土、土坑、絆付	大塚108
26	大塚109	1991.8.29-30	260	表地調査	遺構確認なし	大塚109
27	大塚102	1992.2.28-7.31	4,640	土坑調査	石土層、遺物、中世・丹波、地下式坑、遺、土坑	大塚102
28	大塚107	1992.2.1	370	表地調査	セッコク	大塚107
29	大塚348、360、3700 遺	1992.10.4-7	570	表地調査	遺構確認なし	大塚348
30	大塚145	1992.10.27	1,000	表地調査	遺構確認なし	大塚145
31	大塚2-2、137、143、150、156、159、370-1	1992.12.1-1993.2.28	4,358	土坑調査	縄文・土坑、中世・丹波、丹波、地下式坑、遺、鎌倉和建群、土坑、遺物、土坑	大塚2
32	大塚150	1993.2.29-3	200	土坑調査	遺構確認なし	大塚150
33	大塚257-1	1994.4.4-12	452	丹波調査	セッコク	大塚257
34	大塚101-9-10	1994.7.28-8.4 1994.8.3-10.31	400	丹波調査	石土層、遺物、縄文・遺土層、土坑、中世・丹波、遺、土坑、絆付、セッコク	大塚101
35	大塚253	1994.8.31-9.2	366	表地調査	遺構確認なし	大塚253
36	大塚253	1994.8.30-9.7	264	表地調査	中世・丹波の跡	大塚253
37	大塚241	1994.1.18-20	600	丹波調査	遺構確認なし	大塚241
38	大塚241	1994.11.22	133	表地調査	遺構確認なし	大塚241
39	大塚25	1994.11.15-11.22 1994.11.29-12.7	614	表地調査	遺物の土坑	大塚25
40	大塚26	1994.11.15-11.22 1994.11.29-12.7	614	表地調査	遺物の土坑	大塚26
41	大塚25-2-3	1995.1.12-10 1995.2.23-3.29	704	表地調査	縄文・土坑、中世・丹波、土坑、遺、土坑	大塚25
42	大塚25	1995.1.12-10 1995.4.10-3.28	1,100	表地調査	縄文・土坑、中世・丹波、遺物、丹波、遺、土坑、遺物、セッコク	大塚25
43	大塚25	1995.6.18-7.17	324	表地調査	縄文・土坑、中世・丹波、遺物、土坑、セッコク	大塚25
44	大塚126	1995.6.1-7.28	744	丹波調査	中世・土坑、セッコク、遺物	大塚126
45	大塚253、255	1995.7.18-20	600	表地調査	土坑	大塚253
46	大塚140	1995.9.18-19 1995.9.30-11.20	1,122	表地調査	中世・丹波、遺、鎌倉和建群、遺、地下式坑、土坑、絆付	大塚140
47	大塚23	1996.1.10-11 1996.1.18-2.3	360	表地調査	中世・丹波、セッコク、遺物	大塚23
48	大塚106	1996.2.20-24	573	表地調査	遺構確認なし	大塚106
49	大塚300、300B	1996.3.1-27 1996.4.3-5.30	3,412	丹波調査	石土層、遺、遺土層、遺土層、中世・丹波、土坑、絆付	大塚300
50	大塚328	1997.4.10-25	140	表地調査	地下式坑、遺、遺物	大塚328
51	大塚245-2、241-1、280-1	1997.4.17-6.20	270	表地調査	遺物、土坑、遺物、遺	大塚245
52	大塚310-1	1997.4.13	200	表地調査	遺物	大塚310
53	大塚25-1、28-2	1996.5.23-30 1996.6.25-7.31	924	丹波調査	石土層、遺物、遺物、中世・丹波、遺物、遺物、セッコク	大塚25
54	大塚302-1	1996.7.18-19 1996.7.24-8.7	183	表地調査	地下式坑(17号)の遺物(地下式坑)	大塚302
55	大塚3331	1996.8.28-29	300	丹波調査	遺構確認なし	大塚3331
56	大塚270、282	1996.12.24-1997.1.10	284	表地調査	土坑	大塚270
57	大塚303	1997.2.12	333	丹波調査	遺構確認なし	大塚303
58	大塚129	1997.6.2-14	320	丹波調査	遺物、セッコク	大塚129
59	大塚76	1997.6.4-14	134	表地調査	丹波	大塚76
60	大塚342	1997.6.30-7.18	391	丹波調査	石土層、遺物、縄文・遺土層、中世・丹波、土坑、遺物、遺物、セッコク、地下式坑、遺、鎌倉和建群、遺物	大塚342
61	大塚380	1998.10.31-11.13	154	表地調査	遺構確認なし	大塚380
62	大塚302-2	1998.10.13-18	134	表地調査	セッコク	大塚302
63	大塚102	1998.3.1-10	291	表地調査	遺構確認なし	大塚102
64	大塚102	1998.3.1-10	291	表地調査	遺構確認なし	大塚102
65	大塚102	1998.3.1-10	291	表地調査	遺構確認なし	大塚102
66	大塚102	1998.3.1-10	291	表地調査	遺構確認なし	大塚102
67	大塚102	1998.3.1-10	291	表地調査	遺構確認なし	大塚102
68	大塚182	1999.4.17-21	302	表地調査	遺土層	大塚182
69	大塚145	1999.8.24	116	表地調査	遺構確認なし	大塚145
70	大塚127	1999.9.4	264	表地調査	縄文・セッコク	大塚127
71	大塚7-3	1999.10.10	116	表地調査	セッコク	大塚7
72	大塚12-12	1999.11.12	210	アスファルト敷き	セッコク	大塚12
73	大塚14	1999.11.12	156	表地調査	遺構確認なし	大塚14
74	大塚108-2-3・6・7	1999.11.1-1912.8-17	1,893	丹波調査	中世・土坑、土坑、セッコク、絆付	大塚108
75	大塚2-1-2	1999.1.18	224	表地調査	遺構確認なし(明治以前に造成された土)	大塚2
76	大塚14-8	1999.1.15-18	118	表地調査	遺構確認なし	大塚14
77	大塚302-38・19	1999.7.27-8.27	538	表地調査	セッコク	大塚302
78	大塚2-6	1999.9.30	158	表地調査	セッコク	大塚2
79	大塚19-9	1999.10.22-20	642	表地調査	セッコク	大塚19
80	大塚11-2	1999.10.20-20	204	表地調査	縄文・セッコク	大塚11
81	大塚7-3	1999.1.18	117	表地調査	セッコク	大塚7
82	大塚2-6	1999.1.29-10	173	表地調査	遺構確認なし	大塚2
83	大塚2-6	1999.1.29-13	181	表地調査	遺構確認なし	大塚2
84	大塚2-7	1999.1.24-2000.1.31 2000.2-3.6	1,310	丹波調査	縄文・遺土層、中世・丹波、遺物、遺物、遺物、土坑、遺、遺物	大塚2
85	大塚2-7	2000.1.6	400	表地調査	遺構確認なし	大塚2
86	大塚19-1・4・14	2000.4.19-5.13	5,745	表地調査	丹波、土坑、中世・丹波、遺物、遺物、遺物、遺物、地下式坑、丹波、遺物、土坑	大塚19
87	大塚102	2000.5.1-6.20	165	表地調査	石土層、遺物、セッコク	大塚102
88	大塚17-6	2000.7.7-7.30	354	表地調査	遺構確認なし	大塚17
89	大塚11-1-3	2000.7.19-8.17	320	丹波調査	縄文・遺土層、丹波	大塚11
90	大塚7-4-5	2000.8.1-9.23	540	表地調査	縄文・遺物、遺物	大塚7
91	大塚102	2000.9.25-27	37	表地調査	石土層	大塚102
92	大塚14-11	2000.10.10	25	表地調査	石土層	大塚14

地点	所在地	調査期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査内容	確認された遺構と遺物	報告書
93	大月2-10-9	(2001.1.16~21)	263	土層調査	ピット	新内西
94	大月2-10-6	(2001.2.17~19)(2001.2.20~24)	87	個人宅	中層・土層、土坑、ピット3、遺構・遺物	新内西
95	大月2-10	(2001.3.6~9)	41	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
96	大月2-8-5	(2001.7.10~13)	99	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
97	大月2-11	(2001.7.11~12)	41	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
98	大月2-9-3	(2001.12.17~18)	17	学童保育所	土坑	新内西
99	大月2-1	(2002.6.19~21)(7.1~3)	300	月岡住宅	土層・土坑、中層・土坑4、遺物1	大月3・新内西
100	大月2-20-7	(2002.8.20~26)	463	分譲宅	遺構・遺物なし	新内西
101	大月2-11-3	(2002.9.30~10.4)	217	分譲住宅	遺構	新内西
102	大月2-6	(2002.11.11~12)(2002.12.11~20)(2002.2.10)	1,264	月岡住宅	縄文・土坑5、土坑6、土坑7、土坑8、土坑9、土坑10、遺物1	大月3
103	大月13	(2002.1.19~18)	227	個人宅	土坑、ピット1	新内西
104	大月2-4-1	(2002.5.14~30)	804	月岡住宅	縄文・土坑4、中層・土坑5、遺物1	新内西
105	大月2-12-4	(2002.6.4~6)	131	個人宅	土坑1	新内西
106	大月2-11	(2002.7.2~6)	135	分譲宅	遺構・遺物なし	新内西
107	大月2-12-4	(2002.7.28~5)	120	個人宅	土坑、土坑1、ピット1	新内西
108	大月2-25	(2002.7.17~23)	169	個人宅	ピット1	新内西
109	大月2-6-20	(2002.7.17~23)	114	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
110	大月2-6-27	(2002.10.16~18)	101	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
111	大月2-16-2	(2003.11.21~12.1)	1,033	分譲宅	縄文・土坑1、土坑2、中層・土坑1、土坑2、土坑3、土坑4、土坑5、土坑6、土坑7、土坑8、土坑9、土坑10、遺物1	大月3
112	大月2-17-10	(2004.7.27)	269	分譲宅	遺構・遺物なし	新内西
113	大月2-4-8	(2005.8.22)	1,051	分譲住宅	遺構・遺物なし	新内西
113a	大月2-3	(2005.9.9~10)	27	個人宅	中層の一部分	新内西
114	大月2-1-12	(2005.10.21~28)	129	分譲宅	遺構・遺物なし	新内西
115	大月2-10-6	(2005.11.21~23)(2005.12.19~20)(2006.1.31)	170	分譲宅	中層・土坑1、土坑2、土坑3、土坑4、土坑5、土坑6、土坑7、土坑8、土坑9、土坑10、遺物1	新内西
116	大月2-10-10-部	(2006.1.7)	9	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
117	大月2-11-4-6	(2006.3.22~4.14)	1,487	分譲	土層、土坑、遺物	新内西
118	大月2-12-13	(2006.5.24~25)(5.25)	80	個人宅	縄文・土坑1、土坑2	新内西
119	大月2-4-24	(2006.5.27~6.16)(4~25)	559	月岡住宅	中層・土坑1、土坑2、ピット5	新内西・6
120	大月2-2	(2006.12.10)	141	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
121	大月2-11-8	(2006.12.22)	120	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
122	大月2-11-9-20・27	(2006.5.27~6.3)	301	宅間庭	中層・土坑1	新内西
123	大月2-7	(2007.7.5~8)	630	宅間庭(6棟)	遺構・遺物なし	新内西
124	大月2-6-1	(2007.8.7~12)(2010.7.12)	428	宅間庭(3棟)	中層・土坑1	新内西
125	大月2-12-17	(2007.8.10)	143	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
126	大月2-12-2	(2007.10.4~6)	611	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
127	大月2-12-5-16・18	(2007.11.4~8)	417	分譲宅	遺構・遺物なし	新内西
128	大月2-10-1	(2008.11.17~27)	327	分譲宅	中層・土坑1、土坑2、土坑3	新内西
129	大月2-11-8	(2014.8.28)	262	個人宅	遺構・遺物なし	新内西
129	大月2-10-4	(2015.11.5~14)	1,254	宅間庭	遺構・遺物なし	新内西
130	大月2-10-17	(2015.11.18~20)	726	分譲宅	縄文・土坑1、土坑2、土坑3、土坑4、土坑5、土坑6、土坑7、土坑8、土坑9、土坑10、遺物1	新内西
131	大月2-6-2	(2016.3.4~8)	135	月岡住宅	遺構・遺物なし	新内西
132	大月2-17-9	(2016.8.4~5)	212	分譲宅	土坑1、遺物	新内西
133	大月2-7-6	(2016.10.11)	108	専用住宅	ピット3、遺物なし	新内西

大月3・大月町遺跡調査会、大月・大月町史料、東郷、新築遺跡群、町内・町内遺跡群、市内・市内遺跡群

## II 本村遺跡第 128 地点

### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置する。申請者との協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 11 月 17～27 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、中近世以降の井戸 1 基、ピット 9 基、溝 2 本、用水路跡を確認した。出土遺物は少ない。現地表面から地山ロームまでの深さは約 70～100cm で、30cm の保護層が確保できることから工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の調査は行っていない。

### (2) 遺構と遺物

#### ① 井戸

井戸は調査区南部、トレンチ 3 で確認された。トレンチ内での確認のため平面形態は不明。確認面積は 332 × (134) cm である。

#### ② ピット

ピット 1・2 は調査区北東部トレンチ 4 で、ピット 3～6 は調査区中央部西寄りトレンチ 2 で、ピット 7～9 は調査区中央部東寄りトレンチ 3 でそれぞれ確認した。規模は第 29 表参照。

#### ③ 溝

溝 1 は調査区北東部のトレンチ 3 からトレンチ 4 にかけて、溝 2 は調査区中央部トレンチ 2～4 にかけてそれぞれ確認した。いずれも用水路跡を挟むようにして北側に溝 1 が、南側に溝 2 が並行するように走行する。それぞれの規模は、溝 1 が上幅 40～47cm、下幅 19～22cm、深さ 5.1cm、溝 2 は上幅 45～46cm、下幅 27～28cm、深さ 5.1cm である。

第 29 表 本村遺跡第 128 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面積	縦径	深さ	備考
1	不明	(30) × (21)	7 × (5)	12.6	
2	円形	37 × 32	20 × 14	1.5	
3	円形	35 × 33	12 × 11	29.4	
4	方形	20 × 19	15 × 11	15.6	
5	円形	27 × 25	13 × 11	37.7	
6	円形	27 × 25	16 × 15	22.8	
7	方形	30 × 25	11 × 9	9.4	
8	円形	29 × 25	12 × 10	30.9	
9	楕円形	30 × 23	23 × 16	22.3	







## 第17章 西台遺跡の調査

## I 遺跡の立地と環境

西台遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.5km、砂川堀の右岸で標高26～30mの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約7～8mで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西340m、南北110m、遺跡面積約50,000㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に縄文時代の遺跡である小田久保遺跡、同一崖線上の下流へ向かって大井戸上遺跡、東台遺跡と続く。

本遺跡は1992年の初調査以来、2017年4月現在9地点で試掘調査が行われている。1994年に行った第2地点の試掘調査では旧石器時代の礫群と石器群を広い範囲に確認した。また、第3地点では木炭窯を検出し、東台遺跡との関連が目玉される。

## II 西台遺跡第9地点

## (1) 調査の概要

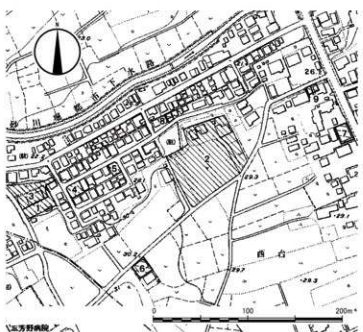
調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より2014年9月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年10月10日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。遺構・遺物が確認できなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

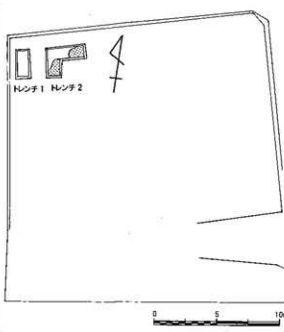
第30表 西台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査時期(1は試掘調査)	面積(㎡)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井戸4-2	(1991.7.24～25)	1,600	資料整理	遺構遺物なし	有り
2	大井戸7-1-2	(1994.4.4～12)	6,149	遺構掘削調査	旧石器時代礫群、縄文時代集石土坑	和文Ⅱ
3	大井戸西台925-1	(2003.6.16～30)	137	個人住宅	木炭窯1、ビッド物	和文Ⅱ
	144		個人住宅	遺構遺物なし		
	141		個人住宅	遺構遺物なし		
4	大井戸西台894-14、911-96	(2004.1.15～16)	164	個人住宅	遺構遺物なし	和文Ⅱ
5	大井戸西台911-93	(2004. 8.17)	139	個人住宅	ビッド物の遺構確認	和文Ⅱ
6	大井戸西台888-5	(2005.6.24～26)	98(283)	分譲住宅	遺構遺物なし	書式
7	大井戸西台854-1の一画	(2006.3.5)	7(246.2)	個人住宅兼店舗	遺構遺物なし	書Ⅱ
8	大井戸西台909-5	(2012.5.31)	65.3	個人住宅	遺構遺物なし	書Ⅱ
9	大井戸西台856-4	(2014.10.10)	46	道路拡幅	遺構遺物なし	書Ⅱ

※和文：大井戸町内調査誌、書：ふじみ野市市内調査誌



第53図 西台遺跡の地形と調査区(1/4,000)



第54図 西台遺跡第9地点調査区地図(1/300)



## 第18章 東台遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24～26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

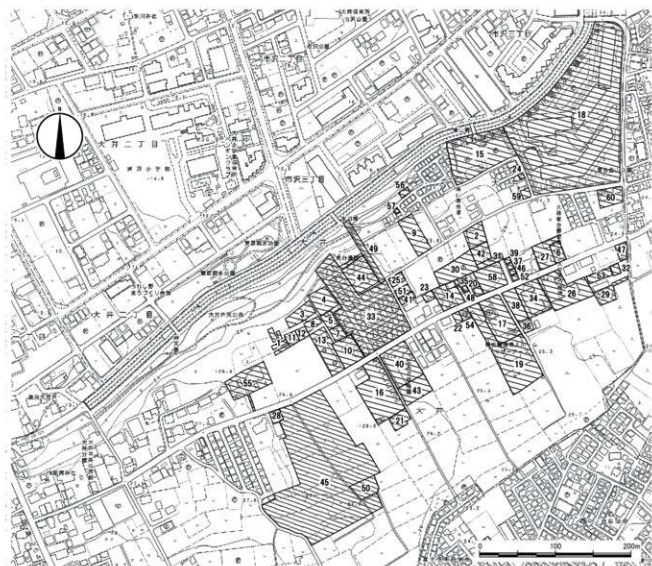
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700m、南北250m、遺跡面積約170,000㎡、市内で最大規模の遺跡であり、約17%の30,000㎡を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で8世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第55図 東台遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第31表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は調査報告	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	調査報告書
1	大井遺台	1981		町史編纂	遺構なし、縄文中期土器	
2	大井遺台6640-4	1981.12.14～1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡1、石臼跡時代石器	第1報
3	大井遺台672	1982.5.19～6.15	666	宅地造成	伊7、土坑2、柱穴跡	第2報
4	大井遺台671	1982.6.17～11.18	587	農地転用	石臼基コニーク、縄文中期住居跡3、後期住居跡1、集石4、土坑14、溝	第3報
5	大井遺台	1983.7.25～8.9	195	町史編纂	縄文中期住居跡2、土坑1	東台遺跡
6	大井遺台	1984.1.9～1.12		宅地造成	縄文中期住居跡1	
7	大井遺台670-2	1984.5.15～6.13		民営住宅	縄文中期住居跡4、後期住居跡1	
8	大井遺台672	1984.8.19～9.21	345	町史編纂	縄文中期住居跡1、伊72、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井遺台	1984.10.25～1985.2.15	1,000	駐車場	石臼跡群、縄文中期住居跡22、後期住居跡1、伊71、ビット郡	町史1
10	大井遺台670-1	1985.10.1～11.25	896	住宅	縄文中期住居跡5、土坑5	第4報
11	大井遺台673	1986.1.14～3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡2、集石土坑3、土坑1、ビット	第5報
12	大井遺台677	1987.5.6～6.26	330	宅地造成	縄文中期住居跡1、土坑18、平安時代住居跡2、溝1	第6報
13	大井遺台670-6	1988.1.14～2.27	971	倉庫	縄文中期住居跡1、集石1、土坑9、ビット20	第7報
14	大井遺台649-16他	1988.1.27～2.24	735	住宅	縄文中期住居跡12、厨下埋土、集石土坑3、土坑1、土坑、ビット38	第8報
15	大井遺台377-1他	(1989.10.17～11.10) 1989.11.17～1990.8.1	700	住宅	溝と土坑1、木炭灰1、粘土層跡2、奈良平安土器	第9報
16	大井713-4・5	(1990.8.1～4)	3,048	森林整備	縄文中期住居跡1、土坑1	第9報Ⅰ
17	大井621-1	(1990.9.5～12) 1990.10.9～12.27	1,470	跡地整備	縄文中期住居跡1、土坑30、ビット94、溝1	第9報Ⅱ
18	大井529-1、588	(1991.3.11～3.20) 1992.2.24～1994.7.5	20,000	共同住宅	石臼跡群、石炭灰17、溝と土坑1、埋土層跡7、木炭灰1、埋土層跡4、土坑3、溝、溝跡、遺跡跡、平安土器	東台遺跡調査
19	大井621	(1992.5.31～6.7)	4,480	警察署建設	縄文中期住居跡8	町史1
20	大井649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡1	町史Ⅱ
21	大井713-11・12	1992.3.7～11	299	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町史Ⅲ
22	大井651-6	(1994.5.10～11) 1994.5.30～7.30	146	店舗	縄文中期住居跡6、土坑1	調査13報
23	大井649-12・13	(1995.6.23～27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡2	町史Ⅳ
24	大井634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町史Ⅴ
25	大井648-13・14	1995.10.22～12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡5、後期住居跡1、雲母土坑1、土坑10、ビット6	町史Ⅵ
26	大井遺台601-1・4・5	(1996.11.6～18) 1997.1.14～3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、溝と土坑1、ビット24	調査15報
27	大井600-1	(1997.2.10) 1997.2.19～3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡1、伊71、土坑1、溝と土坑1、ビット44	町史Ⅶ
28	大井遺台710-4	(1997.3.17～19)	251	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町史Ⅷ
29	大井遺台606-3	(1998.2.27～3.3) 1998.3.4・5	500	個人住宅	縄文早期伊738、ビット2	町史Ⅷ
30	大井640-1	(1998.11.4～12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡1、厨下跡、ビット	町史Ⅷ
31	大井630-3、640-8	(1999.5.7～21)	186	道路構造	縄文中期住居跡2	町史Ⅷ
32	大井603-1	(2000.8.4～9)	92	製紙工場	ビット3	町史Ⅷ
33	大井662-1	(2000.8.4～8) 2000.8.15～2001.1.25	7,074	分譲住宅	石炭灰4、溝跡4、縄文中期住居跡30、後期住居跡4、竊占柱遺跡跡1、伊714、集石土坑4、他	町史Ⅷ
34	大井遺台624-2	(2002.3.12～25) 2002.3.26～5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡5、土坑11、ビット16	町史Ⅷ
35	大井遺台649-31	(2001.9.6～8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡1	町史Ⅷ
36	大井遺台614	(2001.10.15～11.2)	272	倉庫	ビット5、土器片	町史Ⅷ
37	大井遺台629-12	2001.10.12～11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、ビット1	町史Ⅷ
38	大井遺台614-3	(2002.1.28～2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡1、竊占柱遺跡1、集石土坑2、土坑2、ビット2	町史Ⅷ
39	大井626-8	(2002.6.3～20)	100	個人住宅	ビット3、縄文土器片、石屑	町史Ⅷ
40	大井661	(2003.10.6～11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ビット10、溝1	町史Ⅷ
41	大井遺台649-4	(2004.5.11～14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡3、集石1、土坑1、厨下ビット1	町史Ⅷ
42	大井640-7	(2004.9.7～17)	515	倉庫	縄文中期住居跡2、溝と土坑1、土坑3、ビット20	町史Ⅷ
43	大井遺台661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ビット4	町史Ⅷ
44	大井遺台664-15	2005.1.28～2.8	200	個人住宅	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ビット9	他2
45	大井遺台710-1、711-1、717-1・2	(2006.5.31～9.1) 2006.9.8～2007.3.7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ビット10	他3
46	大井遺台626-11	(2006.9.4～6) 2006.9.15～28	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石2、土坑1	他3
47	大井遺台602-4・5	(2006.9.19～20)	320	個人住宅	遺構遺物なし	他3
48	大井遺台649-21	(2007.1.16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡3	他3
49	大井遺台666、647-1、665	(2008.1.28～3.30、2.4～19) 2008.1.31～2.1	174	東台小学校運動学道場	縄文時代中期～後期住居跡1埋土4層を破壊、原厚埋土、粘土層跡1、土坑1、ビット1、溝1	他4
50	大井遺台716-1の9部	2008.7.14～22	646	東台小学校プール	遺構遺物なし	他6
51	大井遺台648-2	(2009.3.10～18) 2009.3.19～5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡6、土坑4、ビット14、縄文土器、石屑	他6
52	大井遺台626-8・14	2009.5.12～19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡2埋土	他8
53	大井遺台603-1	(2011.8.8～18)	1,251	工場	伊71、縄文土器	他14
54	大井遺台651-6・13・14	(2011.9.5～12)	309.3	店舗	縄文時代住居跡1、縄文土器	他14
55	大井遺台694-2・3	(2011.9.20～22)	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	他14
56	大井遺台字西野296-4	(2012.1.11)	59.8	分譲住宅	遺構遺物なし	他14
57	大井遺台644-90の一部	(2013.4.5～10)	31	個人住宅	遺構遺物なし	他18
58	大井遺台623-1	(2014.7.1～8.4)	1,175.47	店舗	縄文時代住居跡15、土坑3、縄文土器、石屑	他20
59	大井遺台633-6	(2014.7.15)	146	個人住宅	遺構なし、土器片	他20
60	大井597	(2015.7.7)	688	個人住宅	遺構遺物なし	他報告

※東：大井町東部調査報告、西：大井町町内調査報告、町史：大井町史資料編1、調査報告書：大井町遺跡調査報告書、市：ふじのくに市町内調査報告



第 56 図 東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)



調査区	調査期	平面形 (1/300)	掘削	B1			備考	時期	土層
				掘削	埋没	石割			
173	11/10	不明	不明				本橋点		
174	11/10	不明	不明				本橋点		
175	11/10	不明	不明				本橋点		
176	11/10	不明	不明				本橋点		
177	掘削区	330×480×27	不明	○			本橋点		
178	10/26	不明	不明				本橋点		
179	10/26	不明	不明				本橋点		
180	掘削区	482×448×43	不明	○			本橋点		
181	10/26	不明	不明				本橋点		
182	11/10	不明	不明				本橋点		
183	11/10	不明	不明				本橋点		
184									
185	不明	440×130	不明				本橋点		
186	不明	475×130	不明				本橋点		

調査区	調査期	平面形 (1/300)	掘削	B1			備考	時期	土層
				掘削	埋没	石割			
187	不明	1380×130	不明				本橋点		
188	不明	1250×140	不明				本橋点		
189	不明	1305×140	不明				本橋点		
190	不明	1310×430	不明				本橋点		
191	不明	1330×480	不明				本橋点		
192	不明	305×130	不明				本橋点		
193	不明	不明	不明				本橋点		
194	不明	1300×130	不明				本橋点		
195	不明	1440×140	不明				本橋点		
196	不明	1570×550	不明				本橋点		
197	不明	1340×130	不明				本橋点		
198	不明	1300×130	不明				本橋点		
199	不明	305×130	不明				本橋点		
200	不明	不明	不明				本橋点		

## II 東台遺跡第 58 地点

### (1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より 2014 年 5 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部東寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 7 月 1 日～8 月 4 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1m のトレンチ 11 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

試掘調査の結果、縄文時代の住居跡 15 軒と土坑 3 基を確認した。遺構確認面までの深さは 100～120cm で、30 cm 以上の保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

### (2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代の住居跡と土坑のプランのみを確認し、その際に出土した遺物を第 59～61 図及び観察表を第 33 表に掲載した。

#### ① 住居跡

住居跡は少なくとも 15 軒以上が存在するとみられる。検出は行っていない。プランの規模を第 32 表に掲載する。

#### ② 土坑

今回確認した土坑 3 基も検出は行っていない。

【土坑 1】トレンチ 3 南側で確認した。平面形態は不明。プランの規模は 158 × (108) cm である。

【土坑 2】調査区北西端、トレンチ 8 北側で確認した。平面形態は不明。プランの規模は 130 × (124) cm である。

【土坑 3】調査区北西端、トレンチ 9 で確認した。平面形態は円形で、プランの規模は 98 × 96 cm である。

## III 東台遺跡第 59 地点

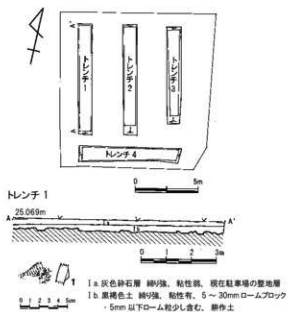
### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、2014 年 6 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。

申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 7 月 15 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1m のトレンチを 4 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは 40～50 cm である。

試掘の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の調査は行っていない。

表土中より縄文土器片が 1 点出土した。隆帯胎に押引文を施す。勝版 II 式。



第 57 図 東台遺跡第 59 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)



185号住居跡



186号住居跡



187号住居跡



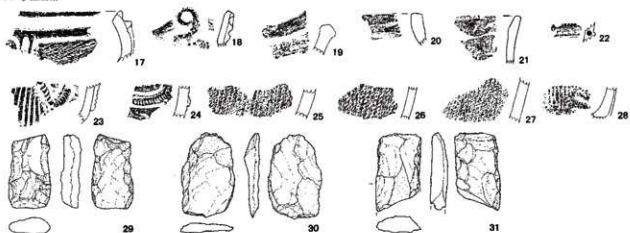
188号住居跡



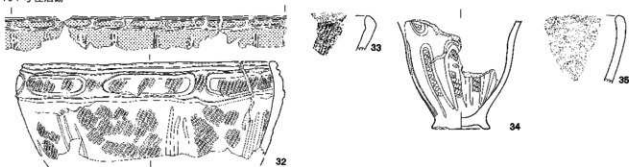
189号住居跡



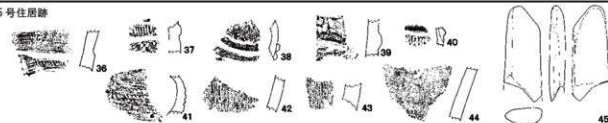
190号住居跡



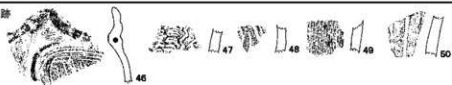
194号住居跡



195号住居跡



196号住居跡

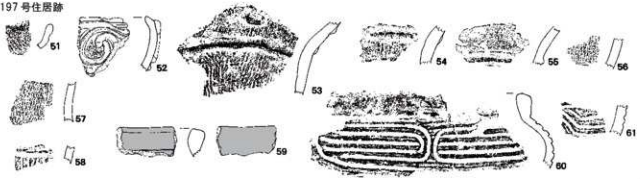


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

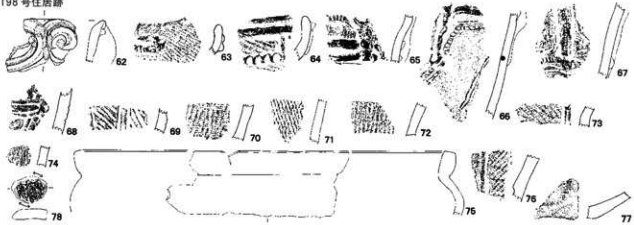
第59図 東台遺跡第58地点出土遺物① (1/4)



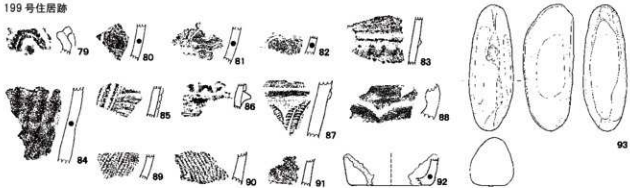
197号住居跡



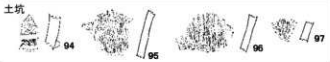
198号住居跡



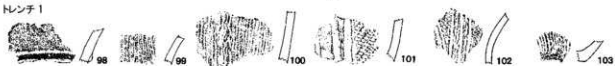
199号住居跡



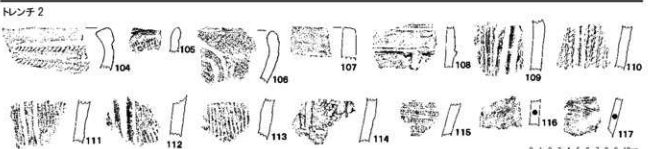
土坑



トレンチ 1



トレンチ 2



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第60図 東台遺跡第58地点出土遺物② (1/4)



## トレンチ 3



## トレンチ 4



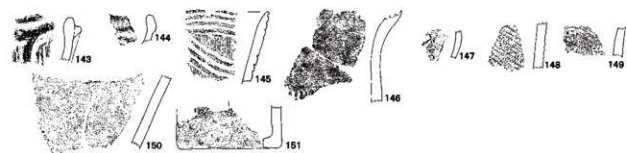
## トレンチ 5



## トレンチ 6



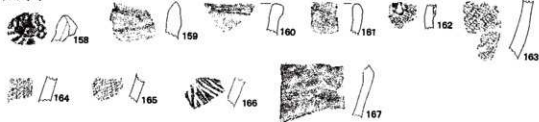
## トレンチ 7



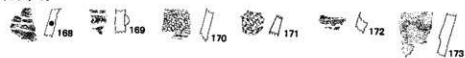
## トレンチ 8



## トレンチ 9



## トレンチ 10



## 遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm





## 第19章 まとめ

2014（平成26）年度は試掘調査が46件、うち本調査となったものが12件であった。その内ハケ遺跡第16地点以外の6件は既に『市内遺跡群16』として報告済みであり、ハケ遺跡第16地点は『市内遺跡群21』の中で報告予定であるため割愛する。よって今回は上記以外の地点について時代ごとに概観する。

### 【縄文時代】

縄文時代の遺構としてはまず北野遺跡第28地点が挙げられる。今回の調査では集石土坑1基を検出した。溝に埋されているため全容は把握できないが、集石土坑中から出土した縄文土器片には前期の諸儀式が含まれるため、おおそ中期以降と推定できよう。同じ北野遺跡では、第28地点より西に約250mの第18地点では縄文時代中期後半の竪穴住居跡、さらに西へ150m程行った第33地点では集石土坑5基を検出したところ、縄文時代中期前半を示す結果が出ている。これらの遺跡はいずれも藤間江川に面する台地の縁辺に展開する。これまでの調査では明らかにならなかった当時の人々の痕跡が、ここ数年で少しずつではあるが発見されている。今後の調査での資料増加に期待したい。

また西ノ原遺跡第160、161地点では土坑1基と縄文時代中期の住居跡2軒を検出した。第161地点で調査した第50号住居跡は、1992（平成2）年の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う調査で大部分が調査済みであったが、今回の調査で住居跡の全容を把握することとなった。また、新たに第211号住居跡を検出した。確認面から床面までが16cmと非常に浅く残存状況は決して良くないが、埋裏炉が僅かながら残存していた。炉体土器は勝板Ⅲ式と考えられ、他の出土遺物を踏まえると第211号住居は中期後半に位置付けられよう。西ノ原遺跡でも最盛期直前の住居跡と考えられる。今回の調査では2軒の住居跡と土坑1基を検出したが、西ノ原遺跡における縄文時代中期の大集落解明の一助とならう。

その他に長宮遺跡第49地点では炉跡5基、東台遺跡第58地点では縄文時代住居跡を少なくとも15軒確認した。東台遺跡も西ノ原遺跡と同様縄文時代中期の大集落であるが、さらに広がる可能性を示唆して

いる。

### 【古代】

古代の遺跡としては滝遺跡第24地点がある。土坑2基とピット1基のみの検出だが、土坑1の覆土中から須恵器環、土師器環、羽口の破片が出土した。須恵器環はいずれも底部回転系切り後、回転へら削り調整を施す点で共通する。口径が15cm前後のもの13cm前後のものに分けられる。いずれも胎土に海綿状骨針を含んでおり、南比企産と推定される。土師器は2点出土しており、1点は内面と外面口縁部に赤彩を施す。須恵器、土師器ともに8世紀前半～中葉に属するものと思われる。羽口はどちらも小鍛冶用の体部と先端部の破片である。先端部は内外面ともに発泡し、被熱している。今回の調査地点より約40m北側の第21地点では、H31B号住居跡で鍛冶炉を確認している。出土土器から8世紀中葉頃と考えられ、今回の土坑1出土遺物の時期と概ね一致する。今回出土した羽口片は第21地点の鍛冶炉に関連するものと想定できる。ふじみ野市内における古代の製鉄遺跡は滝遺跡第21地点の他に、8世紀後半の松山遺跡第49地点H36号住居跡、8世紀後半から9世紀初頭にかけての大規模製鉄遺跡である東台製鉄遺跡、9世紀代の川崎遺跡、権現山遺跡で確認されている。東台製鉄遺跡以外は滝遺跡第21地点も含めていずれも一般の住居内における小鍛冶の痕跡が認められるものである。今後の調査事例の増加によって、古代製鉄関連遺跡がより明らかになることに期待する。

### 【近世・近代】

大井氏館跡遺跡第24地点では土坑1から多量の陶磁器片が出土した。時期は概ね19世紀後半に中心があり、川越街道大井宿の最盛期に合致する。同様の土坑は大井氏館跡遺跡第10、11、23地点や隣接する大井宿遺跡第9、11地点等で確認されている。今回遺物が出土した土層は、焼土と炭化物が多く含まれており、大井氏館跡遺跡第23地点土坑10、大井宿遺跡第9地点土坑8、9と共通する。いずれも明治期に大井宿で起きた3度の大火の後片づけで生じたゴミを捨てた廃棄土坑と指摘されている。今回の調査で検出した土坑も同様であると考えられる。

ハケ遺跡第17地点でも大井氏館跡遺跡第24地点同様にゴミ穴を検出した。時期は概ね1900年台前半を中心とする近代のゴミ穴であるが、一部近世に属するものも含まれる。掲載遺物の中ではガラス製品が大半を占める。染料・食品・化粧品等いずれも一般家庭で使用されていた日用品の類であるが、中には旧川越製造所（旧火工廠）に関連するものも出土している。特に第11図7～11は旧火工廠の会食所（食堂）で使用されていた食器類である。これらは終戦時に払下品として譲り受けたものを最終的に廃棄したものであろう。火工廠跡に関しては近年、隣接するハケ遺跡内の開発増加もあって周辺遺跡の調査により、今後明らかになっていく可能性も考えられよう。

#### 〈参考文献〉

- ・上福岡市教育委員会 1998 『市史調査報告書第15集 旧陸軍造兵廠福岡工場（川越製造所）』
- ・上福岡市教育委員会、上福岡市史編集委員会 1999 『上福岡市史 資料編第1巻 自然史・考古』
- ・大井町教育委員会、大井町遺跡調査会 2005 『東台製鉄遺跡 一東台遺跡Ⅳ（第15・18地点）一』
- ・大井町遺跡調査会 2009 『中沢前遺跡Ⅰ・本村遺跡Ⅴ・大井宿遺跡Ⅰ』



北野遺跡第 27 地点調査風景



北野遺跡第 27 地点トレンチ 2



北野遺跡第 28 地点調査風景



北野遺跡第 28 地点トレンチ 3 溝



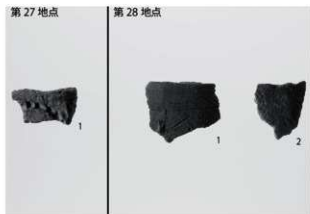
北野遺跡第 28 地点トレンチ 3 溝



北野遺跡第 28 地点集石土坑礫出土状況



北野遺跡第 28 地点集石土坑完掘



北野遺跡第 27・28 地点出土遺物



北野遺跡第 29 地点調査風景



北野遺跡第 29 地点調査風景



北野遺跡第 29 地点トレンチ 2



北野遺跡第 29 地点土坑



北野遺跡第 30 地点調査風景



北野遺跡第 30 地点溝



北野遺跡第 30 地点溝土層



北野遺跡第 30 地点調査風景





川崎遺跡第 41 地点調査風景



川崎遺跡第 41 地点トレンチ 1



ハケ遺跡第 15 地点調査風景



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点出土遺物



ハケ遺跡第 17 地点調査風景



ハケ遺跡第 17 地点トレンチ 2

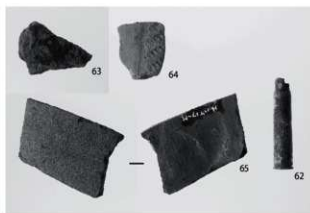




ハケ遺跡第17地点ゴミ穴



ハケ遺跡第17地点溝



ハケ遺跡第17地点出土遺物



滝遺跡第24地点調査風景



滝遺跡第24地点土坑1遺物出土状況



滝遺跡第24地点土坑1遺物出土状況



滝遺跡第24地点土坑1



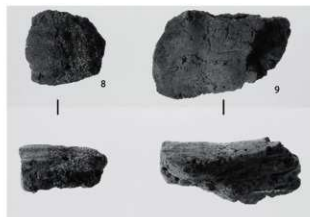
滝遺跡第24地点土坑2



滝遺跡第24地点ピット1・2



滝遺跡第24地点出土遺物



滝遺跡第 24 地点出土遺物



長宮遺跡第 48 地点調査風景



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 4 溝



長宮遺跡第 49 地点調査風景



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1～3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1～3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4・5



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4・5



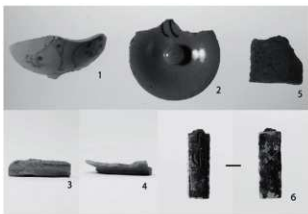
長宮遺跡第 50 地点調査前全景



長宮遺跡第 50 地点トレンチ 4



長宮遺跡第 50 地点調査風景



長宮遺跡第 50 地点出土遺物



亀居遺跡第 73 地点調査風景



亀居遺跡第 73 地点トレンチ 1



亀居遺跡第 73 地点トレンチ 2



亀居遺跡第 73 地点調査風景



亀居遺跡第74地点調査風景



亀居遺跡第74地点トレンチ1



亀居遺跡第74地点トレンチ3



亀居遺跡第74地点トレンチ4



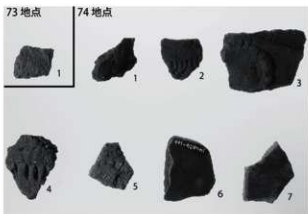
亀居遺跡第74地点土坑



亀居遺跡第74地点調査風景



亀居遺跡第74地点調査風景



亀居遺跡第73・74地点出土遺物





鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査風景



鶴ヶ舞遺跡第 22 地点トレンチ 2



鶴ヶ舞遺跡第 22 地点調査風景



松山遺跡第 78 地点調査風景



松山遺跡第 78 地点トレンチ 1



松山遺跡第 78 地点トレンチ 3



松山遺跡第 79 地点調査風景



松山遺跡第 79 地点トレンチ 1



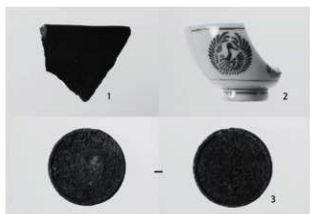
松山遺跡第 80 地点調査風景



松山遺跡第 80 地点トレンチ 2



松山遺跡第 80 地点トレンチ 3



松山遺跡第 80 地点出土遺物



松山遺跡第 81 地点調査風景



松山遺跡第 81 地点トレンチ 1



松山遺跡第 80 地点トレンチ 1 溝



松山遺跡第 80 地点トレンチ 3





江川東遺跡第 22 地点調査風景



江川東遺跡第 22 地点トレンチ 2



江川東遺跡第 23 地点調査風景



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 1



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 2



江川東遺跡第 23 地点出土遺物



東中学校西遺跡第 35 地点調査風景



東中学校西遺跡第 35 地点トレンチ 1



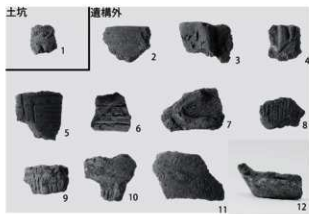
西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点土坑



西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 161 地点調査風景



西ノ原遺跡第 161 地点トレンチ 2



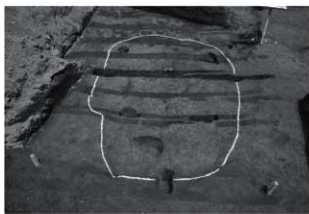
西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号炉体



西ノ原遺跡第 161 地点溝

211 号住居跡



7 炉体



211 号住居跡



8



遺横外





西ノ原遺跡第 162 地点調査風景



西ノ原遺跡第 162 地点トレンチ 4



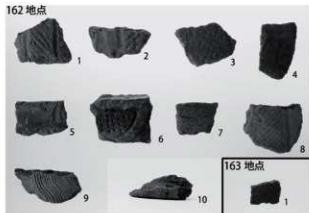
西ノ原遺跡第 162 地点トレンチ 5



西ノ原遺跡第 162 地点溝



西ノ原遺跡第 162 地点調査前全景



西ノ原遺跡第 162・163 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 163 地点調査風景



西ノ原遺跡第 163 地点トレンチ 1



西ノ原遺跡第 163 地点トレンチ



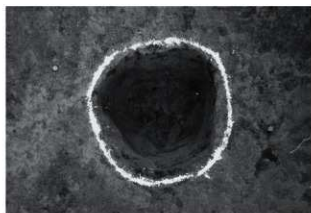
西ノ原遺跡第 163 地点



神明後遺跡第 52 地点調査風景



神明後遺跡第 52 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 52 地点ビット



神明後遺跡第 52 地点出土遺物



神明後遺跡第 53 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 53 地点調査風景



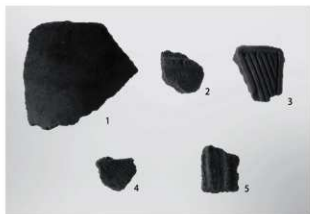
小田久保遺跡第 10 地点調査風景



小田久保遺跡第 10 地点土坑



小田久保遺跡第 10 地点調査風景



小田久保遺跡第 10 地点出土遺物



大井氏館跡遺跡第 24 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 24 地点土坑

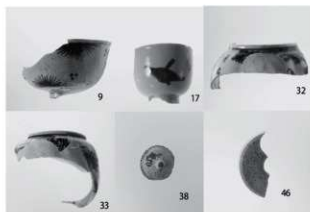
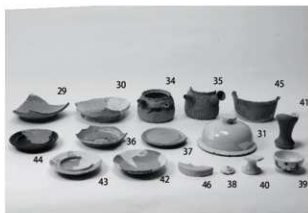


大井氏館跡遺跡第 24 地点調査風景

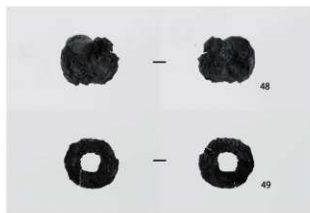


大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物





大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物



大井氏館跡遺跡第 24 地点出土遺物

大井氏館跡遺跡第 25 地点調査風景



大井氏館跡遺跡第 25 地点トレンチ

大井氏館跡遺跡第 25 地点調査風景



本村遺跡第 128 地点調査風景



本村遺跡第 128 地点トレンチ 3



本村遺跡第 128 地点井戸



本村遺跡第 128 地点ピット 1・2



本村遺跡第 128 地点ピット 3・4



本村遺跡第 128 地点ピット 5・6



本村遺跡第 128 地点ピット 7～9



本村遺跡第 128 地点溝





西台遺跡第9地点調査風景



西台遺跡第9地点トレンチ2



東台遺跡第58地点調査風景



東台遺跡第58地点トレンチ1



東台遺跡第58地点トレンチ1



東台遺跡第58地点トレンチ3



東台遺跡第58地点トレンチ4



東台遺跡第58地点トレンチ5



東台遺跡第 58 地点トレンチ 6



東台遺跡第 58 地点トレンチ 7



東台遺跡第 58 地点トレンチ 8



東台遺跡第 58 地点トレンチ 8



東台遺跡第 58 地点トレンチ 9



東台遺跡第 58 地点トレンチ 11



東台遺跡第 58 地点 195 号住居跡



東台遺跡第 58 地点 194 号住居跡

189 号住居跡



185 号住居跡



186 号住居跡



188 号住居跡



187 号住居跡



189 号住居跡



194 号住居跡



194 号住居跡



197 号住居跡



190 号住居跡



195 号住居跡



194 号住居跡



196 号住居跡



197 号住居跡



198 号住居跡



199 号住居跡

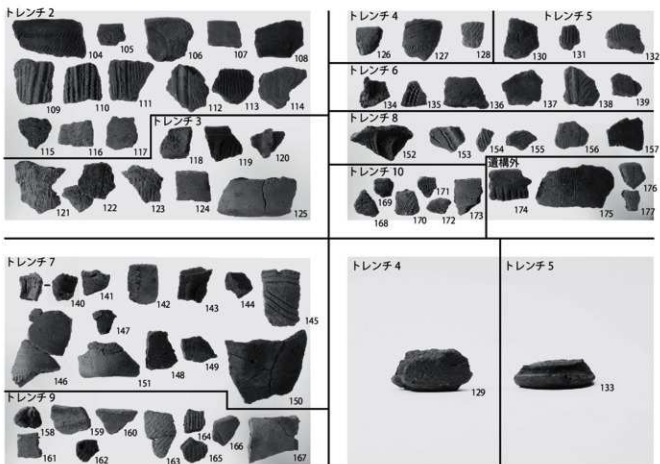


土坑

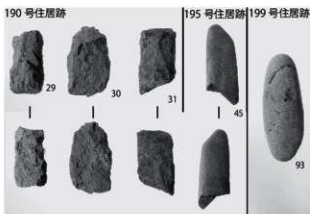


トレンチ 1





東台遺跡第 58 地点出土遺物



東台遺跡第 58 地点出土遺物



東台遺跡第 59 地点調査風景



東台遺跡第 59 地点調査風景



東台遺跡第 59 地点出土遺物

## 報告書抄録

書名	市内遺跡群20		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第21集		
編集者	鍋島直久・岡崎裕子		著者	鍋島直久・岡崎裕子・藤田理		
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒356-8501ふじみ野市福岡一丁目1番1号 TEL049(26)12611		
発行日	2017年(平成29年)3月20日					
所在地	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
	遺跡コード	東経	調査終了	調査担当者		
調査対象地名	種別/主な時代/主な遺構/主な遺物 特記事項					
北野遺跡第28地点	埼玉県ふじみ野市北野二丁目2110-8	112453	35° 52' 47"	20140527	14	個人住宅 鍋島直久・越村寛
	25-002	139° 30' 50"	20140528			
集落跡/縄文時代/集石土坑1基/縄文土器片 集石土坑は縄文時代集落の広がりを知る上で貴重である。						
北野遺跡第28地点	埼玉県ふじみ野市北野二丁目2110-9	112453	35° 52' 47"	20140527	17.3	分譲住宅 鍋島直久・越村寛
	25-002	139° 30' 50"	20140528			
集落跡/縄文時代/集石土坑1基/縄文土器片 集石土坑は縄文時代集落の広がりを知る上で貴重である。						
ハケ遺跡第17地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目1219-1・2	112453	35° 52' 59"	20140926	50.4	分譲住宅 鍋島直久
	25-005	139° 31' 29"	20140930			
集落跡/近世・近現代/近世以降の溝2本、近現代ゴミ穴1基/縄文土器片・陶磁器・ガラス製品・金属製品 火工窯関連の遺物は、火工窯とその周辺地域の関係性を知る上で貴重である。						
縄遺跡第24地点	埼玉県ふじみ野市縄一丁目11-8の一部	112453	35° 52' 40"	20140716	85	分譲住宅 越村寛
	25-008	139° 31' 37"	20140718			
集落跡/奈良平安時代/土坑2基・古代以降のピット2基/縄文土器片・陶磁器・土師器・羽口 出土した羽口片は古代の集落内製鉄を考えると貴重である。						
長宮遺跡第48地点	埼玉県ふじみ野市上ノ原三丁目16-1	112453	35° 52' 36"	20140402	188.4	分譲住宅 越村寛
	25-009	139° 31' 37"	20140408			
集落跡/中近世/井戸1基・溝1本/遺物なし 遺跡範囲の東部にあたり、検出した井戸や溝は中近世の土地利用を考える上で貴重である。						
長宮遺跡第49地点	埼玉県ふじみ野市北野二丁目12-4	112453	35° 5' 41"	20141023	61.8	共同住宅 鍋島直久
	25-009	139° 31' 50"	20141030			
集落跡/縄文時代/部25基・溝1本/遺物なし 検出したがけ群は本遺跡における縄文時代集落の広がりを知る上で貴重である。						
松山遺跡第80地点	埼玉県ふじみ野市池上372	112453	35° 52' 17"	20150312	90.0	個人住宅 鍋島直久
	25-010	139° 31' 56"	20150312			
集落跡/中近世/遺構なし/焙烙・磁器・銅一銭青銅銭貨 本遺跡における中近世以降の土地利用を考える上で貴重である。						
西ノ原遺跡第160地点	埼玉県ふじみ野市西一丁目14-2	112453	35° 51' 26"	20140415	106.9	駐車場 鍋島直久
	30-001	139° 31' 10"	20140416			
集落跡/縄文時代/縄文土坑1基/縄文土器片 縄文時代中晩期集落の北東部にあたり、集落の範囲を見極める上で貴重である。						
西ノ原遺跡第161地点	埼玉県ふじみ野市福岡一丁目118-8	112453	35° 51' 26"	20140617	114.75	個人住宅 鍋島直久
	30-001	139° 31' 12"	20140623			
集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡2跡/縄文土器片 縄文時代中晩期集落の北東部にあたり、住居の分布が薄く、地域である。集落の範囲を見極める上で貴重である。						
小田久保遺跡第10地点	埼玉県ふじみ野市大井字西原1023-3	112453	35° 50' 52"	20141007	94.4	個人住宅 鍋島直久
	30-040	139° 30' 54"	20141007			
集落跡/縄文時代/縄文時代土坑1基/縄文土器片 遺跡範囲の縁辺にあたり、検出した土坑は遺跡の広がりを知る上で貴重である。						
大井字西原遺跡第24地点	埼玉県ふじみ野市大井字西原959・960	112453	35° 50' 59"	20140623	15.8	個人住宅 鍋島直久
	30-037	139° 31' 4"	20140625			
集落跡/近世・近代/土坑1基/陶磁器・土製品・瓦葺土器・銅製品、銅貨 明治時代の大火による遺構・遺物は、近世～近代の宿場状況を知る上で貴重である。						
本村遺跡第128地点	埼玉県ふじみ野市大井二丁目118-1	112453	35° 51' 5"	20141117	103.5	分譲住宅 鍋島直久・越村寛
	30-034	139° 31' 9"	20141127			
集落跡/中近世/中近世以降の井戸1基・ピット9基・溝2本・用水路/遺物なし 検出した井戸や溝は中近世以降の集落の広がりを知る上で貴重である。						
東台遺跡第58地点	埼玉県ふじみ野市大井字東台625-1	112453	35° 51' 2"	20140701	399	店舗 鍋島直久・越村寛
	30-024	139° 31' 33"	20140804			
集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡15跡・土坑3基/縄文土器・石器 確認された縄文時代住居跡は、当地域の縄文時代の集落規模を知る上で貴重である。						



---

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第21集

埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群 20

2018年3月20日印刷

2018年3月25日発行

発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福興一丁目1番1号

TEL 049-261-2611

FAX 049-266-6271

印刷 関東図書株式会社

---